平成２４年　４月２０日

全国路線網に属する高速道路に係る業務実施計画の変更

２（1）、３（1）及び８（２）中、「別紙１－Ｅ－１５６」を「別紙１－Ｅ－１５８」に、「別紙１－Ｃ－８３」を「別紙１－Ｃ－８６」に、「別紙１－Ｗ－１０２」を「別紙１－Ｗ－１０３」に改める。

別紙１－Ｅ－１、別紙１－Ｅ－２、別紙１－Ｅ－４から別紙１－Ｅ－６、別紙１－Ｅ－８から別紙１－Ｅ－２１、別紙１－Ｅ－２３、別紙１－Ｅ－２４、別紙１－Ｅ－２６、別紙１－Ｅ－２７、別紙１－Ｅ－２９から別紙１－Ｅ－４０、別紙１－Ｅ－４２から別紙１－Ｅ－４８、別紙１－Ｅ－５４、別紙１－Ｅ－５６から別紙１－Ｅ－６９、別紙１－Ｅ－７３から別紙１－Ｅ－８０、別紙１－Ｅ－８４から別紙１－Ｅ－８６、別紙１－Ｅ－８９から別紙１－Ｅ－９６、別紙１－Ｅ－９８、別紙１－Ｅ－９９、別紙１－Ｅ－１０１、別紙１－１０３、別紙１－Ｅ－１０４、別紙１－Ｅ－１０６から別紙１－Ｅ－１０８、別紙１－Ｅ－１１０、別紙１－Ｅ－１１１、別紙１－Ｅ－１３０、別紙１－Ｅ－１３２、別紙１－Ｅ－１４３から別紙１－Ｅ－１５６、別紙１－Ｃ－２から別紙１－Ｃ－１０、別紙１－Ｃ－１２から別紙１－Ｃ－１５、別紙１－Ｃ－１７から別紙１－Ｃ－２２、別紙１－Ｃ－２４から別紙１－Ｃ－２６、別紙１－Ｃ－２８から別紙１－Ｃ－３０、別紙１－Ｃ－３２から別紙１－Ｃ－３４、別紙１－Ｃ－３６から別紙１－Ｃ－４０、別紙１－Ｃ－４２から別紙１－Ｃ－４４、別紙１－Ｃ－５０から別紙１－Ｃ－５３、別紙１－Ｃ－５５から別紙１－Ｃ－５８、別紙１－Ｃ－６０、別紙１－Ｃ－６１、別紙１－Ｃ－６７、別紙１－Ｃ－７０、別紙１－Ｃ－７１、別紙１－Ｃ－７８から別紙１－Ｃ－８３、別紙１－Ｗ－１から別紙１－Ｗ－６、別紙１－Ｗ－８、別紙１－Ｗ－９、別紙１－Ｗ－１１から別紙１－Ｗ－１６、別紙１－Ｗ－１８から別紙１－Ｗ－２２、別紙１－Ｗ－２４から別紙１－Ｗ－３１、別紙１－Ｗ－３４から別紙１－Ｗ－４９、別紙１－Ｗ－５１、別紙１－Ｗ－５３から別紙１－Ｗ－５６、別紙１－Ｗ－５８、別紙１－Ｗ－６２、別紙１－Ｗ－６４、別紙１－Ｗ－６５、別紙１－Ｗ－６７から別紙１－Ｗ－７０、別紙１－Ｗ－７３から別紙１－Ｗ－７５、別紙１－Ｗ－７７から別紙１－Ｗ－８２、別紙１－Ｗ－８７、別紙１－Ｗ－９１、別紙１－Ｗ－９７、別紙１－Ｗ－９８、別紙１－Ｗ－１００から別紙１－Ｗ－１０２を次のとおり改める。

別紙１－Ｅ－１

# 北海道縦貫自動車道函館名寄線

（北海道茅部郡森町字赤井川から北海道二海郡八雲町東野まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道茅部郡森町字赤井川　　から
北海道二海郡八雲町東野　　まで

（ロ） 延　　長　　29．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 北海道茅部郡森町字赤井川 から<br>北海道二海郡八雲町東野 まで | 100 | 29．9 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 北海道茅部郡森町字赤井川 から<br>北海道二海郡八雲町東野 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 北海道縦貫自動車道 | 北海道茅部郡森町字赤井川 | 平面接続 | 本線（新直轄） |
| 道道大沼インター線 | 北海道茅部郡森町字赤井川 | 平面接続 | 大沼公園インターチェンジ |
| 道道森インター線 | 北海道茅部郡森町字森川町 | 立体接続 | 森インターチェンジ |
| 道道落部インター線 | 北海道二海郡八雲町東野 | 立体接続 | 落部インターチェンジ |

（4） 工事予算

68，225 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　11 月　26 日　（森～落部間供用開始）
　　平成　25 年　3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

45，118 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　44，569 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－２

# 北海道縦貫自動車道函館名寄線

（北海道二海郡八雲町東野から北海道二海郡八雲町立岩まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道二海郡八雲町東野　　から
北海道二海郡八雲町立岩　　まで

（ロ） 延　　長　　16．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 北海道二海郡八雲町東野 から<br>北海道二海郡八雲町立岩 まで | 100 | 16．0 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 北海道二海郡八雲町東野 から<br>北海道二海郡八雲町立岩 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 道道落部インター線 | 北海道二海郡八雲町東野 | 立体接続 | 落部インターチェンジ |
| 一般国道277号 | 北海道二海郡八雲町立岩 | 立体接続 | 八雲インターチェンジ |

（4） 工事予算

31，225 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　10 日　（供用開始）

平成　25 年　3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

7，075 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，075 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－４

# 北海道横断自動車道黒松内釧路線

（北海道余市郡余市町登町から北海道小樽市新光町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道余市郡余市町登町　　から
北海道小樽市新光町　　まで

（ロ） 延　　長　　23. 4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 北海道余市郡余市町登町 から<br>北海道小樽市新光町 まで | 100 | 23. 4 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 北海道余市郡余市町登町 から<br>北海道小樽市新光町 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 道道登余市停車場線 | 北海道余市郡余市町登町 | 平面接続 | 余市インターチェンジ（仮称） |
| 道道小樽西インター線 | 北海道小樽市塩谷 | 立体接続 | 小樽西インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

106，142 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

125，656 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　120，611 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－５

# 北海道横断自動車道黒松内釧路線

（北海道夕張市紅葉山から北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道夕張市紅葉山　　から
北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野　　まで

（ロ） 延　　長　　34．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 北海道夕張市紅葉山 から<br>北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野 まで | 100 | 34．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 北海道夕張市紅葉山 から<br>北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道274号 | 北海道夕張市紅葉山 | 立体接続 | 夕張インターチェンジ |
| 道道穂別インター線 | 北海道勇払郡むかわ町穂別 | 立体接続 | むかわ穂別インターチェンジ |
| 道道占冠インター線 | 北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野 | 立体接続 | 占冠インターチェンジ |

（4） 工事予算

136，532 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　10 月　 8 日　（夕張ICランプ切替）

平成　23 年　10 月　29 日　（供用開始）

平成　26 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

140，365 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　140，365 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－６

# 北海道横断自動車道黒松内釧路線

（北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野から北海道勇払郡占冠村字上トマムまで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野　　から
北海道勇払郡占冠村字上トマム　　まで

（ロ） 延　　長　　26．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 北海道勇払郡占冠村<br>字シムカプ原野　から<br>北海道勇払郡占冠村字上トマム　まで | 100 | 26．2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野 から<br>北海道勇払郡占冠村字上トマム まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 道道占冠インター線 | 北海道勇払郡<br>占冠村字シムカプ原野 | 立体接続 | 占冠インターチェンジ |
| 道道夕張新得線 | 北海道勇払郡<br>占冠村字上トマム | 立体接続 | トマムインターチェンジ |

（4） 工事予算

52，833 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　24 日　（供用開始）

平成　25 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

53，294 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　53，294 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－８

# 日本海沿岸東北自動車道

# （新潟県胎内市弥彦岡から新潟県村上市南新保まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　新潟県胎内市弥彦岡　から
新潟県村上市南新保　まで

（ロ） 延　　長　　9．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 新潟県胎内市弥彦岡 から<br>新潟県村上市南新保 まで | 100 | 9．7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 新潟県胎内市<br>弥彦岡　から<br>新潟県村上市<br>南新保　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道中条インター線 | 新潟県胎内市弥彦岡 | 立体接続 | 中条インターチェンジ |
| 一般国道113号 | 新潟県村上市南新保 | 立体接続 | 荒川胎内インターチェンジ |
| 日本海沿岸東北自動車道 | 新潟県村上市南新保 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

（4） 工事予算

23，430 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　4 月　17 日
②工事の完成年月日　　平成　21 年　7 月　18 日　（供用開始）

平成　22 年　7 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

16，300 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　16，300 百万円）（消費税込み）

# 東北中央自動車道相馬尾花沢線
# （山形県東置賜郡高畠町大字深沼から山形県上山市金瓶まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県東置賜郡高畠町大字深沼　　から
山形県上山市金瓶　　まで

（ロ） 延　　長　　24．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 山形県東置賜郡高畠町大字深沼 から<br>山形県上山市金瓶 まで | 100 | 24．4 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 山形県東置賜郡<br>高畠町大字深沼　から<br>山形県上山市金瓶　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル　（土工部）
—　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道13号<br>（米沢南陽道路） | 山形県東置賜郡<br>高畠町大字深沼 | 平面接続 | 本線 |
| 一般国道13号 | 山形県東置賜郡<br>高畠町大字深沼 | 立体接続 | 南陽高畠インターチェンジ |
| 一般国道13号 | 山形県上山市藤吾 | 立体接続 | 上山インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道13号 | 山形県上山市金瓶 | 立体接続 | 山形上山インターチェンジ |

（4） 工事予算

107，900 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

126，438 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　121，142 百万円）（消費税込み）

# 常磐自動車道

（福島県双葉郡富岡町大字上手岡から福島県相馬市粟津まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県双葉郡富岡町大字上手岡　　から
福島県相馬市粟津　　まで

（ロ） 延　　長　　47．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福島県双葉郡富岡町大字上手岡 から<br>福島県相馬市粟津 まで | 100 | 47．1 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 福島県双葉郡<br>富岡町大字上手岡　から<br>福島県相馬市<br>粟津　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道　小野富岡線 | 福島県双葉郡<br>富岡町大字上手岡 | 立体接続 | 常磐富岡インターチェンジ |
| 一般国道114号 | 福島県双葉郡<br>浪江町大字室原 | 立体接続 | 浪江インターチェンジ |
| 県道　原町川俣線 | 福島県南相馬市<br>原町区 | 立体接続 | 南相馬インターチェンジ |
| 一般国道115号 | 福島県相馬市<br>粟津 | 立体接続 | 相馬インターチェンジ |

（4） 工事予算

102，386 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　4　月　8　日　（南相馬～相馬供用開始）

平成　27　年　3　月　31　日　（残事業完成）

上記の完成予定年月日は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故後のさしあたりの設定である。

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

90，824 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　90，824 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

# 常磐自動車道

（福島県相馬市粟津から福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬市粟津　　から
福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　まで

（ロ） 延　　長　　8．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福島県相馬市粟津 から<br>福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺 まで | 100 | 8．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福島県相馬市<br>粟津　から<br>福島県相馬郡<br>新地町駒ヶ嶺　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道115号 | 福島県相馬市粟津 | 立体接続 | 相馬インターチェンジ |
| 一般国道113号 | 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺 | 立体接続 | 新地インターチェンジ |

（4） 工事予算

22，841 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

24，003 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　23，244 百万円）（消費税込み）

# 常磐自動車道

（福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺から宮城県亘理郡山元町大平まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　から
宮城県亘理郡山元町大平　　まで

（ロ） 延　　長　　14．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺 から<br>宮城県亘理郡山元町大平 まで | 100 | 14．8 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福島県相馬郡<br>新地町駒ヶ嶺　から<br>宮城県亘理郡<br>山元町大平　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道113号 | 福島県相馬郡<br>新地町駒ヶ嶺 | 立体接続 | 新地インターチェンジ |
| 一般国道6号 | 宮城県亘理郡<br>山元町大平 | 立体接続 | 山元インターチェンジ |

（4） 工事予算

46，757 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

52，960 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　51，005 百万円）（消費税込み）

# 常磐自動車道

（宮城県亘理郡山元町大平から宮城県亘理郡亘理町逢隈まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県亘理郡山元町大平　　から
宮城県亘理郡亘理町逢隈　　まで

（ロ） 延　　長　　11．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮城県亘理郡山元町大平 から<br>宮城県亘理郡亘理町逢隈 まで | 100 | 11．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 宮城県亘理郡山元町大平 から<br>宮城県亘理郡亘理町逢隈 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道6号 | 宮城県亘理郡山元町大平 | 立体接続 | 山元インターチェンジ |
| 県道亘理インター線 | 宮城県亘理郡亘理町逢隈 | 立体接続 | 亘理インターチェンジ |
| 一般国道6号（仙台東部道路） | 宮城県亘理郡亘理町逢隈 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

27，037 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　4 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　6 月　23 日　（亘理ICランプ切替）

平成　21 年　9 月　12 日　（供用開始）

平成　23　年　3 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

11，683 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，683 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道千葉富津線

# （千葉県君津市三直から千葉県富津市鶴岡まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県君津市三直　　から
千葉県富津市鶴岡　　まで

（ロ） 延　　長　　9．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県君津市三直 から<br>千葉県富津市鶴岡 まで | 100 | 9．2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県君津市三直　から<br>千葉県富津市鶴岡　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　—　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）
—　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道君津鴨川線 | 千葉県君津市三直 | 立体接続 | 君津インターチェンジ |
| 一般国道127号 | 千葉県富津市鶴岡 | 立体接続 | 富津中央インターチェンジ |

（4） 工事予算

44，614 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　18 年　11 月　30 日　（君津ICランプ切替）

平成　19 年　4 月　13 日　（君津ICランプ切替）

平成　19 年　7 月　4 日　（供用開始）

平成　24 年　3 月　28 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

17，372 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　17，372 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市鷹野三丁目から千葉県松戸市三矢小台二丁目まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県三郷市鷹野三丁目　　から
千葉県松戸市三矢小台二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　5．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県三郷市鷹野三丁目 から<br>千葉県松戸市三矢小台二丁目 まで | 80 | 5．4 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県三郷市鷹野三丁目　から<br>千葉県松戸市三矢小台二丁目　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道298号 | 埼玉県三郷市<br>鷹野三丁目 | 立体接続 | 三郷南インターチェンジ |
| 一般国道298号 | 千葉県松戸市<br>三矢小台二丁目 | 立体接続 | 松戸インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

131，067 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

123，925 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　120，721 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道水戸線

（千葉県松戸市三矢小台二丁目から千葉県市川市高谷まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県松戸市三矢小台二丁目　　から
千葉県市川市高谷　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県松戸市三矢小台二丁目 から<br>千葉県市川市高谷 まで | 80 | 10．1 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県松戸市<br>三矢小台二丁目　から<br>千葉県市川市高谷　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道298号 | 千葉県松戸市三矢小台二丁目 | 立体接続 | 松戸インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道298号 | 千葉県市川市国分 | 立体接続 | 市川北インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道298号 | 千葉県市川市平田 | 立体接続 | 市川南インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道14号（京葉道路） | 千葉県市川市稲荷木 | 立体接続 | 京葉ジャンクション（仮称） |
| 一般国道298号 | 千葉県市川市高谷 | 立体接続 | 高谷インターチェンジ（仮称） |
| 県道高速湾岸線 | 千葉県市川市高谷 | 立体接続 | 高谷ジャンクション（仮称） |
| 東関東自動車道 | 千葉県市川市高谷 | 立体接続 | 高谷ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

756，455 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　13 日　（京葉JCT施工に伴う京葉道路切替）

平成　28 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

698，867 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　676，539 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道水戸線

（茨城県鉾田市飯名から茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県鉾田市飯名　　から
茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　　まで

（ロ） 延　　長　　8．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県鉾田市飯名 から<br>茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田 まで | 100 | 8．8 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県鉾田市飯名 から<br>茨城県東茨城郡茨城町<br>大字鳥羽田 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | — | — | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）
—　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道小川鉾田線 | 茨城県鉾田市飯名 | 立体接続 | 鉾田インターチェンジ（仮称） |
| 県道茨城鹿島線 | 茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田 | 立体接続 | 茨城空港北インターチェンジ |

（4） 工事予算

24，290 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

28，932 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　27，697 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道水戸線

（茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田から茨城県東茨城郡茨城町大字小鶴まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　　から
茨城県東茨城郡茨城町大字小鶴　　まで

（ロ） 延　　長　　8．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田 から<br>茨城県東茨城郡茨城町大字小鶴 まで | 100 | 8．8 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県東茨城郡茨城町<br>大字鳥羽田　から<br>茨城県東茨城郡茨城町<br>大字小鶴　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 右 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75 | 1．75 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 2．00 | 1．75 | 3．75 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75 | 1．25 | 3．00 | － | － | － | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　—　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）
—　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道茨城鹿島線 | 茨城県東茨城郡<br>茨城町大字鳥羽田 | 立体接続 | 茨城空港北インターチェンジ |
| 北関東自動車道 | 茨城県東茨城郡<br>茨城町大字小鶴 | 立体接続 | 茨城町ジャンクション |

（4） 工事予算

23，891 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　 3 月　 6 日　（供用開始）

平成　24 年　 3 月　28 日　（残事業完了）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

23，232 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　23，232 百万円）（消費税込み）

# 北関東自動車道

（群馬県伊勢崎市三和町から群馬県太田市東今泉町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　群馬県伊勢崎市三和町　　から
群馬県太田市東今泉町　　まで

（ロ） 延　　長　　16．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 群馬県伊勢崎市三和町 から<br>群馬県太田市東今泉町 まで | 100 | 16．0 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 群馬県伊勢崎市三和町　から<br>群馬県太田市東今泉町　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道17号 | 群馬県伊勢崎市三和町 | 立体接続 | 伊勢崎インターチェンジ |
| 一般県道大原境三ツ木線 | 群馬県太田市大原町 | 立体接続 | 太田藪塚インターチェンジ |
| 一般国道122号 | 群馬県太田市東今泉町 | 立体接続 | 太田桐生インターチェンジ |

（4） 工事予算

86，925 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　19 年　12 月　 5 日　（伊勢崎ICランプ切替）

平成　20 年　 3 月　 8 日　（供用開始）

平成　29 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

34，951 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　34，951 百万円）（消費税込み）

# 北関東自動車道

（群馬県太田市東今泉町から栃木県足利市菅田町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　群馬県太田市東今泉町　　から
栃木県足利市菅田町　　まで

（ロ） 延　　長　　10．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 群馬県太田市東今泉町 から<br>栃木県足利市菅田町 まで | 100 | 10．3 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 群馬県太田市東今泉町　から<br>栃木県足利市菅田町　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | ― | ― | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道122号 | 群馬県太田市<br>東今泉町 | 立体接続 | 太田桐生インターチェンジ |
| 一般国道293号 | 栃木県足利市<br>菅田町 | 立体接続 | 足利インターチェンジ |

（4） 工事予算

53，430 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 4 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　 3 月　19 日　（供用開始）

平成　26 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

45，762 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　45，762 百万円）（消費税込み）

# 北関東自動車道

（栃木県足利市菅田町から栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　栃木県足利市菅田町　　から
栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺　　まで

（ロ） 延　　長　　13．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 栃木県足利市菅田町 から<br>栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺 まで | 100 | 13．6 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 栃木県足利市菅田町　から<br>栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | ― | ― | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道293号 | 栃木県足利市菅田町 | 立体接続 | 足利インターチェンジ |
| 県道佐野田沼線 | 栃木県佐野市小見町 | 立体接続 | 佐野田沼インターチェンジ |
| 東北縦貫自動車道弘前線 | 栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺 | 立体接続 | 岩舟ジャンクション |

（4） 工事予算

76，163 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 10 年 | 1 月 | 20 日 | |
| ②工事の完成予定年月日 | 平成 | 19 年 | 9 月 | 5 日 | （岩舟JCT施工に伴う東北道の切替） |
| | 平成 | 22 年 | 4 月 | 17 日 | （佐野田沼IC～岩舟JCT供用開始） |
| | 平成 | 23 年 | 3 月 | 19 日 | （足利IC～佐野田沼IC供用開始） |
| | 平成 | 28 年 | 3 月 | 31 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

67，340 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　67，340 百万円）（消費税込み）

# 北関東自動車道

（栃木県真岡市長田から茨城県桜川市長方まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　栃木県真岡市長田　　から
茨城県桜川市長方　　まで

（ロ） 延　　長　　14．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 栃木県真岡市長田 から<br>茨城県桜川市長方 まで | 100 | 14．9 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 栃木県真岡市長田　から<br>茨城県桜川市長方　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道408号 | 栃木県真岡市長田 | 立体接続 | 真岡インターチェンジ |
| 一般国道50号 | 茨城県桜川市長方 | 立体接続 | 桜川筑西インターチェンジ |

（4） 工事予算

49，007 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 4 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　20 年　12 月　20 日　（供用開始）

平成　24 年　 3 月　28 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

33，089 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　33，089 百万円）（消費税込み）

# 北関東自動車道

（茨城県桜川市長方から茨城県笠間市福原まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県桜川市長方　　から
茨城県笠間市福原　　まで

（ロ） 延　　長　　8．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県桜川市長方　から<br>茨城県笠間市福原　まで | 100 | 8．9 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県桜川市長方　から<br>茨城県笠間市福原　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道50号 | 茨城県桜川市長方 | 立体接続 | 桜川筑西インターチェンジ |
| 県道土浦笠間線 | 茨城県笠間市福原 | 立体接続 | 笠間西インターチェンジ |

（4） 工事予算

37，907 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成年月日　　平成　20 年　 4 月　12 日　（供用開始）

平成　23 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

24，908 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，908 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（八雲PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道二海郡八雲町

別　紙　1

（3） 工事予算

955 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　10 日　（供用開始）

平成　33 年　3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，178 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，178 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（黒松内JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道寿都郡黒松内町字東川

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道5号 | 北海道寿都郡<br>黒松内町字東川 | 立体接続 | 黒松内ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，966 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　11 月　 7 日　（供用開始）

平成　25 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，530 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，530 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（剣淵PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道上川郡剣淵町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，304 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，683 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，617 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（銭函IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道小樽市星野町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 道道銭函インター線 | 北海道小樽市<br>星野町 | 立体接続 | 銭函インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

5，455 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，741 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，587 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（手稲IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道札幌市手稲区富丘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 市道手稲インター線 | 北海道札幌市<br>手稲区富丘 | 立体接続 | 手稲インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

873 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，168 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，129 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（由仁PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道夕張郡由仁町

別　紙　1

（3） 工事予算

916 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　10 月　29 日　（供用開始）

平成　25 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，017 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，017 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（占冠PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道勇払郡占冠村

別　紙　1

（3） 工事予算

849 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　9 月　7 日　（供用開始）

平成　25 年　3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

973 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　973 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内北見線（本別JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道中川郡本別町勇足

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 北海道横断自動車道<br>黒松内釧路線 | 北海道中川郡<br>本別町勇足 | 立体接続 | 本別ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，346 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，689 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，621 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（本別IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道中川郡本別町共栄

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 道道本別インター線 | 北海道中川郡<br>本別町共栄 | 立体接続 | 本別インターチェンジ |
| 北海道横断自動車道<br>黒松内釧路線 | 北海道中川郡<br>本別町共栄 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

379 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　11 月　21 日　（供用開始）

平成　24 年　3 月　28 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

429 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　429 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内北見線（足寄IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道足寄郡足寄町郊南

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道242号 | 北海道足寄郡<br>足寄町郊南 | 立体接続 | 足寄インターチェンジ |
| 北海道横断自動車道<br>黒松内北見線 | 北海道足寄郡<br>足寄町郊南 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，116 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，610 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，553 百万円）（消費税込み）

# 東北縦貫自動車道弘前線

（東京都練馬区大泉町五丁目から埼玉県川口市赤芝新田まで）（改築）に関する

## 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

東京都練馬区大泉町五丁目　　から
埼玉県川口市赤芝新田　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

12，565 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

6，409 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，139 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（久喜白岡JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 埼玉県久喜市<br>下早見 | 立体接続 | 久喜白岡ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

11，636 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　5 月　29 日　（供用開始）

平成　26 年　3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

12，797 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，797 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（久喜白岡JCT）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 埼玉県久喜市<br>下早見 | 立体接続 | 久喜白岡ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

9，811 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

10，695 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，695 百万円）（消費税込み）

# 東北縦貫自動車道弘前線

## （栃木県矢板市大槻から栃木県矢板市片岡まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　栃木県矢板市大槻　　から
栃木県矢板市片岡　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 栃木県矢板市大槻 から<br>栃木県矢板市片岡 まで | 100 | 1．7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 栃木県矢板市大槻　から<br>栃木県矢板市片岡　まで | 4 車線 | 4 車線 | 付加車線事業 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50 | 2．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

1，709 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　7 月　16 日　（供用開始）

平成　25 年　3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，084 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，084 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線(福島JCT)に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

福島県福島市笹谷

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 東北中央自動車道<br>相馬尾花沢線 | 福島県福島市笹谷 | 平面接続 | 福島ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

5，300 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　29 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

6，543 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　6，280 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線
（宮城県白石市福岡深谷から宮城県仙台市太白区茂庭まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県白石市福岡深谷　　から

宮城県仙台市太白区茂庭　まで

別　紙　1

（3）工事予算

2，100 百万円（消費税込み）

（4）工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6　月 29 日

②工事の完成予定年月日　平成　22 年　7　月 16 日　（供用開始）

平成　25 年　3　月 31 日　（残事業完成）

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，288百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　2，288百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（富谷JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県黒川郡富谷町穀田

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道47号（仙台北部道路） | 宮城県黒川郡富谷町穀田 | 立体接続 | 富谷ジャンクション |

（4） 工事予算

2，523 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成年月日　平成　22 年　3 月　27 日　（供用開始）

平成　23 年　9 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，294 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　3，294 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（小坂JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

秋田県鹿角郡小坂町小坂

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 日本海沿岸東北自動車道 | 秋田県鹿角郡<br>小坂町小坂 | 平面接続 | 小坂ジャンクション(仮称) |

（4） 工事予算

5，935 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

6，963 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，932 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道八戸線（八戸JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道八戸線

（2） 工事の箇所

青森県八戸市坂牛

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道45号 | 青森県八戸市坂牛 | 立体接続 | 八戸ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

1，407 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　6 年　9 月　20 日

②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，736 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，651 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道釜石秋田線（東和IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道釜石秋田線

（2） 工事の箇所

岩手県花巻市東和町安俵

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道北上東和線 | 岩手県花巻市東和町安俵 | 立体接続 | 東和インターチェンジ |
| 東北横断自動車道釜石秋田線 | 岩手県花巻市東和町安俵 | 平面接続 | 本線<br>（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，468 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，021 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　986 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道酒田線（鶴岡JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

東北横断自動車道酒田線

（2） 工事の箇所

山形県鶴岡市山田

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 日本海沿岸東北自動車道 | 山形県鶴岡市山田 | 平面接続 | 鶴岡ジャンクション |

（4） 工事予算

6，465 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成18年　4月19日

②工事の完成予定年月日　平成24年　3月24日（供用開始）

平成25年　3月31日（残事業完成）

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

7，417 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，417 百万円）（消費税込み）

日本海沿岸東北自動車道（豊栄SA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

新潟県新潟市

（3） 工事予算

400 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

643 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　627 百万円）（消費税込み）

日本海沿岸東北自動車道（雄和PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

秋田県秋田市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，260 百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　4 月　30 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，384 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，333 百万円）（消費税込み）

東北中央自動車道相馬尾花沢線（山形PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の箇所

山形県山形市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，786 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　15 年　12 月　 4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，354 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，303 百万円）（消費税込み）

# 東北中央自動車道相馬尾花沢線
# （山形県天童市大字大町から山形県東根市大字羽入まで）（改築）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県天童市大字大町　　から
山形県東根市大字羽入　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 山形県天童市大字大町 から<br>山形県東根市大字羽入 まで | 100 | 1．7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 山形県天童市<br>大字大町　から<br>山形県東根市<br>大字羽入　まで | 4 車線 | 4 車線 | 付加車線事業 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50 | 2．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75 | 1．75 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | － | － | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 中央帯の標準幅員

ー　メートル

（チ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 国道287号 | 山形県東根市大字羽入 | 立体接続 | 東根インターチェンジ |
| 東北中央自動車道相馬尾花沢線 | 山形県東根市大字羽入 | 平面接続 | 本線<br>（新直轄） |

（4） 工事予算

3，659 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年 12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成 28 年　3 月 31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

4，096 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，911 百万円）（消費税込み）

関越自動車道新潟線（鶴ヶ島JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の箇所

埼玉県鶴ヶ島市大字藤金

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 埼玉県鶴ヶ島市<br>大字藤金 | 立体接続 | 鶴ヶ島ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，913 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 昭和 | 62 年 | 1 月 | 20 日 | | |
| ②工事の完成予定年月日 | 平成 | 20 年 | 3 月 | 29 日 | （供用開始） | |
| | 平成 | 25 年 | 3 月 | 31 日 | （残事業完成） | |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，253 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，253 百万円）（消費税込み）

# 関越自動車道新潟線

（埼玉県坂戸市大字戸口から埼玉県坂戸市大字中里まで）（改築）に関する

## 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県坂戸市大字戸口　　から
埼玉県坂戸市大字中里　　まで

（ロ） 延　　長　　1．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県坂戸市大字戸口 から<br>埼玉県坂戸市大字中里 まで | 120 | 1．2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．00 メートル（登坂車線）

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県坂戸市大字戸口 から<br>埼玉県坂戸市大字中里 まで | 6 車線 | 6 車線 | 付加車線事業 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75 | 1．75 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75 | 1．75 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | － | － | － | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

2，900 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，399 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，293 百万円）（消費税込み）

# 関越自動車道新潟線

（埼玉県深谷市本田から群馬県渋川市八木原まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間

| | | |
|---|---|---|
| Ⅰ | 埼玉県深谷市本田 | から |
| | 埼玉県深谷市黒田 | まで |
| Ⅱ | 埼玉県本庄市児玉町高関 | から |
| | 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美 | まで |
| Ⅲ | 群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 | から |
| | 群馬県渋川市八木原 | まで |

（ロ） 延　　長

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ | 埼玉県深谷市本田 | から | 2．6　キロメートル |
| | 埼玉県深谷市黒田 | まで | |
| Ⅱ | 埼玉県本庄市児玉町高関 | から | 1．7　キロメートル |
| | 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美 | まで | |
| Ⅲ | 群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 | から | 1．8　キロメートル |
| | 群馬県渋川市八木原 | まで | |

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | | | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | 埼玉県深谷市本田 | から | 120 | 2．6 | |
| | 埼玉県深谷市黒田 | まで | | | |
| Ⅱ | 埼玉県本庄市児玉町高関 | から | 120 | 1．7 | |
| | 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美 | まで | | | |
| Ⅲ | 群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 | から | 120 | 1．8 | |
| | 群馬県渋川市八木原 | まで | | | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50 メートル　（ただし、Ⅰ埼玉県深谷市本田から埼玉県深谷市畠山までは3．00メートル（登坂車線））

（ホ） 車線数

| 設計区間 | | 工事施工 | 用地買収 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | 埼玉県深谷市本田 から<br>埼玉県深谷市黒田 まで | 6 車線 | 6 車線 | 付加車線事業 |
| Ⅱ | 埼玉県本庄市児玉町高関 から<br>埼玉県児玉郡上里町大字嘉美 まで | 6 車線 | 6 車線 | 付加車線事業 |
| Ⅲ | 群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 から<br>群馬県渋川市八木原 まで | 4 車線 | 4 車線 | 付加車線事業 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | Ⅰ | | Ⅱ | | Ⅲ | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左側 | 計 | 左側 | 計 | 左側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75 | 1．75 | 2．50 | 2．50 | 2．50 | 2．50 | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75 | 1．75 | － | － | 2．50 | 2．50 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．50 | 1．50 | 2．50 | 2．50 | － | － | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

7，100 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　 6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　12 月　17 日　（本庄児玉IC　供用開始）

平成　23 年　 3 月　17 日　（花園IC、渋川伊香保IC　供用開始）

平成　28 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

8，549 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，361 百万円）（消費税込み）

関越自動車道上越線（佐久小諸JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道上越線

（2） 工事の箇所

長野県小諸市御影新田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 中部横断自動車道 | 長野県小諸市<br>御影新田 | 平面接続 | 佐久小諸ジャンクション<br>（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

6，879 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　3 月　26 日　（供用開始）

平成　24 年　3 月　28 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

7，385 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，385 百万円）（消費税込み）

# 関越自動車道上越線

（長野県中野市大字永江から長野県上水内郡信濃町大字富濃まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　上越線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長野県中野市大字永江　　から
長野県上水内郡信濃町大字富濃　　まで

（ロ） 延　　長　　8．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 長野県中野市大字永江 から<br>長野県上水内郡信濃町大字富濃 まで | 80 | 8．6 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 長野県中野市大字永江 から<br>長野県上水内郡信濃町大字富濃 まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

23，863 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成年月日　　平成　21 年　 8 月　24 日　（外外運用）

平成　21 年　11 月　19 日　（供用開始）

平成　22 年　11 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

25，120 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　25，120 百万円）（消費税込み）

# 常磐自動車道

（埼玉県川口市赤芝新田から埼玉県三郷市番匠免二丁目まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県川口市赤芝新田　　から
埼玉県三郷市番匠免二丁目　　まで

（3） 工事予算

9，030 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，241 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，151 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（八潮PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県八潮市

別　紙　1

（3） 工事予算

24，724 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

28，407 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　27，139 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（つくばJCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県つくば市梶内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 茨城県つくば市<br>梶内 | 立体接続 | つくばジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，914 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日

②工事の完成年月日　　平成　22 年　4 月　24 日　（供用開始）

平成　23 年　3 月　30 日　（残事業完了）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，937 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，937 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（楢葉PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡楢葉町

（3） 工事予算

1，411 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

上記の完成予定年月日は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故後のさしあたりの設定である。

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，156 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，156 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

常磐自動車道(鹿島SA)に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県南相馬市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，836 百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　10 年　4 月　17 日

②工事の完成予定年月日　平成　27 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，022 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，933 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（亘理PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

宮城県亘理郡亘理町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，500 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，881 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，814 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市番匠免二丁目から埼玉県三郷市鷹野三丁目まで）（二次改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目　　から
埼玉県三郷市鷹野三丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

1，704 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，976 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，896 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（三郷JCT（一次改築））に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 常磐自動車道<br>一般国道298号<br>県道高速足立三郷線 | 埼玉県三郷市<br>番匠免二丁目 | 立体接続 | 三郷ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

86 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日

②工事の完成年月日　　平成　23 年　 3 月　30 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

133 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　133 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（三郷JCT（ 二次改築））に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 常磐自動車道<br>一般国道298号<br>県道高速足立三郷線 | 埼玉県三郷市<br>番匠免二丁目 | 立体接続 | 三郷ジャンクション |

（4） 工事予算

19，668 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

21，372 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，525 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（三郷第二IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市谷口

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道298号 | 埼玉県三郷市谷口 | 立体接続 | 三郷第二インターチェンジ（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，201 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，524 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，415 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（谷津船橋IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県習志野市谷津

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道357号 | 千葉県習志野市谷津 | 立体接続 | 谷津船橋インターチェンジ |
| 県道千葉船橋海浜線 | 千葉県習志野市谷津 | 立体接続 | 谷津船橋インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，334 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 4 月　13 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　12 月　31 日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，865 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，803 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（酒々井IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県印旛郡酒々井町尾上

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道富里酒々井線 | 千葉県印旛郡酒々井町<br>尾上 | 立体接続 | 酒々井インターチェンジ(仮称) |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，396 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，607 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，557 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（大栄JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市吉岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 千葉県成田市<br>吉岡 | 立体接続 | 大栄ジャンクション(仮称) |

別　紙　1

（4） 工事予算

4，326 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

5，018 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，875 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（大栄JCT）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市吉岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 千葉県成田市<br>吉岡 | 立体接続 | 大栄ジャンクション(仮称) |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，158 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，648 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，539 百万円）（消費税込み）

# 北陸自動車道

（新潟県糸魚川市大字歌から新潟県糸魚川市大字外波まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　新潟県糸魚川市大字歌　　から
新潟県糸魚川市大字外波　　まで

（3） 工事予算

8，437 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14 年　 4 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

8，292 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，160 百万円）（消費税込み）

一般国道１６号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目から神奈川県横須賀市佐原一丁目まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目　　から
神奈川県横須賀市佐原一丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　4．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県横須賀市<br>馬堀海岸四丁目　から<br>神奈川県横須賀市<br>佐原一丁目　まで | 80 | 4．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県横須賀市<br>馬堀海岸四丁目　から<br>神奈川県横須賀市<br>佐原一丁目　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | ２．５０×２ | ５．００ | － | － | － | |
| トンネル部分 | １．２５×２ | ２．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道16号 | 神奈川県横須賀市<br>馬堀海岸四丁目 | 平面接続 | 馬堀海岸インターチェンジ |
| 県道浦賀港線 | 神奈川県横須賀市<br>浦賀町一丁目 | 立体接続 | 浦賀インターチェンジ |
| 県道横須賀葉山線 | 神奈川県横須賀市<br>佐原一丁目 | 立体接続 | 佐原インターチェンジ |

（4） 工事予算

71，823 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　7　年　4　月　13　日

②工事の完成予定年月日　　平成　21　年　3　月　20　日　（供用開始）

平成　25　年　3　月　31　日　（残事業完成）

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

24，450 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，450 百万円）（消費税込み）

一般国道468号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横浜市金沢区釜利谷町から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　から
神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　8．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県横浜市<br>金沢区釜利谷町　から<br>神奈川県横浜市<br>戸塚区原宿三丁目　まで | 80 | 8．7 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県横浜市<br>金沢区釜利谷町　から<br>神奈川県横浜市<br>戸塚区原宿三丁目　まで | 6 車線 | 6 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | ２．５０×２ | ５．００ | － | － | － | |
| トンネル部分 | ０．７５×２ | １．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

３．００　　メートル　　（土工部）
３．００　　メートル　　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道16号（横浜横須賀道路） | 神奈川県横浜市<br>金沢区釜利谷町 | 立体接続 | 釜利谷ジャンクション |
| 都市計画道路<br>上郷公田線 | 神奈川県横浜市<br>栄区公田町 | 立体接続 | 公田インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道468号（横浜湘南道路）<br>及び都市計画道路　横浜藤沢線 | 神奈川県横浜市<br>栄区田谷町 | 立体接続 | 栄インター・ジャンクション（仮称） |
| 一般国道1号 | 神奈川県横浜市<br>戸塚区原宿三丁目 | 立体接続 | 戸塚インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

249，201 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA0＋00）から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）まで
平成 13 年 3 月 10 日

ロ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）から神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）まで
平成 13 年 8 月 14 日

ハ 神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目（STA87＋00）まで
平成 32 年 4 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成 33 年 3 月 31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

292，539 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　280，200 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県比企郡川島町大字中山から埼玉県桶川市大字川田谷まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県比企郡川島町大字中山　　から
埼玉県桶川市大字川田谷　　まで

（ロ） 延　　長　　5．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　埼玉県比企郡川島町大字中山から埼玉県比企郡川島町大字平沼まで　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

埼玉県比企郡川島町大字平沼から埼玉県桶川市大字川田谷まで　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県比企郡川島町大字中山　から<br>埼玉県比企郡川島町大字平沼　まで | 80 | 0．4 | |

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県比企郡川島町大字平沼　から<br>埼玉県桶川市大字川田谷　まで | 100 | 5．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員

3．50 メートル

別　紙　1

（へ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県比企郡川島町大字中山 から<br>埼玉県桶川市大字川田谷 まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（ト） 路肩の標準幅員

埼玉県比企郡川島町大字中山から埼玉県比企郡川島町大字平沼まで　（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | － | － | － | |

別　紙　1

埼玉県比企郡川島町大字平沼から埼玉県桶川市大字川田谷まで　（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |

（チ）　付加車線の標準幅員　　－　　メートル

（リ）　中央帯の標準幅員

埼玉県比企郡川島町大字中山から埼玉県比企郡川島町大字平沼まで　3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

埼玉県比企郡川島町大字平沼から埼玉県桶川市大字川田谷まで　4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道254号 | 埼玉県比企郡川島町<br>大字中山 | 立体接続 | 川島インターチェンジ |
| 一般国道17号 | 埼玉県桶川市大字川田谷 | 立体接続 | 桶川北本インターチェンジ |

（4） 工事予算

4，685 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県比企郡川島町大字中山（STA76+60）から埼玉県比企郡川島町大字白井沼（STA92+95）まで
平成　21　年　4　月　1　日

ロ　埼玉県比企郡川島町大字白井沼（STA92+95）から埼玉県比企郡川島町大字三保谷宿（STA112+69）まで
平成　21　年　7　月　1　日

ハ　埼玉県比企郡川島町大字三保谷宿（STA112+69）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA122+40）まで
平成　21　年　11　月　1　日

二　埼玉県桶川市大字川田谷（STA122+40）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA123+70)まで
平成　22　年　2　月　15　日

ホ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA123+70）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA124+12)まで
平成　21　年　6　月　1　日

ヘ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA124+12）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA125+81)まで
平成　21　年　6　月　1　日

ト　埼玉県桶川市大字川田谷（STA125+81）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA130+24)まで
平成　21　年　4　月　1　日

別　紙　1

チ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA130+24）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA131+20)まで
平成　21　年　11　月　1　日

リ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA131+20）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA133+43)まで
平成　22　年　2　月　1　日

ヌ　埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA0+0）から埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA1+30)まで
平成　21　年　10　月　1　日

ル　埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA1+30）から埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA9+20)まで
平成　22　年　2　月　1　日

ヲ　埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA9+20）から埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA10+13)まで
平成　21　年　11　月　1　日

ワ　埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA3+20）から埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA5+80)まで
平成　21　年　11　月　1　日

カ　埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA5+80）から埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA8+64)まで
平成　21　年　10　月　1　日

ヨ　埼玉県桶川市大字川田谷
平成　21　年　12　月　1　日

タ　埼玉県桶川市大字川田谷
平成　21　年　10　月　1　日

別　紙　1

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　3 月　28 日　（供用開始）

平成　24 年　3 月　28 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

5，404 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　5，404 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県桶川市大字川田谷から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県桶川市大字川田谷　　から
埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　　まで

（ロ） 延　　長　　10．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県桶川市大字川田谷　から<br>埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　まで | 100 | 10．8 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県桶川市大字川田谷　から<br>埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | ２．５０×２ | ５．００ | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | ２．５０×２ | ５．００ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | ２．５０×２ | ５．００ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

４．５０　メートル　（土工部）
４．５０　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道17号 | 埼玉県桶川市大字川田谷 | 立体接続 | 桶川北本インターチェンジ |
| 県道川越栗橋線 | 埼玉県桶川市大字加納 | 立体接続 | 桶川インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道122号 | 埼玉県久喜市菖蒲町台 | 立体接続 | 白岡菖蒲インターチェンジ |

（4） 工事予算

68，868 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA133+43）から埼玉県桶川市大字加納（STA180+84）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ロ　埼玉県桶川市大字加納（STA180+84）から埼玉県桶川市大字加納（STA184+44）まで
平成　25　年　4　月　1　日

ハ　埼玉県桶川市大字加納（STA184+44）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）まで
平成　24　年　2　月　1　日

ニ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）まで
平成　25　年　4　月　1　日

ホ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）から埼玉県桶川市赤堀（STA191+49）まで
平成　23　年　12　月　15　日

ヘ　埼玉県桶川市赤堀（STA191+49）から埼玉県桶川市赤堀（STA192+00）まで
平成　24　年　4　月　1　日

ト　埼玉県桶川市赤堀（STA192+00）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA195+00）まで
平成　23　年　12　月　15　日

チ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA195+00）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA196+70）まで
平成　24　年　4　月　1　日

リ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA196+70）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA198+35）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ヌ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA198+35）から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+94）まで
平成　24　年　4　月　1　日

ル　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+94）から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎（STA241+72）まで
平成　25　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

71，252 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　69，802 百万円）（消費税込み）

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県久喜市菖蒲町上大崎から埼玉県久喜市下早見まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　　から
埼玉県久喜市下早見　　まで

（ロ） 延　　長　　3．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　から<br>埼玉県久喜市下早見　まで | 100 | 3．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　から<br>埼玉県久喜市下早見　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | ２．５０×２ | ５．００ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
４．５０　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道122号 | 埼玉県久喜市菖蒲町台 | 立体接続 | 白岡菖蒲インターチェンジ |
| 東北縦貫自動車道弘前線 | 埼玉県久喜市下早見 | 立体接続 | 久喜白岡ジャンクション |

（4） 工事予算

10，481 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字下大崎
平成　22　年　6　月　1　日

ロ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字下大崎(STA0+35)から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA1+62)まで
平成　22　年　8　月　1　日

ハ　埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA1+62)から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA1+76)まで
平成　22　年　10　月　1　日

ニ　埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA1+76)から埼玉県久喜市菖蒲町台(STA4+77)まで
平成　22　年　4　月　1　日

ホ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字下大崎(STA0+35)から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA5+90)まで
平成　22　年　8　月　1　日

ヘ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字下大崎(STA0+48)から埼玉県久喜市菖蒲町台(STA2+33)まで
平成　22　年　8　月　1　日

ト　埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA241+72)から埼玉県久喜市原字大谷(STA269+22)まで
平成　22　年　4　月　1　日

別　紙　1

チ　埼玉県久喜市原字大谷（STA12+80）から埼玉県久喜市下早見字内谷（STA8+4）まで
平成　18　年　9　月　1　日

リ　埼玉県久喜市下早見字内谷（STA8+4）から埼玉県久喜市下早見字内谷（STA7+70）まで
平成　19　年　4　月　1　日

ヌ　埼玉県久喜市下早見字内谷（STA7+70）から埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字北谷（STA4+16）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ル　埼玉県久喜市下早見字内谷（STA10+16）から埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA5+94）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ヲ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA5+94）から埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA5+44）まで
平成　19　年　4　月　1　日

ワ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA5+44）から埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA2+60）まで
平成　18　年　9　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　23　年　5　月　29　日　（供用開始）

平成　26　年　3　月　31　日　（残事業完成）

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

11，322 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，322 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（茨城県つくば市新井から茨城県つくば市梶内まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県つくば市新井　から
茨城県つくば市梶内　まで

（ロ） 延　　長　4．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県つくば市新井　から<br>茨城県つくば市梶内　まで | 100 | 4．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県つくば市新井　から<br>茨城県つくば市梶内　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | — | — | — | |

（チ） 付加車線の標準幅員

３．５０ メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）

—　メートル（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道<br>取手つくば線 | 茨城県つくば市<br>柳橋 | 立体接続 | つくば中央インターチェンジ |
| 常磐自動車道 | 茨城県つくば市<br>梶内 | 立体接続 | つくばジャンクション |

（4） 工事予算

2，041 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ-1 茨城県つくば市新井から茨城県つくば市柳橋（E-STA0＋0～E-STA1＋47）
平成 21 年 5 月 1 日

イ-2 茨城県つくば市新井（つくば中央料金所）
平成 21 年 5 月 1 日

ロ 茨城県つくば市新井（D-STA0+0）から茨城県つくば市手代木（STA374-0）まで
平成 21 年 12 月 1 日

別　紙　1

ハ　茨城県つくば市手代木（STA374-0）から茨城県つくば市手代木（STA376＋0）まで
　平成　22　年　3　月　1　日

ニ　茨城県つくば市手代木（STA376＋0）から茨城県つくば市手代木（STA383＋0）まで
　平成　21　年　12　月　1　日

ホ　茨城県つくば市手代木（STA383＋0）から茨城県つくば市西大沼（STA384＋60）まで
　平成　22　年　2　月　20　日

ヘ　茨城県つくば市西大沼（STA384＋60）から茨城県つくば市西館野（STA398＋85）まで
　平成　21　年　10　月　1　日

ト　茨城県つくば市西館野（STA398＋85）から茨城県つくば市西館野（STA401＋4）まで
　平成　22　年　2　月　20　日

チ　茨城県つくば市西館野（STA401＋4）から茨城県つくば市南中妻（STA406＋60）まで
　平成　22　年　3　月　20　日

リ　茨城県つくば市南中妻（STA406＋60）から茨城県つくば市梶内（STA0－07）まで
　平成　21　年　10　月　1　日

・　なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　4　月　24　日　（供用開始）

　　平成　25　年　3　月　31　日　（残事業完成）

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，268 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，268 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（茨城県つくば市市之台から茨城県牛久市桂町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県つくば市市之台　から
茨城県牛久市桂町　まで

（ロ） 延　長　12．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県つくば市<br>市之台　から<br>茨城県牛久市<br>桂町　まで | 100 | 12．0 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県つくば市<br>市之台　から<br>茨城県牛久市<br>桂町　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | — | — | — | |

（チ） 付加車線の標準幅員

—　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）

—　メートル（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道6号<br>牛久土浦バイパス | 茨城県つくば市<br>稲岡 | 立体接続 | つくば牛久インターチェンジ |
| 県道<br>土浦竜ケ崎線 | 茨城県稲敷郡<br>阿見町大字小池 | 立体接続 | 牛久阿見インターチェンジ |
| 県道<br>竜ケ崎阿見線バイパス | 茨城県稲敷郡<br>阿見町大字吉原 | 立体接続 | 阿見東インターチェンジ |

（4） 工事予算

2，801 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 茨城県つくば市市之台(STA15+22)から茨城県牛久市下根町（STA65+00）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ロ 茨城県牛久市下根町（STA65+00）から茨城県牛久市桂町（STA135+50）まで
平成　18　年　10　月　1　日

ハ　茨城県稲敷郡阿見町大字小池（牛久阿見料金所）
平成　18　年　4　月　19　日

ニ　茨城県稲敷郡阿見町大字吉原（阿見東料金所）
平成　18　年　4　月　19　日

・　なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　19　年　3　月　10　日　（供用開始）

平成　24　年　3　月　28　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，085 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，085 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（茨城県牛久市桂町から茨城県稲敷市沼田まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県牛久市桂町　から
茨城県稲敷市沼田　まで

（ロ） 延　　長　6．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県牛久市桂町　から<br>茨城県稲敷市沼田　まで | 100 | 6．0 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県牛久市桂町　から<br>茨城県稲敷市沼田　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | １．７５×２ | ３．５０ | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | — | — | — | |

（チ） 付加車線の標準幅員

—　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）

—　メートル（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道<br>竜ケ崎阿見線バイパス | 茨城県稲敷郡<br>阿見町大字吉原 | 立体接続 | 阿見東インターチェンジ |
| 県道<br>江戸崎新利根線バイパス | 茨城県稲敷市<br>沼田 | 立体接続 | 稲敷インターチェンジ |

（4） 工事予算

1，556 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 茨城県牛久市桂町（STA135+50）から茨城県稲敷市月出里（STA159+10）まで
平成 20 年 12 月 24 日

ロ 茨城県稲敷市月出里（STA159+10）から茨城県稲敷市沼田（STA195+38）まで
平成 21 年 1 月 26 日

ハ 茨城県稲敷市沼田（稲敷料金所）
平成 20 年 4 月 1 日

別　紙　1

ニ　茨城県牛久市桂町から茨城県稲敷郡阿見町まで（阿見東IC　Aランプ部）
平成　20　年　10　月　27　日

・　なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　20　年　12　月　16　日　（阿見東ICランプ切替）

平成　21　年　3　月　21　日　（供用開始）

平成　24　年　3　月　28　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，775 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，775 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）

（千葉県東金市丹尾から千葉県茂原市石神まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県東金市丹尾　　から
千葉県茂原市石神　　まで

（ロ） 延　　長　　21．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県東金市丹尾　から<br>千葉県茂原市石神　まで | 100 | 21．6 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県東金市丹尾　から<br>千葉県茂原市石神　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| トンネル部分 | １．００×２ | ２．００ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道126号 | 千葉県東金市丹尾 | 立体接続 | 東金インター・ジャンクション<br>（仮称） |
| 市道5164号線 | 千葉県東金市山台 | 立体接続 | 東金インター・ジャンクション<br>（仮称） |
| 県道五井本納線 | 千葉県茂原市上太田 | 立体接続 | 茂原北インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道409号<br>（茂原・一宮・大原道路） | 千葉県長生郡長南町坂本 | 立体接続 | 茂原長南インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

23，390 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 千葉県東金市丹尾（STA0－01）から千葉県東金市小野（STA11＋60）まで
平成　24 年 11 月 1 日

ロ 千葉県東金市小野（STA11＋60）から千葉県大網白里町養安寺（STA20＋20）まで
平成　24 年 9 月 1 日

ハ 千葉県大網白里町養安寺（STA20＋20）から千葉県大網白里町養安寺（STA21＋35）まで
平成　24 年 12 月 15 日

ニ 千葉県大網白里町養安寺（STA21＋35）から千葉県大網白里町小西（STA27＋85）まで
平成　24 年 12 月 1 日

ホ 千葉県大網白里町小西（STA27＋85）から千葉県大網白里町餅木（STA33＋69．5）まで
平成　24 年 7 月 1 日

ヘ 千葉県大網白里町餅木（STA33+69．5）から千葉県大網白里町餅木（STA35＋23）まで
平成　24 年 6 月 1 日

ト 千葉県大網白里町餅木（STA35＋23）から千葉県大網白里町金谷郷（STA48＋69）まで
平成　24 年 2 月 15 日

別　紙　1

チ　千葉県大網白里町金谷郷（STA48＋69）から千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）まで
　平成　24 年 11 月 1 日

リ　千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）まで
　平成　21 年 8 月 1 日

ヌ　千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋70）まで
　平成　24 年 9 月 1 日

ル　千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋70）から千葉県大網白里町小中（STA80＋00）まで
　平成　21 年 8 月 1 日

ヲ　千葉県大網白里町小中（STA80＋00）から千葉県大網白里町神房（STA86＋00）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

ワ　千葉県大網白里町神房（STA86＋00）から千葉県茂原市柴名（STA106＋94）まで
　平成　21 年 8 月 1 日

カ　千葉県茂原市柴名（STA106＋94）から千葉県茂原市柴名（STA109＋20）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

ヨ　千葉県茂原市柴名（STA109＋20）から千葉県茂原市柴名（STA113＋60）まで
　平成　24 年 5 月 1 日

タ　千葉県茂原市柴名（STA113＋60）から千葉県茂原市上太田（STA123＋11）まで
　平成　24 年 10 月 1 日

別　紙　1

レ　千葉県茂原市上太田（STA123＋11）から千葉県茂原市上太田（STA124＋34）まで
平成　24 年 12 月 1 日

ソ　千葉県茂原市上太田（STA124＋34）から千葉県茂原市真名（STA148＋91）まで
平成　24 年 2 月 15 日

ツ　千葉県茂原市真名（STA148＋91）から千葉県茂原市真名（STA156＋20）まで
平成　24 年 5 月 1 日

ネ　千葉県茂原市真名（STA156＋20）から千葉県長柄町榎本（STA179＋60）まで
平成　24 年 2 月 15 日

ナ　千葉県長柄町榎本（STA179＋60）から千葉県長柄町榎本（STA183＋80）まで
平成　24 年 6 月 1 日

ラ　千葉県長柄町榎本（STA183＋80）から千葉県長南町須田（STA194＋40）まで
平成　24 年 8 月 1 日

ム　千葉県長南町須田（STA194＋40）から千葉県長南町関原（STA203＋88．2）まで
平成　24 年 9 月 1 日

ウ　千葉県長南町関原（STA203＋88．2）から千葉県茂原市石神（STA210＋39）まで
平成　24 年 8 月 1 日

ノ　千葉県茂原市石神（STA210＋39）から千葉県茂原市石神（STA216＋20）まで
平成　24 年 7 月 1 日

別　紙　1

茂原北IC　ランプ部
オ　千葉県茂原市柴名（STA4＋20）から千葉県茂原市上太田（STA0＋60）まで
　平成　19　年　12　月　1　日

ク　千葉県茂原市上太田（STA0＋60）から千葉県茂原市上太田（STA0＋20）まで
　平成　20　年　10　月　1　日

ヤ　千葉県茂原市上太田（STA0＋20）から千葉県茂原市上太田（STA2＋10）まで
　平成　19　年　12　月　1　日

・　なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

25，235 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，678 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）

（千葉県茂原市石神から千葉県木更津市下郡まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県茂原市石神　　から
千葉県木更津市下郡　　まで

（ロ） 延　　長　　21．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県茂原市石神　から<br>千葉県木更津市下郡　まで | 100 | 21．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県茂原市石神　から<br>千葉県木更津市下郡　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| トンネル部分 | １．００×２ | ２．００ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道409号<br>（茂原・一宮・大原道路） | 千葉県長生郡長南町坂本 | 立体接続 | 茂原長南インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道297号 | 千葉県市原市田尾 | 立体接続 | 市原南インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道410号バイパス | 千葉県木更津市下郡 | 立体接続 | 木更津東インターチェンジ |

（4） 工事予算

13，974 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 千葉県茂原市石神（STA216＋20）から千葉県長生郡長南町坂本（STA219＋73）まで
平成 24 年 7 月 1 日

ロ 千葉県長生郡長南町坂本（STA219＋73）から千葉県長生郡長南町坂本（STA220＋73）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ハ 千葉県長生郡長南町坂本（STA220＋73）から千葉県長生郡長南町坂本（STA222＋77）まで
平成 24 年 7 月 1 日

ニ 千葉県長生郡長南町坂本（STA222＋77）から千葉県長生郡長南町坂本（STA233＋60）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ホ 千葉県長生郡長南町坂本（STA233＋60）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋00）まで
平成 24 年 8 月 1 日

ヘ 千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋00）から千葉県長生郡長南町竹林（STA261＋60）まで
平成 24 年 10 月 1 日

ト 千葉県長生郡長南町竹林（STA261＋60）から千葉県市原市岩撫（STA272＋86）まで
平成 24 年 8 月 1 日

別　紙　1

チ　千葉県市原市岩撫（STA272＋86）から千葉県市原市田尾（STA297＋06）まで
　平成　24　年　3　月　26　日

リ　千葉県市原市田尾（STA297＋06）から千葉県市原市田尾（STA309＋00）まで
　平成　24　年　9　月　1　日

ヌ　千葉県市原市田尾（STA309＋00）から千葉県市原市養老（STA335＋65）まで
　平成　24　年　8　月　1　日

ル　千葉県市原市養老（STA335＋65）から千葉県市原市山口（STA360＋80）まで
　平成　24　年　6　月　1　日

ヲ　千葉県市原市山口（STA360＋80）から千葉県木更津市真理谷（STA367＋60）まで
　平成　24　年　8　月　16　日

ワ　千葉県木更津市真理谷（STA367＋60）から千葉県木更津市真理谷（STA375＋21）まで
　平成　24　年　6　月　1　日

カ　千葉県木更津市真理谷（STA375＋21）から千葉県木更津市真理谷（STA380＋69）まで
　平成　23　年　11　月　21　日

ヨ　千葉県木更津市真理谷（STA380＋69）から千葉県木更津市真理谷（STA394＋80）まで
　平成　24　年　8　月　1　日

別　紙　1

タ　千葉県木更津市真理谷（STA394＋80）から千葉県木更津市真理谷（STA400＋51）まで
　平成　24　年　3　月　26　日

レ　千葉県木更津市真理谷（STA400＋51）から千葉県木更津市真理谷（STA402＋30．7）まで
　平成　23　年　11　月　21　日

ソ　千葉県木更津市真理谷（STA402＋30．7）から千葉県木更津市真理谷（STA404＋78）まで
　平成　24　年　3　月　26　日

ツ　千葉県木更津市真理谷（STA404＋78）から千葉県木更津市茅野（STA413＋63．6）まで
　平成　23　年　11　月　21　日

ネ　千葉県木更津市茅野（STA413＋63．6）から千葉県木更津市下郡（STA429＋17）まで
　平成　24　年　6　月　1　日

茂原長南IC 料金所部
ナ　千葉県長生郡長南町坂本（C1-STA0＋19．2）から千葉県長生郡長南町坂本（E-STA1+10．8）まで
　平成　23　年　11　月　21　日

茂原長南IC 管理施設部
ラ　千葉県長生郡長南町坂本（C1-STA3＋88．5）から千葉県長生郡長南町坂本（E-STA3+7）まで
　平成　24　年　3　月　26　日

別　紙　1

市原南IC 料金所部

ム　千葉県市原市田尾（C1-STA0 ＋8．95）から千葉県市原市田尾（E-STA0＋41．05）まで
　平成　23　年　11　月　21　日

市原南IC 管理施設部

ウ　千葉県市原市田尾（C1-STA0 ＋95）から千葉県市原市田尾（E-STA0＋68）まで
　平成　24　年　3　月　26　日

・　なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

14，905 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，661 百万円）（消費税込み）

一般国道１４号（京葉道路）（市川IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市稲荷木

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道市川浦安線 | 千葉県市川市稲荷木 | 立体接続 | 市川インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，461 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　28　年　3　月　31　日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，840 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，804 百万円）（消費税込み）

一般国道１４号（京葉道路）（市川ＰＡ）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

16，657 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　28　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

17，574 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　16，728 百万円）（消費税込み）

# 一般国道１６号（横浜横須賀道路）
# （神奈川県横浜市金沢区並木三丁目から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区並木三丁目　　から
神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　まで

（ロ） 延　　長　　4．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県横浜市<br>金沢区並木三丁目　から<br>神奈川県横浜市<br>金沢区釜利谷町　まで | 80 | 4．2 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県横浜市<br>金沢区並木三丁目　から<br>神奈川県横浜市<br>金沢区釜利谷町　まで | 6 車線 | 6 車線 | 6車線化 |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 市道長浜第56号 | 神奈川県横浜市<br>金沢区並木三丁目 | 立体接続 | 並木インターチェンジ |
| 市道長浜第99号 | 神奈川県横浜市<br>金沢区並木三丁目 | 立体接続 | 並木インターチェンジ |
| 県道高速湾岸線<br>（首都高速道路湾岸線） | 神奈川県横浜市<br>金沢区並木三丁目 | 平面接続 | 並木インターチェンジ |
| 市道堀口第531号 | 神奈川県横浜市<br>金沢区能見台東 | 立体接続 | 堀口能見台インターチェンジ |

（4） 工事予算

168 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　3 年 12 月 17 日

②工事の完成予定年月日　　平成 33 年　3 月 31 日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

310 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　302 百万円）（消費税込み）

一般国道４７号（仙台北部道路）（利府JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の箇所

宮城県多賀城市市川

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道45号 | 宮城県宮城郡利府町加瀬 | 立体接続 | 利府ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，700 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　26　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，268 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，181 百万円）（消費税込み）

# 一般国道１２６号（千葉東金道路）
# （千葉県東金市丹尾から千葉県山武市松尾町谷津まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道126号

（有料道路名 ： 千葉東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県東金市丹尾　　から
千葉県山武市松尾町谷津　　まで

（ロ） 延　　長　　15. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県東金市丹尾　から<br>千葉県山武市松尾町谷津　まで | 100 | 15．7 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県東金市丹尾　から<br>千葉県山武市松尾町谷津　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化事業 |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（東京湾横断・木更津東金道路） | 千葉県東金市丹尾 | 平面接続<br>立体接続 | 東金インター・ジャンクション（仮称） |
| 東金市道5146号線 | 千葉県東金市山台 | 立体接続 | |
| 県道成東酒々井線 | 千葉県山武市矢部 | 立体接続 | 山武成東インターチェンジ |
| 一般国道126号<br>（銚子連絡道路） | 千葉県山武市松尾町谷津 | 立体接続 | 松尾横芝インターチェンジ |
| 県道成田松尾線 | 千葉県山武市松尾町谷津 | 立体接続 | 松尾横芝インターチェンジ |

（4） 工事予算

17，738 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

21，066 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，160 百万円）（消費税込み）

一般国道１２７号（富津館山道路）（富山PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道127号

（有料道路名 ： 富津館山道路）

（2） 工事の箇所

千葉県南房総市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（4） 工事予算

949 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　9　月　2　日

②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，118 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，098 百万円）（消費税込み）

一般国道４６６号（第三京浜道路）（野川IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道466号

（有料道路名 ： 第三京浜道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県川崎市宮前区野川

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 市道尻手黒川線 | 神奈川県川崎市宮前区野川 | 立体接続 | 野川インターチェンジ（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

17，266 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　63　年　1　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

11，932 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，469 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都西多摩郡日の出町平井から埼玉県鶴ヶ島市大字藤金まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

東京都西多摩郡日の出町平井　　から

埼玉県鶴ヶ島市大字藤金　　まで

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

1，572 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　61　年　12　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，727 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，648 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（久喜白岡JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 埼玉県久喜市下早見 | 平面接続 | 本線 |

別　紙　1

（4） 工事予算

13，463 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県久喜市大字原字大谷（STA269+22）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA273+50）まで
平成　18 年　 9 月　 1 日

ロ　埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA273+50）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA274+34）まで
平成　19 年　 3 月　31 日

ハ　埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA274+34）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA275+20）まで
平成　18 年　 9 月　 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

14，485 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，062 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（江戸崎PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

茨城県稲敷市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（4） 工事予算

1，202 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ 茨城県稲敷市月出里(STA164+70)から茨城県稲敷市蒲ヶ山（STA174+24）まで
平成 24 年 10 月 1 日

ロ 茨城県稲敷市沼田（STA184+30）から茨城県稲敷市沼田（STA195+38）まで
平成 25 年 4 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日
平成 27 年 3 月 31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，389 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，330 百万円）（消費税込み）

東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC)に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

50，375 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

51，284 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

| （イ）路線名 | （ロ）工事の箇所 | （ハ）工事方法 | | | （ニ）工事の着手及び完成の予定年月日 | | （ホ）工事予算（消費税込み） | （ヘ）債務引受限度額（消費税込み） | うち助成対象基準額（消費税込み） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 他の道路との接続位置及び接続の方法 | | | | | | | | |
| | | 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 工事の着手予定年月日 | 工事の完成予定年月日 | | | | |
| 東北縦貫自動車道弘前線 | 栃木県佐野市黒袴町 | 県道佐野環状線 | 栃木県佐野市関川町及び黒袴町 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成23年4月27日（供用開始）<br>平成26年3月31日（残事業完成） | 1,241百万円 | 1,472百万円 | ― | 佐野SA |
| 東北縦貫自動車道弘前線 | 栃木県宇都宮市今里町 | 県道上河内スマートインター線 | 栃木県宇都宮市今里町 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成22年12月18日（供用開始）<br>平成24年3月28日（残事業完成） | 310百万円 | 350百万円 | ― | 上河内SA |

別　紙　1

| （イ）<br>路線名 | （ロ）<br>工事の箇所 | （ハ）工事方法<br>他の道路との接続位置及び接続の方法 | | | （ニ）<br>工事の着手及び完成の予定年月日 | | （ホ）<br>工事予算<br>（消費税込み） | （ヘ）<br>債務引受限度額<br>（消費税込み） | うち<br>助成対象<br>基準額<br>（消費税込み） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 工事の着手<br>予定年月日 | 工事の完成<br>予定年月日 | | | | |
| 東北縦貫自動車道<br>弘前線 | 栃木県<br>那須郡<br>那須町<br>豊原丙 | 県道<br>那須高原<br>スマート<br>インター線 | 栃木県<br>那須郡<br>那須町<br>豊原丙 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成22年12月18日<br>（供用開始）<br>平成24年3月28日<br>（残事業完成） | 439百万円 | 483百万円 | — | 那須<br>高原<br>SA |
| 東北横断自動車道<br>釜石秋田線 | 秋田県<br>大仙市<br>九升田 | 市道<br>赤坂強首線 | 秋田県<br>大仙市<br>強首及び<br>九升田 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成23年3月26日<br>（供用開始）<br>平成24年3月28日<br>（残事業完成） | 92百万円 | 98百万円 | — | 西仙北<br>SA |
| 東北横断自動車道<br>いわき新潟線 | 新潟県<br>新潟市<br>秋葉区福島 | 市道新津<br>１－90号線<br>及び<br>市道新津<br>１－91号線 | 新潟県<br>新潟市<br>秋葉区福島 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成23年12月17日<br>（供用開始）<br>平成26年3月31日<br>（残事業完成） | 1,763百万円 | 1,918百万円 | — | 本線<br>直結<br>型 |
| 関越自動車道<br>新潟線 | 埼玉県<br>坂戸市塚崎 | 市道3979<br>号路線及び<br>市道6919<br>号路線 | 埼玉県<br>坂戸市塚崎<br>及び粟生田 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成26年3月31日 | 1,994百万円 | 2,200百万円 | — | 本線<br>直結<br>型 |
| 関越自動車道<br>新潟線 | 群馬県高崎<br>市上滝町 | 市道<br>G680号線<br>及び<br>市道<br>G681号線 | 群馬県高崎<br>市上滝町及<br>び佐波郡玉<br>村町上新田 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成26年3月31日 | 3,986百万円 | 4,323百万円 | — | 本線<br>直結<br>型 |
| 常磐自動車道 | 茨城県<br>石岡市<br>正上内 | 市道<br>A2485号線 | 茨城県<br>石岡市<br>正上内 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成23年3月24日<br>（供用開始）<br>平成25年3月31日<br>（残事業完成） | 2,951百万円 | 3,194百万円 | — | 本線<br>直結<br>型 |
| 北陸自動車道 | 新潟県<br>三条市<br>福島新田 | 市道岡野<br>新田1号線<br>及び<br>市道岡野<br>新田2号線 | 新潟県<br>三条市<br>福島新田 | 立体接続 | 平成21年9月11日 | 平成24年9月30日 | 1,095百万円 | 1,213百万円 | — | 栄PA |

別　紙　1

| （イ）<br>路線名 | （ロ）<br>工事の箇所 | （ハ）工事方法<br>他の道路との接続位置及び接続の方法 | | | （ニ）<br>工事の着手及び完成の予定年月日 | | （ホ）<br>工事予算<br>（消費税込み） | （へ）<br>債務引受限度額<br>（消費税込み） | うち<br>助成対象<br>基準額<br>（消費税込み） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 工事の着手<br>予定年月日 | 工事の完成<br>予定年月日 | | | | |
| 関越自動車道<br>新潟線 | 埼玉県大里郡寄居町用土 | 深谷市道岡2-570号及び寄居町道A046号線 | 埼玉県深谷市本郷及び大里郡寄居町用土 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成28年10月31日 | 953百万円 | 1,052百万円 | — | 寄居PA |
| 関越自動車道<br>新潟線 | 埼玉県児玉郡上里町大字五明 | 町道2480号線及び町道2087号線 | 埼玉県児玉郡上里町大字五明 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成27年12月31日 | 1,152百万円 | 1,257百万円 | — | 上里SA |
| 北陸自動車道 | 新潟県長岡市上野町 | 市道上川西398号線及び市道上川西399号線 | 新潟県長岡市上野町及び大荒戸町 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成29年3月31日 | 2,201百万円 | 2,398百万円 | — | 本線直結型 |
| 北陸自動車道 | 新潟県新潟市江南区西野 | 主要地方道新潟港横越線 | 新潟県新潟市江南区西野 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成28年3月31日 | 3,274百万円 | 3,530百万円 | — | 本線直結型 |

東北縦貫自動車道弘前線（蓮田スマートIC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県蓮田市大字黒浜

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道蓮田白岡久喜線　及び<br>市道1260号線 | 埼玉県蓮田市大字黒浜 | 立体接続 | 蓮田SA |

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　12 月　22 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　 2 月　 3 日

## 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

# 一般国道47号（仙台北部道路）
# （宮城県宮城郡利府町沢乙から宮城県黒川郡富谷町穀田まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県宮城郡利府町沢乙　　から
宮城県黒川郡富谷町穀田　　まで

（ロ） 延　　長　　6．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮城県宮城郡利府町沢乙　から<br>宮城県黒川郡富谷町穀田　まで | 100 | 6．6 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 宮城県宮城郡利府町沢乙　から<br>宮城県黒川郡富谷町穀田　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50<br>1．75 | 4．25 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．50×2 | 3．00 | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道塩竈吉岡線 | 宮城県宮城郡利府町沢乙 | 立体接続 | 利府しらかし台インターチェンジ |
| 東北縦貫自動車道弘前線 | 宮城県黒川郡富谷町穀田 | 立体接続 | 富谷ジャンクション |

（4） 工事予算

2，057 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　宮城県宮城郡利府町沢乙（No177+0.00）～宮城県宮城郡利府町沢乙（D－No2+10.00）まで
平成　21　年　11　月　25　日

ロ　宮城県宮城郡利府町沢乙（No228+11.62）～宮城県黒川郡富谷町穀田（No.502+00）まで
平成　21　年　12　月　18　日

ハ　宮城県黒川郡富谷町穀田（No502+00）～宮城県黒川郡富谷町穀田（No.558+4.061）まで
平成　21　年　9　月　11　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成年月日　平成　21　年　12　月　16　日　（利府しらかし台ICランプ切替）

平成　22　年　3　月　27　日　（供用開始）

平成　23　年　9　月　30　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，217 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　2，217 百万円）（消費税込み）

# 一般国道47号（仙台北部道路）
# （宮城県黒川郡富谷町穀田から宮城県黒川郡富谷町富谷まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県黒川郡富谷町穀田　　から
宮城県黒川郡富谷町富谷　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮城県黒川郡富谷町穀田　から<br>宮城県黒川郡富谷町富谷　まで | 80 | 1．7 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 宮城県黒川郡富谷町穀田　から<br>宮城県黒川郡富谷町富谷　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | ― | ― | ― | |
| トンネル部分 | ― | ― | ― | ― | ― | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | ― | ― | ― | ― | ― | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | ― | ― | ― | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

―　メートル　（土工部）
―　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 東北縦貫自動車道弘前線 | 宮城県黒川郡富谷町穀田 | 立体接続 | 富谷ジャンクション |
| 一般国道4号 | 宮城県黒川郡富谷町富谷 | 平面接続 | 富谷インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

2，044 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ　宮城県黒川郡富谷町穀田（No558+4.06）～宮城県黒川郡富谷町穀田（No565+9.80）まで
平成　24　年　5　月　1　日

ロ　宮城県黒川郡富谷町穀田（No565+9.80）～宮城県黒川郡富谷町富谷（No620+10.00）まで
平成　23　年　12　月　1　日

ハ　宮城県黒川郡富谷町富谷（No620+10.00）～宮城県黒川郡富谷町富谷（No643+4.50）まで
平成　24　年　5　月　1　日

別　紙　1

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，290 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，188 百万円）（消費税込み）

一般国道４７号（仙台北部道路）（利府JCT改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の箇所

宮城県宮城郡利府町加瀬

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道45号 | 宮城県宮城郡利府町加瀬 | 立体接続 | 利府ジャンクション |

（4） 工事予算

839 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　22 年　 4 月　 1 日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　 9 月　 2 日　（利府JCTランプ切替）

平成　22 年　10 月　22 日　（供用開始）

平成　24 年　 3 月　28 日　（残事業完成）

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

931 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　931 百万円）（消費税込み）

# 北海道縦貫自動車道函館名寄線（新千歳空港IC）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道千歳市泉沢

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 道道　新千歳空港インター線 | 北海道千歳市<br>泉沢 | 立体接続 | 新千歳空港インターチェンジ（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

747 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　11 日

②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

854 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　816 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（大衡IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県黒川郡大衡村奥田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道大衡落合線 | 宮城県黒川郡大衡村<br>松の平 | 立体接続 | 大衡インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

849 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　11 日

②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　12 月　18 日　（供用開始）

平成　24 年　 3 月　28 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

948 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　948 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道酒田線（酒田中央JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

東北横断自動車道酒田線

（2） 工事の箇所

山形県酒田市遊摺部

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道47号 | 山形県酒田市遊摺部 | 立体接続 | 酒田中央ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　25 年　 4 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

# 関越自動車道上越線

（長野県上水内郡信濃町大字野尻から新潟県上越市大字中屋敷まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道上越線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　長野県上水内郡信濃町大字野尻　から
新潟県上越市大字中屋敷　まで

（ロ） 延　長　37. 5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

| 設 計 区 間 | 道路の区分 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 長野県上水内郡信濃町大字野尻 から<br>新潟県上越市中郷区二本木 まで | 第1種第3級 | 道路構造令 |
| 新潟県上越市中郷区二本木 から<br>新潟県上越市大字中屋敷 まで | 第1種第2級 | 道路構造令 |

別　紙　1

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 長野県上水内郡信濃町大字野尻 から<br>新潟県上越市中郷区二本木 まで | 80 | 17．6 | |
| 新潟県上越市中郷区二本木 から<br>新潟県上越市大字中屋敷 まで | 100 | 19．9 | |

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 長野県上水内郡信濃町大字野尻 から<br>新潟県上越市大字中屋敷 まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 設計区間 | 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 長野県上水内郡<br>信濃町大字野尻<br>から<br>新潟県上越市<br>中郷区二本木<br>まで | 土工（掘割）部分 | 1．75 | 1．75 | － | － | － | |
| | トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| | 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75 | 1．75 | － | － | － | |
| | 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25 | 1．25 | － | － | － | |
| 新潟県上越市<br>中郷区二本木<br>から<br>新潟県上越市<br>大字中屋敷<br>まで | 土工（掘割）部分 | 2．50 | 2．50 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| | トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| | 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 2．50 | 2．50 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| | 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75 | 1．75 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

| 設 計 区 間 | 幅　員 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 長野県上水内郡信濃町大字野尻 から<br>新潟県上越市中郷区二本木 まで | 3．00メートル（土工部）<br>3．00メートル（橋梁部） | |
| 新潟県上越市中郷区二本木 から<br>新潟県上越市大字中屋敷 まで | 4．50メートル（土工部）<br>4．50メートル（橋梁部） | |

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| ― | ― | ― | |

（4） 工事予算

48，572　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　24　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

56，416 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　53，961 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道千葉富津線

## （千葉県木更津市中烏田から千葉県富津市竹岡まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県木更津市中烏田　　から
千葉県富津市竹岡　　まで

（ロ） 延　　長　　20. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県木更津市中烏田　から<br>千葉県富津市竹岡　まで | 100 | 20. 7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 千葉県木更津市中烏田 から<br>千葉県富津市竹岡 まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ― | ― | ― | |

（4） 工事予算

26，667 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　24　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

31，033 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，685 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道水戸線（潮来IC）（改築）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県潮来市福島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般県道水戸神栖線 | 茨城県潮来市福島 | 立体接続 | 潮来インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

3，829 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

4，437 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，242 百万円）（消費税込み）

# 東関東自動車道水戸線（鉾田IC）（改築）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県鉾田市秋山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道小川鉾田線 | 茨城県鉾田市飯名 | 立体接続 | 鉾田インターチェンジ（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，434 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，813 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，739 百万円）（消費税込み）

一般国道６号（仙台東部道路）（仙台港IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

一般国道6号

（有料道路名 ： 仙台東部道路）

（2） 工事の箇所

宮城県仙台市宮城野区福室

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 主要地方道塩釜亘理線 | 宮城県仙台市宮城野区蒲生 | 立体接続 | 仙台港インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

1，117 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　宮城県仙台市宮城野区福室（料金所部）（No171+11.66）
平成　24　年　2　月　1　日

ロ　宮城県仙台市宮城野区福室（料金所部を除く）（No171+11.66）
平成　24　年　6　月　1　日

・なお、工事の着手予定年月日とは、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，271 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，223 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県久喜市大字下早見から茨城県猿島郡五霞町大字江川まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県久喜市大字下早見　　から
茨城県猿島郡五霞町大字江川　　まで

（ロ） 延　　長　　12．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県久喜市大字下早見　から<br>茨城県猿島郡五霞町大字江川　まで | 100 | 12．7 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県久喜市大字下早見　から<br>茨城県猿島郡五霞町大字江川　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 東北縦貫自動車道 弘前線 | 埼玉県久喜市<br>大字下早見 | 立体接続 | 久喜白岡ジャンクション |
| 都市計画道路 惣新田・幸手線 | 埼玉県幸手市<br>大字平須賀 | 立体接続 | 幸手インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道4号 | 茨城県猿島郡五霞町<br>大字江川 | 立体接続 | 五霞インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

24，966 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　埼玉県久喜市大字下早見（STA274+95）から埼玉県幸手市大字上高野（STA331+83）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ロ　埼玉県幸手市大字上高野（STA331+83）から埼玉県幸手市大字上高野（STA339+04）まで
平成　26　年　10　月　1　日

ハ　埼玉県幸手市大字上高野（STA339+04）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA357+16）まで
平成　26　年　4　月　1　日

二　埼玉県幸手市大字平須賀（STA357+16）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA360+56）まで
平成　24　年　7　月　1　日

ホ　埼玉県幸手市大字平須賀（STA360+56）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA362+36）まで
平成　26　年　2　月　1　日

ヘ　埼玉県幸手市大字平須賀（STA362+36）から埼玉県幸手市大字木立（STA382+10）まで
平成　24　年　7　月 1　日

ト　埼玉県幸手市大字木立（STA382+10）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA16+91）まで
平成　26　年　4　月　1　日

別　紙　1

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

26，161 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，902 百万円）（消費税込み）

# 一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）
# （茨城県猿島郡五霞町大字江川から茨城県つくば市新井まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県猿島郡五霞町大字江川　から
茨城県つくば市新井　まで

（ロ） 延　長　35. 4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県猿島郡五霞町大字江川　から<br>茨城県つくば市新井　まで | 100 | 35．4 | |

（ニ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県猿島郡五霞町大字江川　から<br>茨城県つくば市新井　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道4号 | 茨城県猿島郡<br>五霞町大字江川 | 立体接続 | 五霞インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道354号 | 茨城県猿島郡<br>境町大字蛇池 | 立体接続 | 境インターチェンジ（仮称） |
| 主要地方道 結城岩井線 | 茨城県坂東市<br>大字冨田 | 立体接続 | 猿島岩井インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道294号 | 茨城県常総市<br>三坂新田町 | 立体接続 | 水海道インターチェンジ（仮称） |
| 県道 取手つくば線 | 茨城県つくば市<br>柳橋 | 立体接続 | つくば中央インターチェンジ |

（4） 工事予算

40，760 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA16+91）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA19+35）まで
　平成　26 年　4 月　1 日

ロ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA19+35）から茨城県猿島郡五霞町大字山王山（STA30+20）まで
　平成　26 年　4 月　1 日

ハ　茨城県猿島郡五霞町大字山王山（STA30+20）から茨城県猿島郡五霞町大字大福田（STA37+30）まで
　平成　24 年　9 月　1 日

ニ　茨城県猿島郡大字大福田（STA37+30）から茨城県猿島郡境町大字塚崎（STA50+25）まで
　平成　26 年　4 月　1 日

ホ　茨城県猿島郡境町大字塚崎（STA50+25）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA88+80）まで
　平成　24 年　9 月　1 日

ヘ　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA88+80）から茨城県つくば市大字新井（STA371+21）まで
　平成　26 年　4 月　1 日

別　紙　1

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

43，434 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，379 百万円）（消費税込み）

# 一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）
# （茨城県稲敷市沼田から千葉県成田市吉岡まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県稲敷市沼田　　から
千葉県成田市吉岡　　まで

（ロ） 延　　長　　20．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県稲敷市沼田　から<br>千葉県成田市吉岡　まで | 100 | 20．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 茨城県稲敷市沼田　から<br>千葉県成田市吉岡　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５ | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | １．７５×２ | ３．５ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 主要地方道 江戸崎新利根線 | 茨城県稲敷市<br>沼田 | 立体接続 | 稲敷インターチェンジ |
| 県道 江戸崎下総線 | 茨城県稲敷市<br>桑山 | 立体接続 | 東インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道356号 | 千葉県香取郡<br>神崎町大字松崎 | 立体接続 | 神崎インターチェンジ（仮称） |
| 主要地方道 成田下総線 | 千葉県成田市<br>青山 | 立体接続 | 下総インターチェンジ（仮称） |
| 東関東自動車道 水戸線 | 千葉県成田市<br>吉岡 | 立体接続 | 大栄ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

18，684 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　茨城県稲敷市沼田（STA195+40.0）から茨城県稲敷市駒塚（STA233+35）まで
平成　24　年　10　月　1　日

ロ　茨城県稲敷市駒塚（STA233+35）から茨城県稲敷市清水（STA252+90）まで
平成　25　年　4　月　1　日

ハ　茨城県稲敷市清水（STA252+90）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA4+65）まで
平成　24　年　10　月　1　日

ニ　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA4+65）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+24）まで
平成　24　年　8　月　1　日

ホ　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+24）から千葉県成田市大字青山（STA45+40）まで
平成　25　年　12　月　1　日

ヘ　千葉県成田市大字青山（STA45+40）から千葉県成田市吉岡（STA102+95）まで
平成　25　年　4　月　1　日

ト　千葉県成田市吉岡（STA102+95）から千葉県成田市吉岡（STA106+70）まで
平成　25　年　5　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

20，245 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　19，308 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２

# 第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県厚木市下津古久まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県厚木市下津古久　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市門沢橋 から<br>神奈川県厚木市下津古久 まで | 120 | 1．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市<br>門沢橋　から<br>神奈川県厚木市<br>下津古久　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道） | 神奈川県海老名市門沢橋 | 立体接続 | 海老名南ジャンクション（仮称） |
| 第一東海自動車道 | 神奈川県海老名市門沢橋 | 立体接続 | 海老名南ジャンクション（仮称） |
| 一般国道129号 | 神奈川県厚木市下津古久 | 立体接続 | 厚木南インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

119，500 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

106，108 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　102，197 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－３

# 第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県厚木市下津古久から神奈川県伊勢原市上粕屋まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市下津古久　　から
神奈川県伊勢原市上粕屋　　まで

（ロ） 延　　長　　6．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県厚木市<br>下津古久　から<br>神奈川県伊勢原市<br>上粕屋　まで | 120 | 6．7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県厚木市<br>下津古久　から<br>神奈川県伊勢原市<br>上粕屋　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道129号 | 神奈川県厚木市<br>下津古久 | 立体接続 | 厚木南インターチェンジ（仮称） |
| 第一東海自動車道 | 神奈川県伊勢原市<br>東富岡 | 立体接続 | 伊勢原ジャンクション（仮称） |
| 一般国道246号<br>（厚木秦野道路） | 神奈川県伊勢原市<br>上粕屋 | 立体接続 | 伊勢原北インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

269，859 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

288，813 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　278，417 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－４

# 第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県伊勢原市上粕屋から神奈川県秦野市柳川まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県伊勢原市上粕屋　　から
神奈川県秦野市柳川　　まで

（ロ） 延　　長　　12．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県伊勢原市上粕屋　から<br>神奈川県秦野市柳川　まで | 120 | 12．8 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県伊勢原市上粕屋 から<br>神奈川県秦野市柳川 まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道246号（厚木秦野道路） | 神奈川県伊勢原市上粕屋 | 立体接続 | 伊勢原北インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道246号 | 神奈川県秦野市菖蒲 | 立体接続 | 秦野インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

331，835 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

391，923 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　376，101 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５

# 第二東海自動車道横浜名古屋線

# （神奈川県秦野市柳川から静岡県御殿場市駒門まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県秦野市柳川　　から
静岡県御殿場市駒門　　まで

（ロ） 延　　長　　32. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県秦野市柳川　から<br>静岡県御殿場市駒門　まで | 120 | 32. 3 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県秦野市柳川 から<br>静岡県御殿場市駒門 まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | ―――― | ―――― | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道138号及び県道仁杉柴怒田線 | 静岡県御殿場市柴怒田 | 立体接続 | 御殿場インターチェンジ（仮称） |
| 第一東海自動車道 | 静岡県御殿場市駒門 | 立体接続 | 御殿場ジャンクション |

（4） 工事予算

503，579 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

595，697 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　570，247 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－６

# 第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県御殿場市駒門から静岡県駿東郡長泉町大字元長窪まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県御殿場市駒門　　から
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　まで

（ロ） 延　　長　　13．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 静岡県御殿場市駒門　から<br>静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　まで | 120 | 13．2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3.50 メートル 及び 3.75 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 静岡県御殿場市駒門 から<br>静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | 3．00 | 1．75 | 4．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | 3．00 | 1．25 | 4．25 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 第一東海自動車道 | 静岡県御殿場市駒門 | 立体接続 | 御殿場ジャンクション |
| 一般国道1号（伊豆縦貫自動車道）及び県道大岡元長窪線 | 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 | 立体接続 | 長泉沼津インターチェンジ |

（4） 工事予算

228，590 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　1　月　20　日
②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　4　月　14　日　　（供用開始）
　　平成　26　年　3　月　30　日　　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

149，403 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　149，403 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－７

# 第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から静岡県浜松市北区引佐町東黒田まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　から
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　まで

（ロ） 延　　長　　131．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　から<br>静岡県浜松市北区引佐町東黒田　まで | 120 | 131．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル および　3．75 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 静岡県駿東郡<br>長泉町大字元長窪　から<br>静岡県浜松市<br>北区引佐町東黒田　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | 3．00 | 1．75 | 4．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | 3．00 | 1．75 | 4．75 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | － | － | 3．00 | 1．25 | 4．25 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道1号（伊豆縦貫自動車道）及び県道大岡元長窪線 | 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 | 立体接続 | 長泉沼津インターチェンジ |
| 一般国道139号（西富士道路）及び県道一色久沢線 | 静岡県富士市厚原 | 立体接続 | 新富士インターチェンジ |
| 一般国道52号 | 静岡県静岡市清水区宍原 | 立体接続 | 新清水インターチェンジ |
| 中部横断自動車道 | 静岡県静岡市清水区吉原 | 立体接続 | 新清水ジャンクション |
| 県道清水富士宮線 | 静岡県静岡市清水区杉山 | 立体接続 | 清水いはらインターチェンジ |
| 第一東海自動車道 | 静岡県静岡市清水区草ヶ谷 | 立体接続 | 清水ジャンクション |
| 県道井川湖御幸線及び県道山脇大谷線 | 静岡県静岡市葵区下 | 立体接続 | 新静岡インターチェンジ |

別　紙　1

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一般国道1号<br>及び県道静岡朝比奈藤枝線 | 静岡県藤枝市<br>岡部町入野 | 立体接続 | 藤枝岡部インターチェンジ |
| 一般国道473号 | 静岡県島田市<br>横岡新田 | 立体接続 | 島田金谷インターチェンジ |
| 県道掛川天竜線 | 静岡県周智郡<br>森町睦実 | 立体接続 | 森掛川インターチェンジ |
| 一般国道152号 | 静岡県浜松市<br>浜北区中瀬 | 立体接続 | 浜松浜北インターチェンジ |
| 一般国道474号<br>（三遠南信自動車道） | 静岡県浜松市<br>北区引佐町東黒田 | 立体接続 | 浜松いなさジャンクション |
| 一般国道257号 | 静岡県浜松市<br>北区引佐町東黒田 | 立体接続 | 浜松いなさインターチェンジ |
| 第一東海自動車道 | 静岡県浜松市<br>北区三ケ日町福長 | 立体接続 | 三ヶ日ジャンクション |

（4） 工事予算

2，338，150 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日
②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　4　月　14　日　（供用開始）
　　平成　26　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，019，303 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，019，303 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８

# 第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県浜松市北区引佐町東黒田から愛知県豊田市岩倉町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　から
愛知県豊田市岩倉町　　まで

（ロ） 延　　長　　55. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 静岡県浜松市北区引佐町東黒田　から<br>愛知県豊田市岩倉町　まで | 120 | 55. 2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から<br>愛知県豊田市岩倉町 まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50メートル(土工部)
4．50メートル(橋梁部)

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道474号（三遠南信自動車道） | 静岡県浜松市北区引佐町東黒田 | 立体接続 | 浜松いなさジャンクション |
| 一般国道151号 | 愛知県新城市八束穂 | 立体接続 | 新城インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道473号 | 愛知県岡崎市樫山町 | 立体接続 | 額田インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道475号（東海環状自動車道） | 愛知県豊田市岩倉町 | 立体接続 | 豊田東ジャンクション |

（4） 工事予算

581，459 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

604，136 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　602，656 百万円）（消費税込み）

# 中部横断自動車道

（静岡県静岡市清水区吉原から山梨県南巨摩郡南部町福士まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県静岡市清水区吉原　　から
山梨県南巨摩郡南部町福士　　まで

（ロ） 延　　長　　20. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 静岡県静岡市<br>清水区吉原　から<br>山梨県南巨摩郡<br>南部町福士　まで | 80 | 20. 7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 静岡県静岡市<br>清水区吉原　から<br>山梨県南巨摩郡<br>南部町福士　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 第二東海自動車道横浜名古屋線 | 静岡県静岡市清水区吉原 | 立体接続 | 新清水ジャンクション |
| 一般国道52号 | 山梨県南巨摩郡南部町福士 | 立体接続 | 富沢インターチェンジ（仮称） |
| 中部横断自動車道 | 山梨県南巨摩郡南部町福士 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

（4） 工事予算

154，148 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

177，557 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　170，662 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１０

# 中部横断自動車道

（山梨県西八代郡市川三郷町宮原から山梨県南巨摩郡富士川町大椚まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山梨県西八代郡市川三郷町宮原　　から
山梨県南巨摩郡富士川町大椚　　まで

（ロ） 延　　長　　9．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 山梨県西八代郡市川三郷町宮原 から<br>山梨県南巨摩郡富士川町大椚 まで | 80 | 9．3 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 山梨県西八代郡<br>市川三郷町宮原　から<br>山梨県南巨摩郡<br>富士川町大椚　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル
　　－　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 中部横断自動車道 | 山梨県西八代郡<br>市川三郷町宮原 | 平面接続 | 本線（新直轄） |
| 県道市川三郷身延線 | 山梨県西八代郡<br>市川三郷町宮原 | 立体接続 | 六郷インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道52号 | 山梨県南巨摩郡<br>富士川町青柳町 | 立体接続 | 増穂インターチェンジ |

（4） 工事予算

65，779 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

74，373 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　71，541 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道名古屋亀山線

（愛知県名古屋市緑区大高町から愛知県名古屋市名東区貴船まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋亀山線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　愛知県名古屋市緑区大高町　　から
愛知県名古屋市名東区貴船　　まで

（ロ） 延　　長　　12. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 愛知県名古屋市緑区大高町 から<br>愛知県名古屋市名東区貴船 まで | 60 | 12. 7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 愛知県名古屋市緑区大高町 から<br>愛知県名古屋市名東区貴船 まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

2．25　メートル　（土工部）
2．25　メートル　（橋梁部）
2．50　メートル　（掘割部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 市道高速2号（名古屋高速道路） | 愛知県名古屋市緑区大高町字茨谷山 | 立体接続 | 名古屋南ジャンクション |
| 一般国道302号 | 愛知県名古屋市緑区大高町字北平部 | 立体接続 | 有松インターチェンジ |
| 一般国道302号 | 愛知県名古屋市緑区黒沢台 | 立体接続 | 鳴海インターチェンジ |
| 一般国道302号及び一般国道153号 | 愛知県名古屋市天白区梅ヶ丘 | 立体接続 | 植田インターチェンジ |
| 市道高速1号四谷高針線（名古屋高速道路） | 愛知県名古屋市名東区猪高町大字高針 | 立体接続 | 高針ジャンクション |
| 一般国道302号 | 愛知県名古屋市名東区貴船 | 立体接続 | 上社南インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

197，018 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　平成　23　年　3　月　20　日　（供用開始）
　　平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

137，262 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　137，262 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市伊坂町から三重県四日市市北山町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市伊坂町　　から
三重県四日市市北山町　　まで

（ロ） 延　　長　　4．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 三重県四日市市伊坂町 から<br>三重県四日市市北山町 まで | 100 | 4．4 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 三重県四日市市伊坂町 から<br>三重県四日市市北山町 まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 近畿自動車道　名古屋亀山線 | 三重県四日市市伊坂町 | 立体接続 | 四日市ジャンクション |
| 一般国道475号（東海環状自動車道） | 三重県四日市市北山町 | 立体接続 | 四日市北ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

50，327 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 11 年 1 月 8 日
②工事の完成予定年月日　平成 28 年 3 月 31 日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

56，767 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　56，548 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市北山町から三重県三重郡菰野町大字潤田まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市北山町　　から
三重県三重郡菰野町大字潤田　　まで

（ロ） 延　　長　　8．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 三重県四日市市北山町 から<br>三重県三重郡菰野町大字潤田 まで | 120 | 8．2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 三重県四日市市北山町　から<br>三重県三重郡菰野町大字潤田　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道477号 | 三重県三重郡菰野町大字潤田 | 立体接続 | 菰野インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

94，362　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

107，923 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　103，774 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県三重郡菰野町大字潤田から三重県亀山市安坂山町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県三重郡菰野町大字潤田　　から
三重県亀山市安坂山町　　まで

（ロ） 延　　長　　15．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 三重県三重郡菰野町大字潤田 から<br>三重県亀山市安坂山町 まで | 120 | 15．2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 三重県三重郡菰野町大字潤田 から<br>三重県亀山市安坂山町 まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | － |

（4） 工事予算

179，217 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 18 年 4 月 19 日
②工事の完成予定年月日　平成 31 年 3 月 31 日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

203，763 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　194，885 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道尾鷲多気線

（三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島から三重県度会郡大紀町崎まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　尾鷲多気線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島　から
三重県度会郡大紀町崎　まで

（ロ） 延　　長　　10．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 三重県北牟婁郡紀北町<br>紀伊長島区東長島　から<br>三重県度会郡大紀町崎　まで | 80 | 10．3 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 三重県北牟婁郡紀北町<br>紀伊長島区東長島　から<br>三重県度会郡大紀町崎　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 近畿自動車道尾鷲多気線 | 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 | 平面接続 | 本線（新直轄） |
| 一般国道422号 | 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 | 立体接続 | 紀伊長島インターチェンジ |
| 県道紀勢インター線 | 三重県度会郡大紀町崎 | 立体接続 | 紀勢大内山インターチェンジ |

（4） 工事予算

47，788 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

52，070 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　51，723 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道尾鷲多気線

（三重県度会郡大紀町崎から三重県多気郡大台町大字菅合まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　尾鷲多気線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県度会郡大紀町崎　　から
三重県多気郡大台町大字菅合　　まで

（ロ） 延　　長　　10．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 三重県度会郡大紀町崎 から<br>三重県多気郡大台町大字菅合 まで | 80 | 10．4 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 三重県度会郡大紀町崎 から<br>三重県多気郡大台町大字菅合 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道紀勢インター線 | 三重県度会郡大紀町崎 | 立体接続 | 紀勢大内山インターチェンジ |
| 一般国道42号 | 三重県多気郡大台町大字菅合 | 立体接続 | 大宮大台インターチェンジ |

（4） 工事予算

38，636 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日

②工事の完成年月日　　平成　21　年　2　月　7　日　（供用開始）
平成　23　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

27，425 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　27，425 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道敦賀線

（福井県小浜市府中から福井県敦賀市高野まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福井県小浜市府中　　から
福井県敦賀市高野　　まで

（ロ） 延　　長　　39．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福井県小浜市府中　から<br>福井県敦賀市高野　まで | 80 | 39．0 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 福井県小浜市府中 から<br>福井県敦賀市高野 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |

※ 土工部については、左側路肩を二次除雪作業に必要な作業幅員2．50mを確保する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　―　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道上中田烏線 | 福井県三方上中郡若狭町上黒田 | 立体接続 | 上中インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道27号 | 福井県三方上中郡若狭町気山 | 立体接続 | 三方インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道27号 | 福井県三方郡美浜町太田 | 立体接続 | 美浜インターチェンジ（仮称） |
| 北陸自動車道 | 福井県敦賀市高野 | 立体接続 | 敦賀ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

203，185 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

212，034　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　211，033　百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（高井戸IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都杉並区上高井戸

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 都道環状放射5号線 | 東京都杉並区上高井戸 | 立体接続 | 浅間橋ONランプ |
| 都道環状放射5号線 | 東京都杉並区上高井戸 | 立体接続 | 高井戸OFFランプ |
| 主要地方道環状8号線 | 東京都杉並区上高井戸 | 立体接続 | 中之橋ONランプ |

（4） 工事予算

42，100 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　37 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

54，872 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額 52，746 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２１

# 中央自動車道富士吉田線

（東京都八王子市元八王子一丁目から東京都八王子市元八王子二丁目まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都八王子市元八王子一丁目　　から
東京都八王子市元八王子二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　1．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 東京都八王子市元八王子一丁目 から<br>東京都八王子市元八王子二丁目 まで | 80 | 1．0 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 東京都八王子市<br>元八王子一丁目　から<br>東京都八王子市<br>元八王子二丁目　まで | 4 車線 | 4 車線 | 付加車線事業 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．30　メートル　（土工部）
4．30　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| ― | ― | ― | |

（4） 工事予算

2，100 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16　年　6　月　29　日
②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　3　月　14　日　（供用開始）
平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，532 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，532 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（元八王子IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市元八王子町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 都道山田宮ノ前線 | 東京都八王子市<br>元八王子町 | 立体接続 | 元八王子インターチェンジ<br>（仮称） |

（4） 工事予算

55 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　28 年　 4 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

当該インターチェンジは、接続道路管理者が高速自動車国道法第11条の2第1項の連結許可を受けていないため、今後の検討に必要な当面の設計費用のみを計上することとする。着手予定年月日は、さしあたり平成28年4月1日とし、完成予定年月日は、現行整備計画区間が全て完成すると想定している時期とした。なお、連結許可が出された時点で必要な協定変更を行う。

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

90 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　— 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（八王子JCT）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市裏高尾町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 東京都八王子市<br>裏高尾町 | 立体接続 | 八王子ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

9，180 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　4 月　3 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　25 日　（供用開始）
平成　25 年　3 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

8，348 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，348 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（都留IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

山梨県都留市つる

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道都留インター線 | 山梨県都留市つる | 立体接続 | 都留インターチェンジ |

（4） 工事予算

350 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　8 月　10 日　（供用開始）
平成　24 年　3 月　29 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

464 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　464 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（諏訪IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県諏訪市中洲

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道20号 | 長野県諏訪市<br>中洲 | 立体接続 | 諏訪インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　41 年　10 月　25 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，180 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，129 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（養老JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県養老郡養老町飯積

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道475号<br>（東海環状自動車道） | 岐阜県養老郡養老町飯積 | 立体接続 | 養老ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

10，873 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

12，327 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，317 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（養老JCT）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県養老郡養老町飯積

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道475号<br>（東海環状自動車道） | 岐阜県養老郡養老町飯積 | 立体接続 | 養老ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，200 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

4，137 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，125 百万円）（消費税込み）

中央自動車道長野線（松本JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　長野線

（2） 工事の箇所

長野県松本市島立

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道158号<br>（中部縦貫自動車道） | 長野県松本市島立 | 立体接続 | 松本ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

3，300 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

4，501 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，332　百万円）（消費税込み）

# 第一東海自動車道

（神奈川県海老名市大谷から神奈川県海老名市今里まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市大谷　　から
神奈川県海老名市今里　　まで

（ロ） 延　　長　　2. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市<br>大谷　から<br>神奈川県海老名市<br>今里　まで | 120 | 2. 3 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．60 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市<br>大谷　から<br>神奈川県海老名市<br>今里　まで | 6 車線 | 6 車線 | 付加車線事業 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | － | － | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

12，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　4　月　9　日
②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

13，524 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，930 百万円）（消費税込み）

# 第一東海自動車道
# （神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市社家まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県海老名市社家　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市門沢橋 から<br>神奈川県海老名市社家 まで | 80 | 1．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市<br>門沢橋　から<br>神奈川県海老名市<br>社家　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）

３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道） | 神奈川県海老名市門沢橋 | 平面接続 | 本線 |
| 第二東海自動車道横浜名古屋線 | 神奈川県海老名市門沢橋 | 立体接続 | 海老名南ジャンクション（仮称） |
| 第一東海自動車道 | 神奈川県海老名市社家 | 立体接続 | 海老名ジャンクション |

（4） 工事予算

41，294 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

29，358 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，323 百万円）（消費税込み）

# 第一東海自動車道

（神奈川県海老名市社家から神奈川県海老名市中新田まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市社家　　から
神奈川県海老名市中新田　　まで

（ロ） 延　　長　　1．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　海老名市社家から海老名市中新田まで
第 1 種 第 3 級（道路構造令）

海老名市中新田から海老名市中新田まで
第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市<br>社家　から<br>神奈川県海老名市<br>中新田　まで | 80 | 1．2 | |
| 神奈川県海老名市<br>中新田　から<br>神奈川県海老名市<br>中新田　まで | 100 | 0．7 | |

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市<br>社家　から<br>神奈川県海老名市<br>中新田　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | 上段（第1種第3級）<br>海老名市社家から<br>海老名市中新田まで<br>下段（第1種第2級）<br>海老名市中新田から<br>海老名市中新田まで |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | １．７５×２<br>２．５０×２ | ３．５０<br>５．００ | － | － | － | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　－

（チ） 中央帯の標準幅員

海老名市社家から海老名市中新田まで
　　－　　メートル　（土工部）
　３．００　　メートル　（橋梁部）

海老名市中新田から海老名市中新田まで
　　－　　メートル　（土工部）
　４．５０　　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 第一東海自動車道 | 神奈川県海老名市<br>社家 | 立体接続 | 海老名ジャンクション |
| 県道藤沢厚木 | 神奈川県海老名市<br>中新田 | 立体接続 | 海老名インターチェンジ |
| 一般国道468号<br>（首都圏中央連絡自動車道） | 神奈川県海老名市<br>中新田 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

78，556 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　2　月　27　日　（供用開始）
　　平成　27　年　3　月　30　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

41，488 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，488 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（日進IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県日進市岩崎町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道日進瀬戸道路<br>（名古屋瀬戸道路） | 愛知県日進市岩崎町 | 立体接続 | 日進インターチェンジ（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，800 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，199 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，108 百万円）（消費税込み）

東海北陸自動車道（美濃関JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

岐阜県関市下有知

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道475号<br>（東海環状自動車道） | 岐阜県関市下有知 | 立体接続 | 美濃関ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

804 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　18　日

②工事の完成年月日　　平成　21　年　4　月　18　日　（供用開始）
平成　22　年　9　月　30　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

927 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　927 百万円）（消費税込み）

# 東海北陸自動車道
# （岐阜県郡上市美並町山田から岐阜県郡上市八幡町有坂まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市美並町山田　　から
岐阜県郡上市八幡町有坂　　まで

（ロ） 延　　長　　8．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県郡上市美並町山田　から<br>岐阜県郡上市八幡町有坂　まで | 80 | 8．3 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県郡上市美並町山田 から<br>岐阜県郡上市八幡町有坂 まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | — | — | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | — | — | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として0．5m拡幅する。

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

―

（4） 工事予算

26，515 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　3　月　18　日

②工事の完成予定年月日　　平成　20　年　10　月　16　日　（供用開始）
平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

27，669 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　27，669 百万円）（消費税込み）

# 東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市八幡町有坂から岐阜県郡上市大和町島まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市八幡町有坂　　から
岐阜県郡上市大和町島　　まで

（ロ） 延　　長　　4．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県郡上市八幡町有坂　から<br>岐阜県郡上市大和町島　まで | 80 | 4．6 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県郡上市八幡町有坂 から<br>岐阜県郡上市大和町島 まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | — | — | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | — | — | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として1．0m拡幅する。

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

―

（4） 工事予算

12，509 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　3　月　18　日

②工事の完成予定年月日　　平成　21　年　5　月　26　日　（供用開始）
平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

13，401　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，401 百万円）（消費税込み）

# 東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市大和町島から岐阜県郡上市大和町万場まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市大和町島　　から
岐阜県郡上市大和町万場　　まで

（ロ） 延　　長　　4．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県郡上市大和町島 から<br>岐阜県郡上市大和町万場 まで | 80 | 4．9 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県郡上市大和町島 から<br>岐阜県郡上市大和町万場 まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | — | — | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | — | — | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として2．0m拡幅する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

―

（4） 工事予算

10，461 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　3　月　18　日

②工事の完成予定年月日　　平成　21　年　3　月　13　日　（供用開始）
平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

10，662 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，662 百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線（東海JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

愛知県東海市新宝町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道高速名古屋新宝線<br>（名古屋高速道路） | 愛知県東海市新宝町 | 立体接続 | 東海ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

6，700 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成年月日　　平成　23 年　11 月　19 日　（供用開始）
平成　24 年　3 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

7，507 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，507 百万円）（消費税込み）

北陸自動車道（福井北JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

福井県福井市玄正島町18字

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道158号<br>（中部縦貫自動車道） | 福井県福井市玄正島町<br>18字 | 立体接続 | 福井北ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，500 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，792 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，666 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋亀山線（勝川IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋亀山線

（2） 工事の箇所

愛知県春日井市勝川

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道302号 | 愛知県春日井市勝川 | 平面接続 | 勝川インターチェンジ |

（4） 工事予算

800 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　58 年　 8 月　16 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

940 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　932 百万円）（消費税込み）

一般国道１号（新湘南バイパス）

（神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 新湘南バイパス）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県茅ヶ崎市柳島　　から
神奈川県中郡大磯町東町　　まで

（ロ） 延　　長　　5．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県茅ヶ崎市<br>柳島　から<br>神奈川県中郡<br>大磯町東町　まで | 80 | 5．6 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県茅ヶ崎市<br>柳島　から<br>神奈川県中郡<br>大磯町東町　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．２５×２ | ２．５ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道相模原茅ヶ崎線 | 神奈川県茅ヶ崎市<br>柳島 | 立体接続 | 茅ヶ崎海岸インターチェンジ |
| 一般国道134号 | 神奈川県<br>平塚市高浜台 | 立体接続 | 平塚インターチェンジ<br>（仮称） |
| 一般国道134号 | 神奈川県中郡<br>大磯町東町 | 立体接続 | 大磯インターチェンジ<br>（仮称） |
| 一般国道1号<br>（西湘バイパス） | 神奈川県中郡<br>大磯町東町 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

4，910 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県茅ヶ崎市柳島まで

平成　30　年　4　月　1　日

ロ　神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで

平成　32　年　4　月　1　日

・　なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

6，295 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，044 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市中新田　　から
神奈川県厚木市上依知　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市<br>中新田　から<br>神奈川県厚木市<br>上依知　まで | 100 | 10．1 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県海老名市<br>中新田　から<br>神奈川県厚木市<br>上依知　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　—　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 第一東海自動車道 | 神奈川県海老名市<br>中新田 | 平面接続 | 本線 |
| 県道藤沢厚木線 | 神奈川県海老名市<br>中新田 | 立体接続 | 海老名インターチェンジ |
| 一般国道246号<br>（厚木秦野道路） | 神奈川県厚木市<br>中依知 | 立体接続 | 圏央厚木インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道129号 | 神奈川県厚木市<br>中依知 | 立体接続 | 圏央厚木インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道129号 | 神奈川県相模原市<br>南区当麻 | 立体接続 | 相模原インターチェンジ（仮称） |
| 県道相模原町田線 | 神奈川県相模原市<br>南区当麻 | 立体接続 | 相模原インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

103，237 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名中新田まで　（STA110+52～STA113+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ロ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名市河原口まで（STA113+40～STA114+60）
平成 21 年 5 月 11 日

ハ 神奈川県海老名市河原口から神奈川県厚木市金田まで　（STA114+60～STA128+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ニ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA128+40～STA129+20）
平成 23 年 2 月 1 日

ホ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA129+20～STA130+00）
平成 23 年 6 月 1 日

ヘ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA130+00～STA131+20）
平成 23 年 1 月 1 日

ト 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA131+20～STA132+91）
平成 23 年 1 月 1 日

チ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA132+91～STA138+00）
平成 18 年 6 月 30 日

別　紙　1

リ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA138+00～STA139+00）
　平成　23　年　1　月　1　日

ヌ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市下依知まで　（STA139+00～STA146+05）
　平成　18　年　6　月　30　日

ル　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA146+05～STA151+50）
　平成　20　年　7　月　1　日

ヲ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA151+50～STA152+50）
　平成　21　年　12　月　1　日

ワ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市中依知まで　（STA152+50～STA160+93.5）
　平成　20　年　7　月　1　日

カ　神奈川県厚木市中依知から神奈川県厚木市関口まで　（STA160+93.5～STA164+85）
　平成　20　年　7　月　1　日

ヨ　神奈川県厚木市下依知　（圏央厚木IC取り付け部）
　平成　24　年　7　月　1　日

タ　神奈川県厚木市関口から神奈川県厚木市山際まで　（STA164+85～STA176+50）
　平成　19　年　2　月　1　日

レ　神奈川県厚木市山際から神奈川県厚木市上依知まで　（STA176+50～STA201+45）
　平成　24　年　6　月　1　日

ソ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA201+45～STA206+31）
平成　23　年　12　月　1　日

ツ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA206+31～STA211+44）
平成　24　年　6　月　1　日

ネ　神奈川県厚木市上依知　（相模原ICランプ部）
平成　24　年　12　月　1　日

ナ　神奈川県相模原市南区当麻　（相模原IC料金所部）
平成　24　年　5　月　1　日

・　なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

102，382 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　99，895 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市上依知　　から
東京都八王子市南浅川町　　まで

（ロ） 延　　長　　14．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県厚木市上依知　から<br>東京都八王子市南浅川町　まで | 100 | 14．8 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県厚木市上依知　から<br>東京都八王子市南浅川町　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | 1．00×2 | 2．00 | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 津久井広域道路<br>県道510号（長竹川尻） | 神奈川県相模原市<br>緑区城山町小倉 | 立体接続 | 城山インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

38，138 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ 神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで　（STA211+44～STA143+72）
平成 25 年 4 月 1 日

ロ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（城山IC部）
平成 26 年 4 月 1 日

ハ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（STA143+72～STA145+00）
平成 23 年 8 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　26　年　3　月　31　日　（相模原IC～高尾山IC）

平成　27　年　3　月　31　日　（城山IC部）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

40，384 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　39，396 百万円）（消費税込み）

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市裏高尾町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都八王子市南浅川町　　から
東京都八王子市裏高尾町　　まで

（ロ） 延　　長　　2．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 東京都八王子市南浅川町 から<br>東京都八王子市裏高尾町 まで | 80 | 2．0 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 東京都八王子市南浅川町 から<br>東京都八王子市裏高尾町 まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道20号 | 東京都八王子市<br>南浅川町 | 立体接続 | 高尾山インターチェンジ |
| 中央自動車道<br>富士吉田線 | 東京都八王子市<br>裏高尾町 | 立体接続 | 八王子ジャンクション |

（4） 工事予算

23，610 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Eランプ）（STA−1−20～STA0−37）
平成 24年　1月　1日

ロ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Eランプ）（STA0−37～STA0+00）
平成 23年 12月　1日

ハ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（料金所）
平成 23年　4月　1日

別　紙　1

ニ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（料金所周り平場部）
　平成 24年　2月　1日

ホ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（トールゲート）
　平成 23年　8月　1日

ヘ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA0+00～STA0+40）
　平成 23年　12月　1日

ト　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA0+40～STA1+63）
　平成 24年　1月　1日

チ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA1+63～STA4+11）
　平成 23年　12月　1日

リ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA4+11～STA5+29）
　平成 23年　9月　1日

ヌ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA3+97+～STA4+12）
　平成 23年 12月　1日

ル 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA4+12～STA6+80）
　平成 23年　9月　1日

ヲ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA6+80～STA7+78）
　平成 24年　2月　1日

別　紙　1

ワ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA0+00～STA0+40）
　平成 23年　12月　1日

カ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA0+40～STA1+63）
　平成 24年　1月　1日

ヨ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA1+63～STA3+44）
　平成 23年 12月　1日

タ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA3+44～STA4+75）
　平成 23年　9月　1日

レ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA3+29～STA3+49）
　平成 23年 12月　1日

ソ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA3+49～STA6+07）
　平成 23年　9月　1日

ツ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA6+07～STA7+63）
　平成 24年　1月　1日

ネ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室）
　平成 23年　4月　1日

ナ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（中央））
　平成 23年 12月　1日

別　紙　1

ラ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（南側））
　平成 24年　1月　1日

ム　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（北側））
　平成 24年　2月　1日

ウ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（上り線）（STA146+09～STA147+52）
　平成 24年　2月　1日

ヰ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA148+00～STA148+58）
　平成 23年 11月　1日

ノ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA148+58～STA153+68）
　平成 23年　9月　1日

オ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA153+68～STA158+00）
　平成 23年 11月　1日

ク　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（下り線）（STA145+82～STA146+20）
　平成 24年　2月　1日

ヤ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（下り線）（STA146+20～STA147+38）
　平成 23年 12月 12日

マ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA147+38～STA147+60）
　平成 24年　2月　1日

| 別　紙　1 |
| --- |

ケ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA148+72～STA153+68）
　平成 23年 10月　1日

フ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA153+68～STA158+00）
　平成 23年 12月　1日

コ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA160+79～STA160+89）
　平成 24年　1月　1日

エ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（切土のり面）
　平成 23年 11月　1日

テ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（STA145+00～STA146+09）
　平成 23年　8月　1日

ア　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（STA147+52～STA148+72）
　平成 23年 12月 12日

サ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（STA158+00～STA161+00）
　平成 23年 12月 12日

キ　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（高尾山トンネル北坑口換気ダクト部）
　平成 24年　2月　1日

ユ　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（STA160+89～STA0+06）
　平成 18年　8月　1日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　24　年　3　月　25　日　（供用開始）
平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

25，606 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　25，606 百万円）（消費税込み）

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県海老名市門沢橋まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県茅ヶ崎市西久保　　から

神奈川県海老名市門沢橋　　まで

（ロ） 延　　長　　7．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県茅ヶ崎市<br>西久保　から<br>神奈川県海老名市<br>門沢橋　まで | 80 | 7．9 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県茅ヶ崎市<br>西久保　から<br>神奈川県海老名市<br>門沢橋　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | １．７５ | １．００ | ２．７５ | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道1号<br>（新湘南ﾊﾞｲﾊﾟｽ） | 神奈川県茅ケ崎市<br>西久保 | 立体接続 | 西久保ジャンクション（仮称） |
| 県道<br>伊勢原藤沢線 | 神奈川県高座郡<br>寒川町田端 | 立体接続 | 寒川南インターチェンジ（仮称） |
| 県道<br>相模原茅ヶ崎線 | 神奈川県高座郡<br>寒川町宮山 | 立体接続 | 寒川北インターチェンジ（仮称） |
| 第二東海自動車道<br>横浜名古屋線 | 神奈川県海老名市<br>門沢橋 | 立体接続 | 海老名南ジャンクション（仮称） |
| 第一東海自動車道 | 神奈川県海老名市<br>門沢橋 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

21，635 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ　神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA-1+86～STA9+27）
平成　24　年　7　月　1　日

ロ　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA9+27～STA11+57）
平成　24　年　12　月　1　日

ハ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC料金所部）
平成　24　年　5　月　1　日

ニ　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで　（STA11+57～STA27+10）
平成　24　年　5　月　1　日

ホ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで（STA27+10～STA35+42）
平成　24　年　12　月　1　日

ヘ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町宮山まで　（STA35+42～STA50+93.5）
平成　24　年　6　月　1　日

ト　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC料金所部）
平成　24　年　6　月　1　日

チ　神奈川県高座郡寒川町宮山から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA50+93.5～STA53+78）
平成　24　年　7　月　1　日

別　紙　1

リ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA53+78～STA59+30.5）
平成　26　年　12　月　1　日

ヌ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA59+30.5～STA62+24.5）
平成　26　年　10　月　1　日

ル　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA62+24.5～STA66+93）
平成　23　年　1　月　1　日

ヲ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA66+93～STA72+09）
平成　22　年　8　月　1　日

カ　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA72+09～STA73+39）
平成　23　年　3　月　1　日

ワ　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA73+39～STA76+23）
平成　22　年　8　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　3　月　31　日　（西久保JCT～寒川北IC）

平成　27　年　3　月　31　日　（寒川北IC～海老名南JCT）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

23，517　　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　22，570　　百万円）（消費税込み）

一般国道２７１号（小田原厚木道路）（小田原西IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道271号

（有料道路名 ： 小田原厚木道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県小田原市風祭

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道　1号<br>（小田原箱根道路） | 神奈川県小田原市<br>風祭 | 平面接続 | 小田原西IC |

別　紙　1

（4） 工事予算

65 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　4　年　8　月　18　日
②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

75 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　73 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（厚木PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

神奈川県厚木市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

別　紙　1

（4） 工事予算

6，644 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　19　年　3　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

6，880 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，620 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（豊田東JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

愛知県豊田市岩倉町

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 第二東海自動車道<br>横浜名古屋線 | 愛知県豊田市岩倉町 | 立体接続 | 豊田東ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

351 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　26　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　27　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

413 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　403 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）

（岐阜県可児市久々利柿下入会から岐阜県可児郡御嵩町比衣まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県可児市久々利柿下入会　　から
岐阜県可児郡御嵩町比衣　　まで

（ロ） 延　　長　　5．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県可児市久々利柿下入会 から<br>岐阜県可児郡御嵩町比衣 まで | 100 | 5．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県可児市久々利柿下入会 から<br>岐阜県可児郡御嵩町比衣 まで | 2 車線 | 4 車線 | 付加車線事業 |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | — | — | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| ― | ― | ― | |

（4） 工事予算

28，892 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

33，403　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　31，933　百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）

（岐阜県関市下有知から岐阜県関市下有知まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県関市下有知　　から
岐阜県関市下有知　　まで

（ロ） 延　　長　　1．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県関市下有知　から<br>岐阜県関市下有知　まで | 100 | 1．6 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県関市下有知　から<br>岐阜県関市下有知　まで | 2 車線 | 4 車線 | 付加車線事業 |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | — | — | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | — | — | — | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| ― | ― | ― | |

（4） 工事予算

522 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　28　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

665 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　656 百万円）（消費税込み）

北陸自動車道（白山IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

石川県白山市中新保町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道松任宇ノ気線 | 石川県白山市<br>中新保町 | 立体接続 | 白山インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

956 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　4 月　21 日　（供用開始）

平成　25 年　3 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，203 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，203 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（関広見IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　岐阜県関市下有知　から
岐阜県関市池尻　まで

（ロ） 延　長　2. 9キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県関市下有知　から<br>岐阜県関市池尻　まで | 100 | 2．9 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県関市下有知　から<br>岐阜県関市池尻　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| トンネル部分 | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　ー　メートル　（土工部）
　　ー　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 東海北陸自動車道 | 岐阜県関市下有知 | 立体接続 | 美濃関ジャンクション |
| 一般国道418号 | 岐阜県関市池尻 | 立体接続 | 関広見インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

968　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日

イ　岐阜県関市下有知　から　岐阜県美濃市志摩まで
平成　21年　1月　7日

ロ　岐阜県美濃市志摩　から　岐阜県美濃市笠神　まで
平成　21年　2月12日

ハ　岐阜県美濃市笠神　から　岐阜県美濃市笠神　まで
平成　21年　1月　7日

ニ　岐阜県美濃市笠神　から　岐阜県関市池尻　まで
平成　21年　2月12日

ホ　岐阜県関市池尻　から　岐阜県関市池尻　まで
平成　20年　8月26日

へ　岐阜県関市池尻　から　岐阜県関市池尻　まで
平成　21年　2月12日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成年月日　　平成　21 年　4 月　18 日　（供用開始）
平成　22 年　9 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，061 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，061 百万円）（消費税込み）

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC)に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額**

（1） 工事予算

51，427 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

51，967 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

| （イ）<br>路線名 | （ロ）<br>工事の箇所 | （ハ）工事方法<br>他の道路との連結位置及び接続の方法 | | | （ニ）<br>工事の着手および完成の予定年月日 | | （ホ）<br>工事予算<br>（消費税込み） | （へ）<br>債務引受限度額<br>（消費税込み） | うち<br>助成対象<br>基準額<br>（消費税込み） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 工事の着手<br>予定年月日 | 工事の完成<br>予定年月日 | | | | |
| 中央自動車道<br>富士吉田線 | 東京都府中市小柳町から東京都府中市是政まで | 都道川崎府中線及び市道中央道側道 | 東京都府中市小柳町及び東京都府中市是政 | 立体接続 | 平成21年9月29日 | 平成27年3月31日 | 1,808百万円 | 2,046百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 中央自動車道<br>西宮線 | 滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺 | 県道湖東三山インター線 | 滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺 | 立体接続 | 平成21年9月29日 | 平成26年3月31日 | 1,193百万円 | 1,366百万円 | ― | 秦荘<br>PA |
| 中央自動車道<br>長野線 | 長野県松本市島内から長野県安曇野市豊科高家まで | 市道8087号線及び市道豊科3531号線 | 長野県松本市島内及び長野県安曇野市豊科高家 | 立体接続 | 平成21年9月29日 | 平成22年11月27日<br>（供用開始）<br>平成23年1月31日<br>（残事業完成） | 494百万円 | 547百万円 | ― | 梓川<br>SA |
| 第一東海自動車道 | 愛知県名古屋市守山区下志段味から愛知県名古屋市守山区深沢まで | 市道守山パーキングエリア線 | 愛知県名古屋市守山区下志段味 | 立体接続 | 平成21年9月29日 | 平成30年3月31日 | 3,219百万円 | 3,788百万円 | ― | 守山<br>PA |
| 中央自動車道<br>富士吉田線 | 山梨県富士吉田市上暮地 | 県道富士吉田西桂線 | 山梨県富士吉田市上暮地 | 立体接続 | 平成23年4月28日 | 平成27年3月31日 | 3,431百万円 | 3,688百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 第一東海自動車道 | 静岡県焼津市上新田 | 市道0105号線 | 静岡県焼津市上新田 | 立体接続 | 平成23年4月28日 | 平成28年3月31日 | 2,913百万円 | 3,248百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 東海北陸自動車道 | 富山県南砺市上川崎から富山県南砺市上津 | （仮称）<br>市道南砺スマートインター線 | 富山県南砺市柴田屋 | 立体接続 | 平成23年4月28日 | 平成27年3月31日 | 1,726百万円 | 1,861百万円 | ― | 本線<br>直結型 |

別　紙　1

| （イ）<br>路線名 | （ロ）<br>工事の箇所 | （ハ）工事方法<br>他の道路との連結位置及び接続の方法 | | | （ニ）<br>工事の着手および完成の予定年月日 | | （ホ）<br>工事予算<br>（消費税込み） | （へ）<br>債務引受限度額<br>（消費税込み） | うち<br>助成対象<br>基準額<br>（消費税込み） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 工事の着手<br>予定年月日 | 工事の完成<br>予定年月日 | | | | |
| 第二東海自動車道<br>横浜名古屋線 | 静岡県静岡市葵区小瀬戸から静岡県静岡市葵区飯間 | 市道小瀬戸飯間線及び市道飯間本線 | 静岡県静岡市葵区小瀬戸及び静岡県静岡市葵区飯間 | 立体接続 | 平成23年4月28日 | 平成24年4月14日<br>（供用開始）<br>平成25年3月30日<br>（残事業完成） | 630百万円 | 721百万円 | ― | 静岡<br>SA |
| 第二東海自動車道<br>横浜名古屋線 | 静岡県浜松市浜北区四大地から静岡県浜松市北区都田町 | 市道浜北灰木大平1号線及び市道須部灰の木線 | 静岡県浜松市浜北区四大地及び静岡県浜松市北区都田町 | 立体接続 | 平成23年4月28日 | 平成24年4月14日<br>（供用開始）<br>平成25年3月30日<br>（残事業完成） | 618百万円 | 710百万円 | ― | 浜松<br>SA |
| 北陸自動車道 | 富山県砺波市下中条 | 市道（仮称）高岡砺波インター線 | 富山県砺波市下中条 | 立体接続 | 平成23年4月28日 | 平成27年3月31日 | 1,868百万円 | 2,008百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 一般国道475号<br>（東海環状自動車道） | 岐阜県土岐市泉町 | 市道81920号線、82525号線及び82526号線 | 岐阜県土岐市泉町 | 立体接続 | 平成23年4月28日 | 平成25年2月28日 | 542百万円 | 633百万円 | ― | 五斗蒔<br>PA |
| 中央自動車道<br>西宮線 | 山梨県笛吹市八代町南 | 県道313号藤垈石和線及び市道4015号線 | 山梨県笛吹市八代町南 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成28年3月31日 | 2,296百万円 | 2,584百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 第一東海自動車道 | 静岡県沼津市宮本 | 市道0118号線及び市道0105号線 | 静岡県沼津市宮本 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成28年3月31日 | 703百万円 | 940百万円 | ― | 愛鷹<br>PA |
| 第二東海自動車道<br>横浜名古屋線 | 静岡県周智郡森町大字円田 | 町道遠州森町PA上り線及び町道遠州森町PA下り線 | 静岡県周智郡森町大字一宮及び静岡県周智郡森町大字円田 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成26年3月31日 | 657百万円 | 750百万円 | ― | 遠州森町<br>PA |

別　紙　1

| （イ）<br>路線名 | （ロ）<br>工事の箇所 | （ハ）工事方法<br>他の道路との連結位置及び接続の方法 | | | （ニ）<br>工事の着手および完成の予定年月日 | | （ホ）<br>工事予算<br>（消費税込み） | （へ）<br>債務引受限度額<br>（消費税込み） | うち<br>助成対象<br>基準額<br>（消費税込み） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 工事の着手<br>予定年月日 | 工事の完成<br>予定年月日 | | | | |
| 北陸自動車道 | 滋賀県長浜市<br>小谷丁野町 | 県道郷野湖北線及び県道丁野虎姫長浜線 | 滋賀県長浜市湖北町及び滋賀県長浜市小谷丁野町 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成29年3月31日 | 2,349百万円 | 2,724百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 近畿自動車道<br>名古屋神戸線 | 三重県鈴鹿市<br>山本町 | 市道山本65<br>号線 | 三重県鈴鹿市<br>山本町 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成31年3月31日 | 1,540百万円 | 1,802百万円 | ― | 鈴鹿PA<br>（仮称） |
| 近畿自動車道<br>敦賀線 | 福井県敦賀市<br>長谷 | 市道長谷2号<br>線 | 福井県敦賀市<br>長谷 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成29年3月31日 | 2,066百万円 | 2,295百万円 | ― | 本線<br>直結型 |

東海北陸自動車道（西尾張IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県一宮市大和町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道岐阜稲沢線 | 愛知県一宮市<br>大和町 | 立体接続 | 西尾張インターチェンジ（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

760 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　 5 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

932　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　922　百万円）（消費税込み）

# 東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市白鳥町那留から岐阜県高山市清見町夏厩まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市白鳥町那留　　から
岐阜県高山市清見町夏厩　　まで

（ロ） 延　　長　　40. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県郡上市白鳥町那留 から<br>岐阜県高山市清見町夏厩 まで | 80 | 40. 9 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県郡上市白鳥町那留 から<br>岐阜県高山市清見町夏厩 まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | — | — | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として白鳥～高鷲2．0m、高鷲～飛騨清見3．0m拡幅する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | － |

（4） 工事予算

84，644 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日　　平成　24 年　　5 月　　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

95, 217 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　90, 950 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）
（岐阜県関市広見から岐阜県大垣市桧町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　岐阜県関市広見　から
岐阜県大垣市桧町　まで

（ロ） 延　長　35. 3キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県関市広見　から<br>岐阜県大垣市桧町　まで | 100 | 35．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県関市広見　から<br>岐阜県大垣市桧町　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道418号 | 岐阜県関市広見 | 立体接続 | 関広見インターチェンジ |
| 一般国道256号 | 岐阜県山県市大字西深瀬 | 立体接続 | 高富インターチェンジ（仮称） |
| 都計道岐阜インター線 | 岐阜県岐阜市大学北 | 立体接続 | 岐阜インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道157号 | 岐阜県本巣市上保 | 立体接続 | 糸貫インターチェンジ（仮称） |
| 県道 岐阜関ヶ原線 | 岐阜県安八郡神戸町大字西座倉 | 立体接続 | 大野神戸インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道21号及び県道大垣環状線 | 岐阜県大垣市桧町 | 立体接続 | 大垣西インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

25，729 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日　　平成　31 年　 4 月　 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

27，588 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，276 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８１

一般国道475号（東海環状自動車道）
（岐阜県大垣市桧町から岐阜県養老郡養老町大字飯積まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　岐阜県大垣市桧町　　から
岐阜県養老郡養老町大字飯積　　まで

（ロ） 延　　長　　6．0キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県大垣市桧町　から<br>岐阜県養老郡養老町大字飯積　まで | 100 | 6．0 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県大垣市桧町　から<br>岐阜県養老郡養老町大字飯積　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道21号及び県道大垣環状線 | 岐阜県大垣市桧町 | 立体接続 | 大垣西インターチェンジ（仮称） |
| 中央自動車道　西宮線 | 岐阜県養老郡養老町大字飯積 | 立体接続 | 養老ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

1，591 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24 年　3 月　1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　9 月　30 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，681 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，661 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８２

一般国道475号（東海環状自動車道）
（岐阜県養老郡養老町大字飯積から三重県員弁郡東員町大字長深まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　岐阜県養老郡養老町大字飯積　　から
三重県員弁郡東員町大字長深　　まで

（ロ） 延　　長　　34．1キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県養老郡養老町大字飯積 から<br>三重県員弁郡東員町大字長深 まで | 100 | 34．1 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 岐阜県養老郡養老町大字飯積 から<br>三重県員弁郡東員町大字長深 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| トンネル部分 | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 中央自動車道　西宮線 | 岐阜県養老郡養老町大字飯積 | 立体接続 | 養老ジャンクション（仮称） |
| 県道　養老平田線 | 岐阜県養老郡養老町口ヶ島 | 立体接続 | 養老インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道306号及び一般国道365号 | 三重県いなべ市北勢町阿下喜 | 立体接続 | 北勢インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道365号 | 三重県いなべ市大安町高柳 | 立体接続 | 大安インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道365号 | 三重県員弁郡東員町大字長深 | 立体接続 | 東員インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

25，053 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　岐阜県養老郡養老町大字飯積　から　岐阜県海津市南濃町庭田まで
平成　31年　4月　1日

ロ　岐阜県海津市南濃町庭田　から　三重県いなべ市北勢町二之瀬　まで
平成　28年　4月　1日

ハ　三重県いなべ市北勢町二之瀬　から　三重県員弁郡東員町大字長深　まで
平成　31年　4月　1日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

27，439 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，158 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）
（三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　三重県員弁郡東員町大字長深　から
三重県四日市市北山町　まで

（ロ） 延　長　1. 4キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 三重県員弁郡東員町大字長深 から<br>三重県四日市市北山町 まで | 100 | 1．4 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 三重県員弁郡東員町大字長深 から<br>三重県四日市市北山町 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　4．50　メートル　（土工部）
　　4．50　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道365号 | 三重県員弁郡東員町大字長深 | 立体接続 | 東員インターチェンジ（仮称） |
| 近畿自動車道　名古屋神戸線 | 三重県四日市市北山町 | 立体接続 | 四日市北ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

2，899　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　　平成　26 年　 4 月　 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　 3 月　31 日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，082 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，061 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１

# 近畿自動車道名古屋神戸線

（滋賀県甲賀市甲賀町岩室から滋賀県大津市上田上牧町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県甲賀市甲賀町岩室　　から
滋賀県大津市上田上牧町　　まで

（ロ） 延　　長　　28．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 滋賀県甲賀市甲賀町岩室 から<br>滋賀県大津市上田上牧町 まで | 120 | 28．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル 、 3．75 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 滋賀県甲賀市<br>甲賀町岩室　から<br>滋賀県大津市<br>上田上牧町　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 3．00×2 | 6．00 | 3．00 | 1．75 | 4．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 3．00×2 | 6．00 | 3．00 | 1．75 | 4．75 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 3．125×2 | 6．25 | 3．125 | 1．25 | 4．375 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道甲賀土山線 | 滋賀県甲賀市甲賀町岩室 | 立体接続 | 甲賀土山インターチェンジ |
| 一般国道307号 | 滋賀県甲賀市信楽町黄瀬 | 立体接続 | 信楽インターチェンジ |
| 県道大津能登川長浜線 | 滋賀県草津市野路町 | 立体接続 | 草津田上インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

261，086 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年 12 月　4 日
②工事の完成年月日　　平成 20 年　2 月 23 日　（供用開始）
　　平成 23 年 12 月 29 日　（残事業完成）

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

108，526 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　108，526 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－２

# 近畿自動車道名古屋神戸線

# （滋賀県大津市上田上牧町から京都府城陽市寺田金尾まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県大津市上田上牧町　　から
京都府城陽市寺田金尾　　まで

（ロ） 延　　長　　25．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第1種第1級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 滋賀県大津市<br>上田上牧町　から<br>京都府城陽市<br>寺田金尾　まで | 120 | 25．1 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 滋賀県大津市<br>上田上牧町　から<br>京都府城陽市<br>寺田金尾　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道307号 | 京都府綴喜郡<br>宇治田原町大字郷之口 | 立体接続 | 宇治田原インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道24号<br>（京奈道路） | 京都府城陽市<br>寺田金尾 | 立体接続 | 城陽ジャンクション（仮称） |
| 一般国道24号 | 京都府城陽市<br>寺田金尾 | 立体接続 | 城陽インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

327，276 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年 12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成 36 年　3 月 31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

391，682 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　374，418 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３

近畿自動車道名古屋神戸線

（京都府城陽市寺田金尾から京都府八幡市美濃山荒坂まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府城陽市寺田金尾　　から
京都府八幡市美濃山荒坂　　まで

（ロ） 延　　長　　3．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 京都府城陽市寺田金尾 から 京都府八幡市美濃山荒坂 まで | 120 | 3．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 京都府城陽市<br>寺田金尾　から<br>京都府八幡市<br>美濃山荒坂　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道24号（京奈道路） | 京都府城陽市寺田金尾 | 立体接続 | 城陽ジャンクション（仮称） |
| 一般国道24号 | 京都府城陽市寺田金尾 | 立体接続 | 城陽インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道1号（第二京阪道路） | 京都府八幡市美濃山荒坂 | 立体接続 | 八幡ジャンクション（仮称） |
| 府道八幡インター線 | 京都府八幡市美濃山古寺 | 立体接続 | 八幡インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

106，786 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　 1　月　20　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　 3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

105，059 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　100，989 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道名古屋神戸線

（京都府八幡市美濃山荒坂から大阪府高槻市原まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府八幡市美濃山荒坂　　から
大阪府高槻市原　　まで

（ロ） 延　　長　　10．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第1種第1級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 京都府八幡市美濃山荒坂 から<br>大阪府高槻市原 まで | 120 | 10．7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 京都府八幡市<br>美濃山荒坂　から<br>大阪府高槻市<br>原　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道1号（第二京阪道路） | 京都府八幡市美濃山荒坂 | 立体接続 | 八幡ジャンクション（仮称） |
| 府道八幡インター線 | 京都府八幡市美濃山古寺 | 立体接続 | 八幡インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

354，683 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　36　年　3　月　31　日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

429，760 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　410，347 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－５

近畿自動車道名古屋神戸線

（大阪府高槻市原から大阪府箕面市下止々呂美まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府高槻市原　　から
大阪府箕面市下止々呂美　　まで

（ロ） 延　　長　　18．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 大阪府高槻市原 から<br>大阪府箕面市下止々呂美 まで | 120 | 18．0 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 大阪府高槻市原 から<br>大阪府箕面市下止々呂美 まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 中央自動車道西宮線 | 大阪府高槻市成合南の町 | 立体接続 | 高槻第二ジャンクション（仮称） |
| 府道伏見柳谷高槻線 | 大阪府高槻市成合 | 立体接続 | 高槻インターチェンジ（仮称） |
| 府道茨木摂津線 | 大阪府茨木市千提寺 | 立体接続 | 茨木北インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道423号 | 大阪府箕面市下止々呂美 | 立体接続 | 箕面インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

375，744 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　 1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　 3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

429，733 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　415，882 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道名古屋神戸線
# （大阪府箕面市下止々呂美から兵庫県神戸市北区八多町まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府箕面市下止々呂美　　から
兵庫県神戸市北区八多町　　まで

（ロ） 延　　長　　22．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 大阪府箕面市下止々呂美 から 兵庫県神戸市北区八多町 まで | 120 | 22．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 大阪府箕面市<br>下止々呂美　から<br>兵庫県神戸市北区<br>八多町　まで | 4 車線 | 6 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道423号 | 大阪府箕面市下止々呂美 | 立体接続 | 箕面インターチェンジ（仮称） |
| 県道川西インター線 | 兵庫県川西市西畦野 | 立体接続 | 川西インターチェンジ（仮称） |
| 中国縦貫自動車道 | 兵庫県神戸市北区八多町 | 立体接続 | 神戸ジャンクション |
| 山陽自動車道　吹田山口線 | 兵庫県神戸市北区八多町 | 平面接続 | 神戸ジャンクション |

（4） 工事予算

380，031 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　 1　月　 8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　 3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

439，718 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　430，831 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－８

# 近畿自動車道敦賀線

（福井県小浜市岡津から福井県小浜市府中まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　福井県小浜市岡津　から
福井県小浜市府中　まで

（ロ） 延　長　11．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福井県小浜市岡津 から<br>福井県小浜市府中 まで | 80 | 11．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福井県小浜市<br>岡津　から<br>福井県小浜市<br>府中　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 主要地方道小浜綾部線 | 福井県小浜市岡津 | 立体接続 | 小浜西インターチェンジ |
| 県道小浜インター線 | 福井県小浜市府中 | 立体接続 | 小浜インターチェンジ |

（4） 工事予算

43，566 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　23　年　7　月　16　日　（供用開始）
　　平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

34，746 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　34，746 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－９

# 中国横断自動車道姫路鳥取線

（兵庫県たつの市新宮町角亀から兵庫県宍粟市山崎町市場まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　姫路鳥取線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　兵庫県たつの市新宮町角亀　　から
兵庫県宍粟市山崎町市場　　まで

（ロ） 延　　長　　11．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 兵庫県たつの市新宮町角亀 から<br>兵庫県宍粟市山崎町市場 まで | 80 | 11．4 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 兵庫県たつの市<br>新宮町角亀　から<br>兵庫県宍粟市<br>山崎町市場　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道播磨新宮インター線 | 兵庫県たつの市新宮町光都三丁目 | 立体接続 | 播磨新宮インターチェンジ |
| 中国縦貫自動車道 | 兵庫県宍粟市山崎町市場 | 立体接続 | 山崎ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

59，098 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

71，904 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　68，743 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１１

# 山陰自動車道鳥取益田線

（島根県出雲市斐川町三絡から島根県出雲市知井宮町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

山陰自動車道　鳥取益田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　島根県出雲市斐川町三絡　　から
島根県出雲市知井宮町　　まで

（ロ） 延　　長　　13．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 島根県出雲市<br>斐川町三絡　から<br>島根県出雲市<br>知井宮町　まで | 100 | 13．6 | |

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 島根県出雲市<br>斐川町三絡　から<br>島根県出雲市<br>知井宮町　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | １．７５×２ | ３．５０ | － | － | － | |
| トンネル部分 | １．２５×２ | ２．５０ | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．２５×２ | ２．５０ | － | － | － | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道斐川上島線 | 島根県出雲市<br>斐川町三絡 | 立体接続 | 斐川インターチェンジ |
| 県道出雲インター線 | 島根県出雲市<br>知井宮町 | 平面接続 | 出雲インターチェンジ |

（4） 工事予算

42，829 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成年月日　　平成　21 年　11 月　28 日　（供用開始）
　　平成　23 年　12 月　29 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

37，190 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　37，190 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１２

# 四国横断自動車道阿南四万十線
# （徳島県徳島市北沖洲から徳島県徳島市川内町富久まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市北沖洲　　から
徳島県徳島市川内町富久　　まで

（ロ） 延　　長　　4．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第1種第2級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 徳島県徳島市北沖洲　から<br>徳島県徳島市川内町富久　まで | 100 | 4．3 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 徳島県徳島市北沖洲 から<br>徳島県徳島市川内町富久 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | | | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 四国横断自動車道<br>阿南四万十線 | 徳島県<br>徳島市北沖洲 | 平面接続 | 本線（新直轄） |
| 県道徳島東インター線 | 徳島県<br>徳島市北沖洲 | 立体接続 | 徳島東インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

59，398 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

71，283 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　68，051 百万円）（消費税込み）

# 四国横断自動車道阿南四万十線
# （徳島県徳島市川内町鈴江東から徳島県鳴門市大津町大代まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市川内町鈴江東　　から
徳島県鳴門市大津町大代　　まで

（ロ） 延　　長　　10．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 徳島県徳島市川内町鈴江東 から<br>徳島県鳴門市大津町大代 まで | 100 | 10．9 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 徳島県徳島市川内町鈴江東 から<br>徳島県鳴門市大津町大代 まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 四国縦貫自動車道 | 徳島県<br>徳島市川内町鈴江東 | 平面接続 | 本線 |
| 一般国道11号 | 徳島県<br>徳島市川内町沖島 | 立体接続 | 徳島インターチェンジ |

（4） 工事予算

95，249 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

106，904 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　103，312 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（福岡県京都郡苅田町大字雨窪から福岡県行橋市大字下検地まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福岡県京都郡苅田町大字雨窪　　から
福岡県行橋市大字下検地　　まで

（ロ） 延　　長　　8．6　キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福岡県京都郡苅田町大字雨窪　から<br>福岡県行橋市大字下検地　まで | 100 | 8．6 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福岡県京都郡<br>苅田町大字雨窪　から<br>福岡県行橋市<br>大字下検地　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造物による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道　新北九州空港線 | 福岡県京都郡<br>苅田町大字雨窪 | 立体接続 | 苅田北九州空港インターチェンジ |
| 一般国道201号 | 福岡県行橋市大字吉国 | 平面接続 | 行橋インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

40，878　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

42，256 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，763 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（福岡県行橋市大字下検地から福岡県京都郡みやこ町下原まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福岡県行橋市大字下検地　　から
福岡県京都郡みやこ町下原　　まで

（ロ） 延　　長　　7．4　キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福岡県行橋市大字下検地　から<br>福岡県京都郡みやこ町下原　まで | 100 | 7．4 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福岡県行橋市<br>大字下検地　から<br>福岡県京都郡<br>みやこ町下原　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造物による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| トンネル部分 | — | — | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道201号 | 福岡県行橋市大字吉国 | 立体接続 | 行橋インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道10号(椎田道路) | 福岡県京都郡みやこ町下原 | 立体接続 | 豊津インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道10号(椎田道路) | 福岡県京都郡みやこ町下原 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

44，854　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

51，990 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　51，475 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（福岡県築上郡築上町大字上ノ河内から大分県宇佐市大字山本まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福岡県築上郡築上町大字上ノ河内　　から
大分県宇佐市大字山本　　まで

（ロ） 延　　長　　28．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福岡県築上郡<br>築上町大字上ノ河内　から<br>大分県宇佐市大字山本　まで | 100 | 28．3 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 福岡県築上郡<br>築上町大字上ノ河内　から<br>大分県宇佐市大字山本　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造物による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | — | — | — | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | — | — | — | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道10号（椎田道路） | 福岡県築上郡築上町<br>大字上ノ河内 | 立体接続 | 椎田南インターチェンジ （仮称） |
| 一般国道10号（椎田道路） | 福岡県築上郡築上町<br>大字上ノ河内 | 平面接続 | 本線 |
| 県道　犀川豊前線 | 福岡県豊前市<br>大字久路土 | 立体接続 | 豊前インターチェンジ （仮称） |
| 一般国道212号 | 大分県中津市<br>三光西秣 | 立体接続 | 中津三光インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道10号（宇佐別府道路） | 大分県宇佐市<br>大字山本 | 立体接続 | 宇佐インターチェンジ |
| 一般国道10号（宇佐別府道路） | 大分県宇佐市<br>大字山本 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

95，564 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

113，412 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　111，098 百万円）（消費税込み）

# 東九州自動車道

（宮崎県東臼杵郡門川町大字加草から宮崎県日向市大字財光寺まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県東臼杵郡門川町大字加草　　から
宮崎県日向市大字財光寺　　まで

（ロ） 延　　長　　13．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮崎県東臼杵郡門川町<br>大字加草　から<br>宮崎県日向市<br>大字財光寺　まで | 100 | 13．9 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮崎県東臼杵郡門川町<br>大字加草　から<br>宮崎県日向市<br>大字財光寺　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道10号（延岡南道路） | 宮崎県東臼杵郡門川町大字加草 | 平面接続 | 門川インターチェンジ |
| 一般国道327号 | 宮崎県日向市大字財光寺 | 平面接続 | 日向インターチェンジ |

（4） 工事予算

33，933　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成年月日　　平成　22 年　12 月　 4 日　（供用開始）
　　平成　24 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

34，344 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　34，344 百万円）（消費税込み）

# 東九州自動車道

（宮崎県日向市大字財光寺から宮崎県児湯郡都農町大字川北まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県日向市大字財光寺　　から
宮崎県児湯郡都農町大字川北　　まで

（ロ） 延　　長　　20．0　キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮崎県日向市大字財光寺　から<br>宮崎県児湯郡都農町大字川北　まで | 100 | 20．0 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮崎県日向市<br>大字財光寺　から<br>宮崎県児湯郡<br>都農町大字川北　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道327号 | 宮崎県日向市<br>大字財光寺 | 立体接続 | 日向インターチェンジ |
| 県道　都農インター線 | 宮崎県児湯郡<br>都農町大字川北 | 立体接続 | 都農インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

75,980　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

84，578 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　83，108 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－２０

# 東九州自動車道

（宮崎県児湯郡都農町大字川北から宮崎県児湯郡高鍋町大字上江まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県児湯郡都農町大字川北　　から
宮崎県児湯郡高鍋町大字上江　　まで

（ロ） 延　　長　　12. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮崎県児湯郡 都農町大字川北 から<br>宮崎県児湯郡 高鍋町大字上江 まで | 100 | 12. 9 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮崎県児湯郡<br>都農町大字川北　から<br>宮崎県児湯郡<br>高鍋町大字上江　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道　都農インター線 | 宮崎県児湯郡<br>都農町大字川北 | 平面接続 | 都農インターチェンジ（仮称） |
| 県道　高鍋インター線 | 宮崎県児湯郡<br>高鍋町大字上江 | 立体接続 | 高鍋インターチェンジ |

（4） 工事予算

28,145 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

22，730 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　22，279 百万円）（消費税込み）

# 東九州自動車道

（宮崎県児湯郡高鍋町大字上江から宮崎県西都市大字岡富まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県児湯郡高鍋町大字上江　　から
宮崎県西都市大字岡富　　まで

（ロ） 延　　長　　12．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江 から<br>宮崎県西都市大字岡富 まで | 100 | 12．1 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮崎県児湯郡<br>高鍋町大字上江　から<br>宮崎県西都市<br>大字岡富　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 県道　高鍋インター線 | 宮崎県児湯郡<br>高鍋町大字上江 | 平面接続 | 高鍋インターチェンジ |
| 県道　西都インター線 | 宮崎県西都市大字岡富 | 立体接続 | 西都インターチェンジ |

（4） 工事予算

31，400　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 10 年 | 1 月 | 20 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 7 月 | 17 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 24 年 | 3 月 | 30 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

20，002 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，002 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（栗東東JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県栗東市六地蔵

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道1号<br>（栗東水口道路） | 滋賀県栗東市<br>六地蔵 | 立体接続 | 栗東東ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，200 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，143 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，082 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（瀬田東JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県大津市大江八丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道1号<br>（京滋バイパス） | 滋賀県大津市<br>大江八丁目 | 立体接続 | 瀬田東ジャンクション |
| 県道大津能登川長浜線 | 滋賀県大津市<br>大江八丁目 | 立体接続 | 瀬田東インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

9，858 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　62 年　3 月　24 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

11，085 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，583 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（京都南JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

京都府京都市伏見区竹田田中殿町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 市道高速道路2号線 | 京都府京都市伏見区<br>竹田田中殿町 | 立体接続 | 京都南ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，100 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　24 年　5 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，423 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，368 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（大山崎JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

京都府乙訓郡大山崎町字円明寺

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道171号 | 京都府乙訓郡大山崎町<br>字円明寺 | 立体接続 | 大山崎インターチェンジ |
| 一般国道478号<br>（京都縦貫自動車道） | 京都府乙訓郡大山崎町<br>字円明寺 | 立体接続 | 大山崎ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

12，785 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　8 月　14 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

14，248 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，175 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（大和郡山JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

奈良県大和郡山市八条町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道24号<br>（京奈和自動車道） | 奈良県大和郡山市<br>八条町 | 立体接続 | 大和郡山ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

23，840 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

25，627 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，995 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（八尾PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

大阪府八尾市北久宝寺三丁目

別　紙　1

（3） 工事予算

5，503 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

6，290 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，170 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（門真JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

大阪府門真市大字蕷島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道1号<br>（第二京阪道路） | 大阪府門真市<br>大字蕷島 | 立体接続 | 門真ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

59，754 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 9 年 | 9 月 | 17 日 | |
| ②工事の完成予定年月日 | 平成 | 22 年 | 3 月 | 20 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 25 年 | 3 月 | 30 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

45，537 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　45，537 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（守口JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

大阪府守口市大日町四丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 府道高速大阪守口線 | 大阪府守口市<br>大日町四丁目 | 立体接続 | 守口ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

14，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　20 年　2 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

16，634 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　16，316 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３１

近畿自動車道天理吹田線

（大阪府摂津市三島一丁目から大阪府摂津市鶴野二丁目まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府摂津市三島一丁目　　から
大阪府摂津市鶴野二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　1．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 大阪府摂津市三島一丁目 から<br>大阪府摂津市鶴野二丁目 まで | 80 | 1．0 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 大阪府摂津市<br>三島一丁目　から<br>大阪府摂津市<br>鶴野二丁目　まで | 4 車線 | 4 車線 | 付加車線事業 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 0．75×2 | 1．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．00　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ー | ー | ー | |

（4） 工事予算

3，143 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，551 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，497 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線（和歌山JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県和歌山市上黒谷

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道24号<br>（紀北西道路） | 和歌山県和歌山市<br>上黒谷 | 立体接続 | 和歌山ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

10，092 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

11，543 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，034 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道松原那智勝浦線
# （和歌山県海南市藤白から和歌山県有田郡有田川町天満まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県海南市藤白　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 和歌山県海南市藤白 から<br>和歌山県有田郡有田川町天満 まで | 80 | 9．8 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 和歌山県海南市<br>藤白　から<br>和歌山県有田郡<br>有田川町天満　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | － | － | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道42号 | 和歌山県海南市藤白 | 立体接続 | 海南インターチェンジ |
| 県道興加茂郷停車場線 | 和歌山県海南市下津町橘本 | 立体接続 | 下津インターチェンジ |
| 一般国道42号及び県道吉備金屋線 | 和歌山県有田郡有田川町天満 | 立体接続 | 有田インターチェンジ |
| 一般国道42号（湯浅御坊道路） | 和歌山県有田郡有田川町天満 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

47，796 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　 1　月　 8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　7　月　7　日　（供用開始）
　　平成　25　年　 3　月　30　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

50，390 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　50，390 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道松原那智勝浦線

# （和歌山県海南市藤白から和歌山県有田郡有田川町天満まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県海南市藤白　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 和歌山県海南市藤白 から<br>和歌山県有田郡有田川町天満 まで | 80 | 9．8 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 和歌山県海南市<br>藤白　から<br>和歌山県有田郡<br>有田川町天満　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化に伴う<br>Ⅰ期線改修 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | － | － | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道42号 | 和歌山県海南市藤白 | 立体接続 | 海南インターチェンジ |
| 県道興加茂郷停車場線 | 和歌山県海南市下津町橘本 | 立体接続 | 下津インターチェンジ |
| 一般国道42号及び県道吉備金屋線 | 和歌山県有田郡有田川町天満 | 立体接続 | 有田インターチェンジ |
| 一般国道42号（湯浅御坊道路） | 和歌山県有田郡有田川町天満 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

7，178 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　 1　月　 8　日
②工事の完成年月日　　平成　23　年　5　月　21　日　（供用開始）
　　平成　24　年　1　月　30　日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

8，860 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，860 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線（南紀田辺IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県田辺市稲成町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道42号<br>（田辺西バイパス） | 和歌山県田辺市<br>稲成町 | 立体接続 | 南紀田辺インターチェンジ |
| 近畿自動車道<br>松原那智勝浦線 | 和歌山県田辺市<br>稲成町 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，772 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，088 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，997 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道松原那智勝浦線

# （和歌山県田辺市中芳養から和歌山県田辺市芳養町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県田辺市中芳養　　から
和歌山県田辺市芳養町　　まで

（ロ） 延　　長　　1．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 和歌山県田辺市中芳養 から<br>和歌山県田辺市芳養町 まで | 80 | 1．2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 和歌山県田辺市<br>中芳養　から<br>和歌山県田辺市<br>芳養町　まで | 2 車線 | ― | 付加車線事業 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | ― | ― | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | ― | ― | ― | ― | ― | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | ― | ― | ― | ― | ― | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | ― | ― | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

900 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　 1　月　20　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　 3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，294 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，248 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線（春日JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の箇所

兵庫県丹波市春日町棚原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道483号<br>（春日和田山道路） | 兵庫県丹波市<br>春日町棚原 | 立体接続 | 春日ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

600 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

830 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　800 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道敦賀線

（京都府福知山市長田野町三丁目から京都府綾部市有岡町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府福知山市長田野町三丁目　から
京都府綾部市有岡町　まで

（ロ） 延　長　10．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 京都府福知山市長田野町三丁目 から<br>京都府綾部市有岡町 まで | 80 | 10．2 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 京都府福知山市<br>長田野町三丁目　から<br>京都府綾部市<br>有岡町　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | － |

（4） 工事予算

20，482 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　 3　月　18　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　 3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

22，782 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　21，711 百万円）（消費税込み）

# 近畿自動車道敦賀線

# （京都府綾部市上杉町から京都府舞鶴市字堀まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府綾部市上杉町　から
京都府舞鶴市字堀　まで

（ロ） 延　長　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 京都府綾部市上杉町 から<br>京都府舞鶴市字堀 まで | 80 | 4．7 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 京都府綾部市<br>上杉町　から<br>京都府舞鶴市<br>字堀　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | － |

（4） 工事予算

11，181 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　 3　月　18　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　 3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

8，895 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，481 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線（小浜IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の箇所

福井県小浜市府中

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道小浜インター線 | 福井県小浜市<br>府中 | 立体接続 | 小浜インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，120 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，544 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，442 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（佐用JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

兵庫県佐用郡佐用町口金近

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 中国横断自動車道<br>姫路鳥取線 | 兵庫県佐用郡<br>佐用町口金近 | 立体接続 | 佐用ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

14，025 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 18 年 | 4 月 | 19 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 3 月 | 28 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 23 年 | 3 月 | 30 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

14，653 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，653 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（三次JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

広島県三次市四拾貫町字白鳥

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 中国横断自動車道<br>尾道松江線 | 広島県三次市四拾貫町 | 立体接続 | 三次ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，756 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，746　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，668　百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（美祢東JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

山口県美祢市美東町小野

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道490号 | 山口県美祢市<br>美東町小野 | 立体接続 | 美祢東ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

699 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 16 年 | 6 月 | 29 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 3 月 | 20 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 22 年 | 8 月 | 30 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

771 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　771 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（小郡JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

山口県山口市小郡上郷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道山口宇部線 | 山口県山口市小郡上郷 | 立体接続 | 小郡ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

900 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，522 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，476 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（瀬戸JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

岡山県岡山市東区瀬戸町塩納

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 主要地方道佐伯長船線 | 岡山県岡山市東区<br>瀬戸町塩納 | 立体接続 | 瀬戸ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，254 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，203 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（尾道JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県尾道市木ノ庄町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 中国横断自動車道<br>尾道松江線 | 広島県尾道市<br>木ノ庄町 | 立体接続 | 尾道ジャンクション |

別　紙　1

（4） 工事予算

14，187 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 18 年 | 4 月 | 19 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 11 月 | 27 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 23 年 | 9 月 | 29 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

15，625 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　15，625 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（高屋JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県東広島市高屋町溝口

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道375号 | 広島県東広島市<br>高屋町溝口 | 立体接続 | 高屋ジャンクション |
| 一般国道375号 | 広島県東広島市<br>高屋町溝口 | 立体接続 | 高屋インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

3，457 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 11 年 | 1 月 | 8 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 3 月 | 14 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 22 年 | 9 月 | 29 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，962 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，962 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（五日市JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県広島市佐伯区五日市町大字石内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 市道佐伯1区380号線 | 広島県広島市佐伯区<br>五日市町大字石内 | 平面接続 | 五日市ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

900 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　24 年　5 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，262 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，216 百万円）（消費税込み）

# 中国横断自動車道岡山米子線

（岡山県加賀郡吉備中央町岨谷から岡山県加賀郡吉備中央町西まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　岡山米子線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岡山県加賀郡吉備中央町岨谷　　から
岡山県加賀郡吉備中央町西　　まで

（ロ） 延　　長　　4．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岡山県加賀郡吉備中央町岨谷 から<br>岡山県加賀郡吉備中央町西 まで | 80 | 4．8 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岡山県加賀郡<br>吉備中央町岨谷　から<br>岡山県加賀郡<br>吉備中央町西　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | － | － | － | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

３．００　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

6，333 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成年月日　　平成　22 年　11 月　26 日　（供用開始）
　　平成　23 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

6，980 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，980 百万円）（消費税込み）

# 中国横断自動車道岡山米子線
# （岡山県真庭市中原から岡山県真庭市樫西まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　岡山米子線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岡山県真庭市中原　　から
岡山県真庭市樫西　　まで

（ロ） 延　　長　　3．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岡山県真庭市中原 から<br>岡山県真庭市樫西 まで | 80 | 3．5 | |

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 岡山県真庭市<br>中原　から<br>岡山県真庭市<br>樫西　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | 1．25×2 | 2．50 | 1．25 | 1．00 | 2．25 | |

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

３．００　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

7，226 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　12 月　 9 日　（供用開始）
　　平成　24 年　 9 月　29 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

8，768 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，768 百万円）（消費税込み）

中国横断自動車道尾道松江線（三刀屋木次IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　尾道松江線

（2） 工事の箇所

島根県雲南市三刀屋町三刀屋

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道三刀屋インター線 | 島根県雲南市<br>三刀屋町下熊谷 | 立体接続 | 三刀屋木次インターチェンジ |
| 中国横断自動車道<br>尾道松江線 | 島根県雲南市<br>三刀屋町三刀屋 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

880 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 5 年 | 12 月 | 4 日 | | |
| ②工事の完成予定年月日 | 平成 | 24 年 | 3 月 | 24 日 | （供用開始） | |
| | 平成 | 24 年 | 9 月 | 29 日 | （残事業完成） | |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

847 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　847 百万円）（消費税込み）

中国横断自動車道尾道松江線（加茂岩倉PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

中国横断自動車道　尾道松江線

（2） 工事の箇所

島根県雲南市加茂町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，000 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，373 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，360 百万円）（消費税込み）

四国縦貫自動車道（松山IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

愛媛県松山市井門町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道33号 | 愛媛県松山市井門町 | 立体接続 | 松山インターチェンジ |

（4） 工事予算

1，320 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

2，267 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，207 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線（高知IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

高知県高知市一宮

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道55号 | 高知県高知市一宮 | 立体接続 | 高知インターチェンジ |

（4） 工事予算

270 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　6 年　1 月　26 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

599 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　585 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道愛南大洲線（西予宇和IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　愛南大洲線

（2） 工事の箇所

愛媛県西予市宇和町稲生

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 四国横断自動車道<br>愛南大洲線 | 愛媛県西予市宇和町稲生 | 平面接続 | 本線（新直轄） |
| 県道宇和野村線 | 愛媛県西予市宇和町稲生 | 立体接続 | 西予宇和インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

188 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 5 年 | 12 月 | 4 日 | |
| ②工事の完成予定年月日 | 平成 | 24 年 | 3 月 | 10 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 24 年 | 9 月 | 29 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

466 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　466 百万円）（消費税込み）

九州縦貫自動車道鹿児島線（鞍手IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　鹿児島線

（2） 工事の箇所

福岡県鞍手郡鞍手町大字中山

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道　直方鞍手線 | 福岡県鞍手郡<br>鞍手町大字中山 | 立体接続 | 鞍手インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，100　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 16 年 | 6 月 | 29 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 23 年 | 2 月 | 19 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 23 年 | 3 月 | 30 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，291 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，291 百万円）　（消費税込み）

九州縦貫自動車道鹿児島線（嘉島JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　鹿児島線

（2） 工事の箇所

熊本県上益城郡嘉島町大字井寺

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 九州横断自動車道　延岡線 | 熊本県上益城郡<br>嘉島町大字井寺 | 立体接続 | 嘉島ジャンクション（仮称） |
| 九州横断自動車道　延岡線 | 熊本県上益城郡<br>益城町大字小池 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

6，938　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　26 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

7，966 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　7，888 百万円）　（消費税込み）

九州縦貫自動車道宮崎線（清武JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　宮崎線

（2） 工事の箇所

宮崎県宮崎市清武町大字今泉

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 東九州自動車道 | 宮崎県宮崎市<br>清武町大字今泉 | 立体接続 | 清武ジャンクション |
| 東九州自動車道 | 宮崎県宮崎市<br>清武町大字今泉 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

4，934　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　25 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

5，962 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　5，757 百万円）　（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（多久IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

佐賀県多久市北多久町大字多久原

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道203号 | 佐賀県多久市<br>北多久町大字多久原 | 立体接続 | 多久インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

582　　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　48 年　9 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

889 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　859 百万円）　（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（大分米良IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県大分市大字片島

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道10号 | 大分県大分市大字片島 | 立体接続 | 大分米良インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

755　　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　5 月　15 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，225 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，186 百万円）　（消費税込み）

東九州自動車道（佐伯IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

大分県佐伯市大字上岡

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 県道　佐伯津久見線 | 大分県佐伯市大字上岡 | 立体接続 | 佐伯インターチェンジ |
| 東九州自動車道 | 大分県佐伯市大字上岡 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，105　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　10 年　1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　平成　29 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，568 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，512 百万円）　（消費税込み）

東九州自動車道（弥生PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

大分県佐伯市弥生大字床木

（3） 工事予算

1，417　百万円　（消費税込み）

別　紙　1

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，749 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，678 百万円）　（消費税込み）

東九州自動車道（末吉財部IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

鹿児島県曽於市末吉町深川

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道10号 | 鹿児島県曽於市<br>末吉町深川 | 立体接続 | 末吉財部インターチェンジ |
| 東九州自動車道 | 鹿児島県曽於市<br>末吉町深川 | 平面接続 | 本線（新直轄） |

別　紙　1

（4） 工事予算

373 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 5 年 | 12 月 | 4 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 3 月 | 14 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 22 年 | 9 月 | 29 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

439 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　439 百万円）　（消費税込み）

# 一般国道1号（第二京阪道路）
# （京都府京田辺市松井栂谷から大阪府門真市大字蕪島まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 第二京阪道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府京田辺市松井栂谷　から
大阪府門真市大字蓮島　まで

（ロ） 延　長　19．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 京都府京田辺市<br>松井栂谷　から<br>大阪府門真市<br>大字蕪島　まで | 80 | 19．3 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 京都府京田辺市<br>松井栂谷　から<br>大阪府枚方市<br>長尾台四丁目　まで | 6 車線 | 6 車線 | 6車線化 |
| 大阪府枚方市<br>長尾台四丁目　から<br>大阪府門真市<br>大字蕪島　まで | 6 車線 | 6 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 2．50×2 | 5．00 | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

2．25　メートル　（橋梁部）
3．00　メートル　（土工部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道1号 | 京都府京田辺市松井 | 立体接続 | 京田辺松井インターチェンジ |
| 一般国道1号 | 大阪府枚方市長尾台三丁目 | 立体接続 | 枚方東インターチェンジ |
| 一般国道1号 | 大阪府枚方市大字津田 | 立体接続 | 枚方学研インターチェンジ |
| 一般国道1号 | 大阪府交野市倉治一丁目 | 立体接続 | 交野北インターチェンジ |
| 一般国道1号 | 大阪府枚方市茄子作南町 | 立体接続 | 交野南インターチェンジ |
| 一般国道1号 | 大阪府寝屋川市大字寝屋 | 立体接続 | 寝屋川北インターチェンジ |
| 一般国道1号 | 大阪府寝屋川市讃良西町 | 立体接続 | 寝屋川南インターチェンジ |
| 一般国道1号 | 大阪府門真市大字三ツ島 | 立体接続 | 第二京阪門真インターチェンジ |
| 近畿自動車道天理吹田線 | 大阪府門真市大字蒲島 | 立体接続 | 門真ジャンクション |

（4） 工事予算

255，876 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　京都府京田辺市松井から大阪府枚方市長尾台四丁目まで
　　平成15年　3月　4日

ロ　京都府京田辺市松井から京都府京田辺市松井まで
　　平成13年11月12日

ハ　大阪府枚方市長尾台四丁目から大阪府枚方市長尾台三丁目まで
　　平成20年11月13日

ニ　大阪府枚方市長尾台三丁目から大阪府枚方市津田東町三丁目まで
　　平成19年　1月23日

ホ　大阪府枚方市津田東町三丁目から大阪府枚方市津田まで
　　平成 4年11月25日

ヘ　大阪府枚方市津田から大阪府交野市青山三丁目まで
　　平成21年11月27日

ト　大阪府交野市青山三丁目から大阪府交野市私部西三丁目まで
　　平成 4年11月25日

別　紙　1

チ　大阪府交野市私部西三丁目から大阪府交野市私部西五丁目まで
　　平成20年　9月22日

リ　大阪府交野市私部西五丁目から大阪府寝屋川市寝屋南二丁目まで
　　平成21年　3月25日

ヌ　大阪府寝屋川市寝屋南二丁目から大阪府寝屋川市寝屋南一丁目まで
　　平成21年　7月　3日

ル　大阪府寝屋川市寝屋南一丁目から大阪府寝屋川市高宮二丁目まで
　　平成21年12月21日

ヲ　大阪府寝屋川市高宮二丁目から大阪府四条畷市砂まで
　　平成21年　7月　3日

ワ　大阪府四条畷市砂から大阪府門真市北巣本まで
　　平成21年　3月25日

カ　大阪府門真市北巣本から大阪府門真市上馬伏まで
　　平成21年12月21日

ヨ　大阪府門真市上馬伏から大阪府門真市大字北島まで
　　平成20年11月13日

タ　大阪府門真市大字北島から大阪府門真市大字蒔島まで
　　平成 4年11月25日

別　紙　1

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成（予定）年月日

イ　京都府京田辺市松井栂谷から大阪府枚方市長尾台四丁目まで
平成15年　3月30日

ロ　京都府京田辺市松井栂谷から大阪府門真市大字蓮島まで
平成22年　3月20日　（供用開始）
平成25年　3月30日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

104，621 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　104，621 百万円）（消費税込み）

一般国道４７８号（京都縦貫自動車道）

（京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道478号

（有料道路名 ： 京都縦貫自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府京都市西京区大枝沓掛町　から
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺　まで

（ロ） 延　長　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 京都府京都市西京区<br>大枝沓掛町　から<br>京都府乙訓郡<br>大山崎町字円明寺　まで | 80 | 9．8 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 京都府京都市西京区<br>大枝沓掛町　から<br>京都府乙訓郡<br>大山崎町字円明寺　まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道9号 | 京都府京都市西京区<br>大枝沓掛町 | 立体接続 | 沓掛インターチェンジ |
| 都市計画道路沓掛上羽線 | 京都府京都市西京区<br>大枝西長町 | 立体接続 | 春日インターチェンジ（仮称） |
| 都市計画道路石見納所線 | 京都府長岡京市<br>下海印寺岸ノ下 | 立体接続 | 長岡京インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道171号 | 京都府乙訓郡<br>大山崎町字円明寺 | 立体接続 | 大山崎インターチェンジ・ジャンクション |
| 中央自動車道西宮線 | 京都府乙訓郡<br>大山崎町字円明寺 | 立体接続 | 大山崎インターチェンジ・ジャンクション |
| 中央自動車道西宮線 | 京都府乙訓郡<br>大山崎町字円明寺 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

54，469 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府京都市西京区大枝沓掛町まで
平成　21年　3月18日

ロ　京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府京都市西京区大枝西長町まで
平成　22年　3月31日

ハ　京都府京都市西京区大枝西長町から京都府京都市西京区大原野石作町まで
平成　24年　10月　1日

ニ　京都府京都市西京区大原野石作町から京都府長岡京市下海印寺岸ノ下まで
平成　22年　8月23日

ホ　京都府長岡京市下海印寺西条から京都府長岡京市下海印寺菩提寺まで
平成　21年11月18日

ヘ　京都府長岡京市下海印寺岸ノ下から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　24年　9月　1日

ト　京都府乙訓郡大山崎町字円明寺から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　13年　6月　7日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成（予定）年月日

イ　京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　25年　3月　31日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

57，075 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　56，323 百万円）（消費税込み）

一般国道497号（西九州自動車道（佐世保道路））

（長崎県佐世保市矢岳町から長崎県佐世保市干尽町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道497号

（有料道路名 ： 西九州自動車道（佐世保道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県佐世保市矢岳町　　から
長崎県佐世保市干尽町　　まで

（ロ） 延　　長　　2．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 長崎県佐世保市<br>矢岳町　から<br>長崎県佐世保市<br>干尽町　まで | 80 | 2．9 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 長崎県佐世保市<br>矢岳町　から<br>長崎県佐世保市<br>干尽町　まで | 2 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．２５ × ２ | ２．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道497号<br>（佐々佐世保道路） | 長崎県佐世保市<br>矢岳町 | 平面接続 | 本線 |
| 主要地方道佐世保港線 | 長崎県佐世保市<br>矢岳町及び同市平瀬町 | 立体接続 | 佐世保中央インターチェンジ |

（4） 工事予算

383 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　長崎県佐世保市平瀬町13番地から
長崎県佐世保市島地町43番地まで

長崎県佐世保市新港町233番地から
長崎県佐世保市新港町231番地まで

長崎県佐世保市千尽町1番地から
長崎県佐世保市千尽町まで

別　紙　1

平成　21　年　8　月　3　日

長崎県佐世保市矢岳町から
長崎県佐世保市干尽町まで

平成　22　年　1　月　4　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成年月日　　平成　22 年　3 月　20 日　（供用開始）
平成　23 年　3 月　30 日　（残事業完成）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

458 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　458 百万円）（消費税込み）

一般国道１号（第二京阪道路）（京田辺PA）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 第二京阪道路）

（2） 工事の箇所

京都府京田辺市山手中央

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

別　紙　1

（4） 工事予算

6，376 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 15 年 | 3 月 | 4 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 3 月 | 20 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 23 年 | 3 月 | 30 日 | （残事業完成） |

**2．工事に要する費用に係る債務引受限度額**

6，189 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，189 百万円）（消費税込み）

一般国道４７８号（京都縦貫自動車道）（篠IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道478号

（有料道路名 ： 京都縦貫自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　京都府亀岡市篠町篠

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 市道向谷線<br>及び市道篠ランプ9号線 | 京都府亀岡市<br>篠町篠 | 立体接続 | 篠インターチェンジ |

（4） 工事予算

530 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　13 年　 6 月　 7 日
②工事の完成予定年月日　平成　25 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

645 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　635 百万円）（消費税込み）

一般国道４９７号（西九州自動車道（佐世保道路））（佐世保大塔IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

一般国道497号

（有料道路名 ： 西九州自動車道（佐世保道路））

（2） 工事の箇所

長崎県佐世保市大塔町

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業方式

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道205号 | 長崎県佐世保市大塔町 | 立体接続 | 佐世保大塔インターチェンジ |
| 一般国道497号（武雄佐世保道路） | 長崎県佐世保市大塔町 | 平面接続 | 佐世保大塔インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

1，334 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 18 年 | 4 月 | 19 日 | | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 3 月 | 12 日 | （供用開始） | |
| | 平成 | 22 年 | 8 月 | 30 日 | （残事業完成） | |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1，454　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，454 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線（和歌山北IC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県和歌山市直川

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 市道直川49号線（ONランプ）<br>市道直川50号線（OFFランプ） | 和歌山県和歌山市<br>直川 | 立体接続 | 和歌山北インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

564 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 19 年 | 4 月 | 1 日 | |
| ②工事の完成年月日 | 平成 | 22 年 | 3 月 | 14 日 | （供用開始） |
| | 平成 | 22 年 | 9 月 | 29 日 | （残事業完成） |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

666 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　666 百万円）（消費税込み）

西日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額**

（1） 工事予算

51，139 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

52，058 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

| （イ）<br>路線名 | （ロ）<br>工事の箇所 | （ハ）工事方法<br>他の道路との接続位置及び接続の方法 | | | （ニ）<br>工事の着手および完成の予定年月日 | | （ホ）<br>工事予算<br>（消費税込み） | （へ）<br>債務引受<br>限度額<br>（消費税込み） | うち<br>助成対象<br>基準額<br>（消費税込み） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 工事の着手<br>（予定）年月日 | 工事の完成<br>予定年月日 | | | | |
| 中央自動車道<br>西宮線 | 滋賀県東近<br>江市木村町 | 県道土山蒲<br>生近江八幡<br>線 | 滋賀県東近<br>江市木村町 | 立体接続 | 平成21年9月18日 | 平成26年3月31日 | 1,903百万円 | 2,200百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 近畿自動車道<br>天理吹田線 | 奈良県大和<br>郡山市西町 | 県道天理斑<br>鳩線及び県<br>道大和郡山<br>広陵線 | 奈良県大和郡山市椎木町及び奈良県生駒郡安堵町大字岡崎及び奈良県大和郡山市池沢町 | 立体接続 | 平成21年9月18日 | 平成26年3月31日 | 2,346百万円 | 2,627百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 中国縦貫自動車道 | 兵庫県姫路<br>市夢前町 | 市道置塩13<br>4号線 | 兵庫県姫路<br>市夢前町 | 立体接続 | 平成21年9月18日 | 平成27年9月30日 | 2,531百万円 | 3,097百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 中国横断自動車道<br>岡山米子線 | 鳥取県西伯<br>郡伯耆町大<br>字岸本 | 町道岸本福<br>原線 | 鳥取県西伯郡伯耆町大字久古及び鳥取県西伯郡伯耆町大字岸本 | 立体接続 | 平成21年9月18日 | 平成23年　6月30日<br>（供用開始）<br>平成23年12月27日<br>（残事業完成） | 233百万円 | 300百万円 | ― | 大山<br>PA |
| 九州縦貫自動車道<br>鹿児島線 | 福岡県宮若<br>市下有木 | 主要地方道<br>室木下有木<br>若宮線及び<br>市道壱町田・<br>大谷線 | 福岡県宮若<br>市下有木 | 立体接続 | 平成21年9月18日 | 平成23年3月26日<br>（供用開始）<br>平成23年6月29日<br>（残事業完成） | 941百万円 | 1,087百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 九州縦貫自動車道<br>鹿児島線 | 熊本県八代<br>郡氷川町高<br>塚 | 町道吉本本<br>山線 | 熊本県八代<br>郡氷川町高<br>塚 | 立体接続 | 平成21年9月18日 | 平成26年3月31日 | 1,962百万円 | 2,381百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 九州縦貫自動車道<br>鹿児島線 | 熊本県熊本<br>市北区改寄<br>町 | 市道鶴羽田<br>改寄町第1<br>号線及び市<br>道植木町広<br>住線 | 熊本県熊本市北区植木町石川及び熊本県熊本市北区改寄町 | 立体接続 | 平成23年4月23日 | 平成28年3月31日 | 1,466百万円 | 1,905百万円 | ― | 本線<br>直結型 |

別　紙　1

| （イ）<br>路線名 | （ロ）<br>工事の箇所 | （ハ）工事方法<br>他の道路との接続位置及び接続の方法 | | | （ニ）<br>工事の着手および完成の予定年月日 | | （ホ）<br>工事予算<br>（消費税込み） | （ヘ）<br>債務引受<br>限度額<br>（消費税込み） | うち<br>助成対象<br>基準額<br>（消費税込み） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 工事の着手<br>（予定）年月日 | 工事の完成<br>予定年月日 | | | | |
| 近畿自動車道<br>名古屋神戸線 | 兵庫県宝塚<br>市玉瀬 | 市道宝塚北<br>インター線<br>（仮称） | 兵庫県宝塚<br>市玉瀬 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成31年3月31日 | 412百万円 | 452百万円 | ― | 宝塚<br>SA<br>（仮称） |
| 四国横断自動車道<br>阿南四万十線 | 徳島県板野<br>郡松茂町長<br>岸 | 町道松茂24<br>号線 | 徳島県板野<br>郡松茂町長<br>岸 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成27年3月31日 | 604百万円 | 645百万円 | ― | 松茂<br>PA<br>（仮称） |
| 九州縦貫自動車道<br>鹿児島線 | 熊本県熊本<br>市南区城南<br>町塚原 | 市道塚原第<br>3号線（仮<br>称）及び市道<br>塚原第4号<br>線（仮称） | 熊本県熊本<br>市南区城南<br>町塚原 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成28年3月31日 | 1,342百万円 | 1,560百万円 | ― | 本線<br>直結型 |
| 九州横断自動車道<br>長崎大分線 | 長崎県大村<br>市木場一丁<br>目 | 市道上久原<br>芋堀手線 | 長崎県大村<br>市木場一丁<br>目 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成30年3月31日 | 2,005百万円 | 2,799百万円 | ― | 大分方面：<br>本線直結型<br>長崎方面：<br>木場PA |
| 九州横断自動車道<br>長崎大分線 | 佐賀県小城<br>市小城町松<br>尾 | 市道高速道<br>路接続線 | 佐賀県小城<br>市小城町松<br>尾 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成30年3月31日 | 687百万円 | 1,468百万円 | ― | 小城<br>PA |
| 東九州自動車道 | 福岡県行橋<br>市大字流末 | 市道東九州自<br>動車道側道4号<br>線（仮称）及び<br>市道東九州自<br>動車道側道3号<br>線（仮称） | 福岡県行橋<br>市大字宝山<br>及び福岡県<br>行橋市大字<br>流末 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成27年3月31日 | 367百万円 | 394百万円 | ― | 行橋<br>PA<br>（仮称） |
| 東九州自動車道 | 福岡県築上<br>郡上毛町大<br>字下唐原 | 町道音・穴ケ<br>葉山線 | 福岡県築上<br>郡上毛町大<br>字下唐原 | 立体接続 | 平成24年5月1日 | 平成29年3月31日 | 608百万円 | 668百万円 | ― | 上毛<br>PA<br>（仮称） |

別紙１－Ｗ－９７

一般国道４８１号（関西国際空港連絡橋）

（大阪府泉佐野市泉州空港北から大阪府泉佐野市りんくう往来北まで）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

一般国道481号 （有料道路名:関西国際空港連絡橋）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府泉佐野市泉州空港北　　から
大阪府泉佐野市りんくう往来北　　まで

（ロ） 延　　長　　4. 6 キロメートル

（3） 工事予算

930 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　5 月　1 日
②工事の完成年月日　　平成　22 年　7 月　29 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

958 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　958 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（勝央JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

岡山県美作市上相

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道374号 | 岡山県美作市上相 | 立体接続 | 勝央ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

726 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　4 月　23 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

861 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　839 百万円）（消費税込み）

# 四国横断自動車道阿南四万十線
# （徳島県鳴門市撫養町木津から香川県高松市前田東町まで）に関する
# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県鳴門市撫養町木津　　から
香川県高松市前田東町　　まで

（ロ） 延　　長　　51．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

| 設 計 区 間 | 道路の区分 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 徳島県鳴門市撫養町木津　から<br>香川県さぬき市津田町鶴羽　まで | 第1種第2級 | 道路構造令 |
| 香川県さぬき市津田町鶴羽　から<br>香川県高松市前田東町　まで | 第1種第3級 | 道路構造令 |

別　紙　1

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時） | 延　長<br>（ｷﾛﾒｰﾄﾙ） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 徳島県鳴門市撫養町木津　から<br>香川県さぬき市津田町鶴羽　まで | 100 | 36．2 | |
| 香川県さぬき市津田町鶴羽　から<br>香川県高松市前田東町　まで | 80 | 15．6 | |

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 徳島県鳴門市撫養町木津　から<br>香川県高松市前田東町　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 設計区間 | 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 徳島県鳴門市撫養町木津 から 香川県さぬき市津田町鶴羽 まで | 土工（掘割）部分 | － | － | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| | トンネル部分 | － | － | 1．00 | 1．00 | 2．00 | |
| | 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | 2．50 | 1．25 | 3．75 | |
| | 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |
| 香川県さぬき市津田町鶴羽 から 香川県高松市前田東町 まで | 土工（掘割）部分 | － | － | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| | トンネル部分 | － | － | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| | 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| | 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

| 設 計 区 間 | 幅　員 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 徳島県鳴門市撫養町木津　から<br>香川県さぬき市津田町鶴羽　まで | 4．50メートル（土工部）<br>4．50メートル（橋梁部） | |
| 香川県さぬき市津田町鶴羽　から<br>香川県高松市前田東町　まで | 3．00メートル（土工部）<br>3．00メートル（橋梁部） | |

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| － | － | － | |

（4） 工事予算

64，762 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　24 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

72，523 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　69，215 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０１

九州横断自動車道長崎大分線

（長崎県長崎市早坂町から長崎県長崎市中里町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県長崎市早坂町　　から
長崎県長崎市中里町　　まで
（なお、事業着手する区間については長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までとする。）

（ロ） 延　　長　　11．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 長崎県長崎市<br>早坂町　　から<br>長崎県長崎市<br>中里町　　まで | 80 | 11．3<br>（ 8．3） | |

※（ ）内は、長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までを表す。

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

| 設　計　区　間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 長崎県長崎市<br>早坂町　から<br>長崎県長崎市<br>中里町　まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造物による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| トンネル部分 | — | — | 0．75 | 0．75 | 1．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（中小橋） | — | — | 2．50 | 1．00 | 3．50 | |
| 橋梁高架部分<br>（長大橋） | — | — | 1．75 | 1．00 | 2．75 | |

（ト） 付加車線の標準幅員　　―

（チ） 中央帯の標準幅員

2．00 メートル　（土工部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| ― | ― | ― | |

（4） 工事予算

40，000 百万円（消費税込み）

（うち、長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までの工事予算　29，524 百万円（消費税込み））

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　24 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

（なお、上記については長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までの工事の着手および完成の予定年月日を表す。）

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

32，394 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　30，878 百万円）（消費税込み）

（なお、上記については長崎県長崎市芒塚町から長崎県長崎市中里町までの債務引受限度額および助成対象基準額を表す。）

山陽自動車道宇部下関線（山口県宇部市）（改築）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

**1. 工事の内容**

（1） 路線名

山陽自動車道宇部下関線

（2） 工事の箇所

山口県宇部市善和

（3） 工事予算

556 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①工事の着手年月日 | 平成 | 23 年 | 4 月 | 23 日 | | |
| ②工事の完成予定年月日 | 平成 | 24 年 | 3 月 | 28 日 | （供用開始） | |
| | 平成 | 24 年 | 9 月 | 29 日 | （残事業完成） | |

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

637 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　637 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－１５６の次に次の別紙を加える。

# 関越自動車道新潟線

# （東京都三鷹市北野から東京都練馬区大泉町まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都三鷹市北野　　から
東京都練馬区大泉町　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 東京都三鷹市北野　から<br>東京都練馬区大泉町　まで | 80 | 9．8 | |

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．25 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 東京都三鷹市北野　から<br>東京都練馬区大泉町　まで | 6 車線 | 6 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | 2．50 | 0．75 | 3．25 | |
| トンネル部分 | － | － | 2．50 | 0．75 | 3．25 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | － | － | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 中央自動車道富士吉田線 | 東京都三鷹市北野 | 立体接続 | 中央ジャンクション（仮称） |
| 都道新宿国立線 | 東京都三鷹市牟礼 | 立体接続 | 東八道路インターチェンジ（仮称） |
| 都道東京所沢線 | 東京都練馬区関町南 | 立体接続 | 青梅街道インターチェンジ（仮称） |
| 都道練馬所沢線 | 東京都練馬区東大泉 | 立体接続 | 目白通りインターチェンジ（仮称） |
| 東北縦貫自動車道弘前線 | 東京都練馬区大泉町 | 平面接続 | 本線 |

（4） 工事予算

72，776 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

東京都三鷹市北野(STA.63+36)から東京都練馬区大泉(STA.160+89)まで
平成　30　年　10　月　1　日

・ なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

80，526 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　76，831 百万円）（消費税込み）

一般国道４５号（三陸縦貫自動車道（仙塩道路））（改築）

（宮城県仙台市宮城野区中野から宮城県宮城郡利府町春日まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道45号

（有料道路名 ： 三陸縦貫自動車道（仙塩道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県仙台市宮城野区中野　　から
宮城県宮城郡利府町春日　　まで

（ロ） 延　　長　　7．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 宮城県仙台市宮城野区中野 から<br>宮城県宮城郡利府町春日 まで | 100 | 7．8 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 宮城県仙台市宮城野区中野 から<br>宮城県宮城郡利府町春日 まで | 4 車線 | 4 車線 | 4車線化 |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | 2．50×2 | 5．00 | 1．75 | 1．25 | 3．00 | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | 1．75×2 | 3．50 | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 主要地方道泉塩釜線 | 宮城県仙台市宮城野区南宮 | 立体接続 | 多賀城インターチェンジ（仮称） |

（4） 工事予算

2，815 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　4 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

別　紙　1

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，152 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，008 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８３の次に次の別紙を加える。

# 中央自動車道　富士吉田線

## （東京都三鷹市北野から東京都世田谷区大蔵まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都三鷹市北野　　から
東京都世田谷区大蔵　　まで

（ロ） 延　　長　　6．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度（キロメートル/時） | 延　長（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 東京都三鷹市北野　から<br>東京都世田谷区大蔵　まで | 80 | 6．4 | |

別　紙　1

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．25メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 東京都三鷹市北野 から<br>東京都世田谷区大蔵 まで | 6 車線 | 6 車線 | |

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左 側 | 計 | 左 側 | 右 側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | ―― | ―― | ―― | ―― | ―― | |
| トンネル部分 | ―― | ―― | 2．50 | 0．75 | 3．25 | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | ―― | ―― | ―― | ―― | ―― | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | ―― | ―― | ―― | ―― | ―― | |

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

―――　　メートル　（土工部）
―――　　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 関越自動車道新潟線 | 東京都三鷹市北野 | 平面接続 | 本線 |
| 中央自動車道富士吉田線 | 東京都三鷹市北野 | 立体接続 | 中央ジャンクション（仮称） |
| 第一東海自動車道 | 東京都世田谷区大蔵 | 立体接続 | 東名ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

173，516 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　東京都三鷹市北野から東京都世田谷区成城
平成　30　年　10　月　1　日

ロ　東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見
平成　24　年　5　月　1　日

ロ’　東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見
平成　30　年　10　月　1　日

ハ　東京都世田谷区喜多見から東京都世田谷区大蔵
平成　24　年　5　月　1　日

・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

203，076 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　194，259 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道伊勢線
（愛知県名古屋市中川区島井町から愛知県海部郡飛島村木場まで）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　伊勢線

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　愛知県名古屋市中川区島井町　　から
愛知県海部郡飛島村木場　　まで

（ロ） 延　　長　　12. 2キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

| 設 計 区 間 | 設計速度<br>（キロメートル/時） | 延　長<br>（キロメートル） | 摘　要 |
|---|---|---|---|
| 愛知県名古屋市中川区島井町 から<br>愛知県海部郡飛島村木場 まで | 60 | 12．2 | |

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

| 設 計 区 間 | 工事施工 | 用地買収 | 摘 要 |
|---|---|---|---|
| 愛知県名古屋市中川区島井町 から<br>愛知県海部郡飛島村木場 まで | 4 車線 | 4 車線 | |

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

| 構造による区分 | 往復分離しない区間 | | 往復分離する区間 | | | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 左　側 | 計 | 左　側 | 右　側 | 計 | |
| 土工（掘割）部分 | － | － | － | － | － | |
| トンネル部分 | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（中小橋） | － | － | － | － | － | |
| 橋梁高架部分（長大橋） | １．２５×２ | ２．５０ | － | － | － | |

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　２．２５　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 近畿自動車道 名古屋亀山線 | 愛知県名古屋市中川区島井町 | 平面接続及び立体接続 | 名古屋西ジャンクション |
| 市道高速1号（名古屋高速道路） | 愛知県名古屋市中川区島井町 | 立体接続 | 名古屋西ジャンクション |
| 一般国道302号 | 愛知県名古屋市中川区服部 | 立体接続 | 名古屋西ジャンクション南インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道302号 | 愛知県名古屋市中川区かの里及び愛知県名古屋市港区西蟹田 | 立体接続 | 富田インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道302号 | 愛知県名古屋市港区南陽町大字茶屋新田 | 立体接続 | 南陽インターチェンジ（仮称） |
| 一般国道302号 | 愛知県海部郡飛島村大字梅之郷 | 立体接続 | 名四西インターチェンジ（仮称） |
| 近畿自動車道 名古屋神戸線 | 愛知県海部郡飛島村木場 | 立体接続 | 飛島ジャンクション（仮称） |
| 一般国道302号（伊勢湾岸道路） | 愛知県海部郡飛島村木場 | 立体接続 | 飛島ジャンクション（仮称） |

（4） 工事予算

30，777 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ　愛知県名古屋市中川区島井町　から　愛知県名古屋市中川区島井町　まで
平成　24年　5月　1日

ロ　愛知県名古屋市中川区島井町　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　29年　4月　1日

ハ　愛知県海部郡飛島村木場　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　24年　5月　1日

・ なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

34，416 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　32，855 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（横浜青葉JCT）に関する

# 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

## 1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

神奈川県横浜市青葉区下谷本町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の<br>路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 横浜市道高速横浜環状北西線<br>（首都高速道路） | 神奈川県横浜市<br>青葉区下谷本町 | 立体接続 | 横浜青葉ジャンクション（仮称） |

別　紙　1

（4） 工事予算

448 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

平成　24 年　 5 月　 1 日

②工事の完成予定年月日

平成　34 年　 3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

509 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　487 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１０２の次に次の別紙を加える。

一般国道４７８号（京都縦貫自動車道）（丹波IC）に関する

# 工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名　　一般国道478号

（有料道路名 ： 京都縦貫自動車道）

（2） 工事の箇所　　京都府船井郡京丹波町須知

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

| 他の道路の路線名 | 接続の位置 | 接続の方法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 一般国道478号（丹波綾部道路） | 京都府船井郡京丹波町須知 | 平面接続 | 本線 |
| 一般国道9号 | 京都府船井郡京丹波町須知 | 立体接続 | 丹波インターチェンジ |

別　紙　1

（4） 工事予算

2，945 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日 平成　25 年　　2 月　　1 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　　3 月　31 日

**2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

3，137 百万円（消費税込み）

（うち、債務引受基準額　　2，988 百万円）（消費税込み）

別紙３－１から３－３までを次のとおり改める。

## 修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

| 年度 | 債務引受限度額 |
|---|---|
| Ｈ１８ | 24,213百万円 |
| Ｈ１９ | 25,071百万円 |
| Ｈ２０ | 24,580百万円 |
| Ｈ２１ | 37,064百万円 |
| Ｈ２２ | 50,385百万円 |
| Ｈ２３ | 41,081百万円 |
| Ｈ２４ | 40,810百万円 |
| Ｈ２５ | 46,996百万円 |
| Ｈ２６ | 46,868百万円 |
| Ｈ２７ | 48,900百万円 |
| Ｈ２８ | 54,123百万円 |
| Ｈ２９ | 48,674百万円 |
| Ｈ３０ | 50,733百万円 |
| Ｈ３１ | 53,391百万円 |
| Ｈ３２ | 56,492百万円 |
| Ｈ３３ | 59,102百万円 |
| Ｈ３４ | 59,411百万円 |
| Ｈ３５ | 59,544百万円 |
| Ｈ３６ | 60,510百万円 |
| Ｈ３７ | 61,205百万円 |
| Ｈ３８ | 61,399百万円 |
| Ｈ３９ | 61,598百万円 |
| Ｈ４０ | 61,757百万円 |
| Ｈ４１ | 62,481百万円 |
| Ｈ４２ | 63,344百万円 |
| Ｈ４３ | 62,793百万円 |
| Ｈ４４ | 63,028百万円 |
| Ｈ４５ | 61,817百万円 |
| Ｈ４６ | 61,748百万円 |
| Ｈ４７ | 61,580百万円 |
| Ｈ４８ | 62,209百万円 |
| Ｈ４９ | 62,489百万円 |
| Ｈ５０ | 61,491百万円 |
| Ｈ５１ | 61,331百万円 |
| Ｈ５２ | 61,338百万円 |
| Ｈ５３ | 61,323百万円 |
| Ｈ５４ | 61,750百万円 |
| Ｈ５５ | 61,682百万円 |
| Ｈ５６ | 60,800百万円 |
| Ｈ５７ | 60,067百万円 |
| Ｈ５８ | 59,950百万円 |
| Ｈ５９ | 59,788百万円 |
| Ｈ６０ | 59,778百万円 |
| Ｈ６１ | 59,616百万円 |
| Ｈ６２ | 24,728百万円 |

（注1）平成１８年度から平成２２年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙３－２

## 修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

| 年度 | 債務引受限度額 |
|---|---|
| Ｈ１８ | 14,696百万円 |
| Ｈ１９ | 24,995百万円 |
| Ｈ２０ | 27,416百万円 |
| Ｈ２１ | 32,076百万円 |
| Ｈ２２ | 21,467百万円 |
| Ｈ２３ | 28,850百万円 |
| Ｈ２４ | 33,538百万円 |
| Ｈ２５ | 33,457百万円 |
| Ｈ２６ | 33,466百万円 |
| Ｈ２７ | 32,392百万円 |
| Ｈ２８ | 32,982百万円 |
| Ｈ２９ | 34,743百万円 |
| Ｈ３０ | 36,575百万円 |
| Ｈ３１ | 38,294百万円 |
| Ｈ３２ | 39,832百万円 |
| Ｈ３３ | 43,957百万円 |
| Ｈ３４ | 44,563百万円 |
| Ｈ３５ | 44,963百万円 |
| Ｈ３６ | 45,757百万円 |
| Ｈ３７ | 45,991百万円 |
| Ｈ３８ | 47,026百万円 |
| Ｈ３９ | 47,220百万円 |
| Ｈ４０ | 47,373百万円 |
| Ｈ４１ | 47,716百万円 |
| Ｈ４２ | 48,774百万円 |
| Ｈ４３ | 47,876百万円 |
| Ｈ４４ | 49,139百万円 |
| Ｈ４５ | 47,590百万円 |
| Ｈ４６ | 47,685百万円 |
| Ｈ４７ | 47,588百万円 |
| Ｈ４８ | 47,682百万円 |
| Ｈ４９ | 47,972百万円 |
| Ｈ５０ | 47,482百万円 |
| Ｈ５１ | 47,548百万円 |
| Ｈ５２ | 47,574百万円 |
| Ｈ５３ | 47,569百万円 |
| Ｈ５４ | 47,603百万円 |
| Ｈ５５ | 47,983百万円 |
| Ｈ５６ | 47,399百万円 |
| Ｈ５７ | 47,270百万円 |
| Ｈ５８ | 47,291百万円 |
| Ｈ５９ | 47,270百万円 |
| Ｈ６０ | 47,351百万円 |
| Ｈ６１ | 47,159百万円 |
| Ｈ６２ | 19,611百万円 |

（注1）平成１８年度から平成２２年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

## 修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

| 年度 | 債務引受限度額 |
|---|---|
| Ｈ１８ | 16,786百万円 |
| Ｈ１９ | 24,426百万円 |
| Ｈ２０ | 25,020百万円 |
| Ｈ２１ | 26,890百万円 |
| Ｈ２２ | 37,352百万円 |
| Ｈ２３ | 40,400百万円 |
| Ｈ２４ | 43,809百万円 |
| Ｈ２５ | 52,938百万円 |
| Ｈ２６ | 45,330百万円 |
| Ｈ２７ | 43,887百万円 |
| Ｈ２８ | 45,491百万円 |
| Ｈ２９ | 46,024百万円 |
| Ｈ３０ | 49,953百万円 |
| Ｈ３１ | 47,625百万円 |
| Ｈ３２ | 47,147百万円 |
| Ｈ３３ | 48,196百万円 |
| Ｈ３４ | 49,343百万円 |
| Ｈ３５ | 50,206百万円 |
| Ｈ３６ | 51,330百万円 |
| Ｈ３７ | 52,570百万円 |
| Ｈ３８ | 53,299百万円 |
| Ｈ３９ | 54,374百万円 |
| Ｈ４０ | 54,422百万円 |
| Ｈ４１ | 55,543百万円 |
| Ｈ４２ | 56,266百万円 |
| Ｈ４３ | 56,985百万円 |
| Ｈ４４ | 57,792百万円 |
| Ｈ４５ | 57,436百万円 |
| Ｈ４６ | 58,081百万円 |
| Ｈ４７ | 58,146百万円 |
| Ｈ４８ | 58,525百万円 |
| Ｈ４９ | 58,776百万円 |
| Ｈ５０ | 58,218百万円 |
| Ｈ５１ | 58,526百万円 |
| Ｈ５２ | 58,752百万円 |
| Ｈ５３ | 58,826百万円 |
| Ｈ５４ | 58,529百万円 |
| Ｈ５５ | 58,688百万円 |
| Ｈ５６ | 58,220百万円 |
| Ｈ５７ | 57,244百万円 |
| Ｈ５８ | 57,132百万円 |
| Ｈ５９ | 57,777百万円 |
| Ｈ６０ | 57,027百万円 |
| Ｈ６１ | 57,690百万円 |
| Ｈ６２ | 23,554百万円 |

（注1）平成１８年度から平成２２年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙４－１から４－３までを次のとおり改める。

別紙４－１

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

| | |
|---|---|
| 債務引受限度額 | ５１,２０５百万円 |

別紙４－２

## 災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

| | |
|---|---|
| 債務引受限度額 | 50,122百万円 |

別紙４－３

## 災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

| | |
|---|---|
| 債務引受限度額 | 49,132百万円 |

別紙５－１から５－３までを次のとおり改める。

別紙５－１

## 東日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

| 年度 | 貸付料 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | うち土地・家屋分 | うち構造物等分 | | |
| | | | | うち盛土・切土・のり面構築物等分 | うち橋梁・トンネル等分 |
| Ｈ１８ | （ 551,875百万円 ）<br>551,875百万円 | （ 63,667百万円 ）<br>47,550百万円 | （ 379,925百万円 ）<br>391,645百万円 | （ 127,702百万円 ）<br>111,107百万円 | （ 252,223百万円 ）<br>280,538百万円 |
| Ｈ１９ | （ 559,192百万円 ）<br>558,180百万円 | （ 67,965百万円 ）<br>51,619百万円 | （ 405,577百万円 ）<br>425,162百万円 | （ 136,324百万円 ）<br>120,616百万円 | （ 269,253百万円 ）<br>304,546百万円 |
| Ｈ２０ | （ 555,373百万円 ）<br>522,469百万円 | （ 68,941百万円 ）<br>49,115百万円 | （ 411,402百万円 ）<br>404,532百万円 | （ 138,282百万円 ）<br>114,763百万円 | （ 273,120百万円 ）<br>289,769百万円 |
| Ｈ２１ | （ 449,377百万円 ）<br>420,422百万円 | （ 55,670百万円 ）<br>39,424百万円 | （ 332,204百万円 ）<br>324,717百万円 | （ 111,662百万円 ）<br>92,120百万円 | （ 220,542百万円 ）<br>232,597百万円 |
| Ｈ２２ | （ 447,103百万円 ）<br>414,736百万円 | （ 54,937百万円 ）<br>34,125百万円 | （ 327,833百万円 ）<br>281,068百万円 | （ 110,193百万円 ）<br>79,737百万円 | （ 217,640百万円 ）<br>201,331百万円 |
| Ｈ２３ | （ 436,821百万円 ）<br>402,249百万円 | （ 39,902百万円 ）<br>36,043百万円 | （ 328,653百万円 ）<br>296,866百万円 | （ 93,237百万円 ）<br>84,219百万円 | （ 235,416百万円 ）<br>212,647百万円 |
| Ｈ２４ | 429,007百万円 | 38,674百万円 | 318,541百万円 | 90,368百万円 | 228,173百万円 |
| Ｈ２５ | 429,984百万円 | 38,203百万円 | 314,663百万円 | 89,268百万円 | 225,395百万円 |
| Ｈ２６ | 533,094百万円 | 48,533百万円 | 399,745百万円 | 113,405百万円 | 286,340百万円 |
| Ｈ２７ | 549,103百万円 | 49,920百万円 | 411,169百万円 | 116,646百万円 | 294,523百万円 |
| Ｈ２８ | 555,611百万円 | 50,059百万円 | 412,314百万円 | 116,971百万円 | 295,343百万円 |
| Ｈ２９ | 556,236百万円 | 50,667百万円 | 417,315百万円 | 118,390百万円 | 298,925百万円 |
| Ｈ３０ | 553,837百万円 | 50,219百万円 | 413,628百万円 | 117,344百万円 | 296,284百万円 |
| Ｈ３１ | 551,834百万円 | 49,754百万円 | 409,801百万円 | 116,258百万円 | 293,543百万円 |
| Ｈ３２ | 549,315百万円 | 49,192百万円 | 405,172百万円 | 114,945百万円 | 290,227百万円 |
| Ｈ３３ | 557,074百万円 | 49,707百万円 | 409,408百万円 | 116,147百万円 | 293,261百万円 |
| Ｈ３４ | 566,017百万円 | 50,602百万円 | 416,784百万円 | 118,239百万円 | 298,545百万円 |
| Ｈ３５ | 567,738百万円 | 50,761百万円 | 418,094百万円 | 118,611百万円 | 299,483百万円 |
| Ｈ３６ | 564,865百万円 | 50,377百万円 | 414,932百万円 | 117,714百万円 | 297,218百万円 |
| Ｈ３７ | 562,865百万円 | 50,104百万円 | 412,684百万円 | 117,076百万円 | 295,608百万円 |
| Ｈ３８ | 563,017百万円 | 50,103百万円 | 412,674百万円 | 117,073百万円 | 295,601百万円 |
| Ｈ３９ | 563,644百万円 | 50,146百万円 | 413,024百万円 | 117,172百万円 | 295,852百万円 |
| Ｈ４０ | 560,545百万円 | 49,820百万円 | 410,344百万円 | 116,412百万円 | 293,932百万円 |
| Ｈ４１ | 559,413百万円 | 49,634百万円 | 408,810百万円 | 115,977百万円 | 292,833百万円 |
| Ｈ４２ | 556,977百万円 | 49,304百万円 | 406,096百万円 | 115,207百万円 | 290,889百万円 |
| Ｈ４３ | 554,804百万円 | 49,141百万円 | 404,753百万円 | 114,826百万円 | 289,927百万円 |
| Ｈ４４ | 547,903百万円 | 48,428百万円 | 398,877百万円 | 113,159百万円 | 285,718百万円 |
| Ｈ４５ | 542,927百万円 | 48,051百万円 | 395,772百万円 | 112,278百万円 | 283,494百万円 |
| Ｈ４６ | 537,846百万円 | 47,550百万円 | 391,646百万円 | 111,108百万円 | 280,538百万円 |
| Ｈ４７ | 533,870百万円 | 47,166百万円 | 388,482百万円 | 110,210百万円 | 278,272百万円 |
| Ｈ４８ | 527,978百万円 | 46,516百万円 | 383,131百万円 | 108,692百万円 | 274,439百万円 |
| Ｈ４９ | 523,070百万円 | 45,997百万円 | 378,851百万円 | 107,478百万円 | 271,373百万円 |
| Ｈ５０ | 518,194百万円 | 45,609百万円 | 375,662百万円 | 106,573百万円 | 269,089百万円 |
| Ｈ５１ | 515,108百万円 | 45,316百万円 | 373,248百万円 | 105,888百万円 | 267,360百万円 |
| Ｈ５２ | 507,470百万円 | 44,552百万円 | 366,951百万円 | 104,102百万円 | 262,849百万円 |
| Ｈ５３ | 503,559百万円 | 44,161百万円 | 363,733百万円 | 103,189百万円 | 260,544百万円 |
| Ｈ５４ | 498,726百万円 | 43,635百万円 | 359,404百万円 | 101,961百万円 | 257,443百万円 |
| Ｈ５５ | 495,637百万円 | 43,333百万円 | 356,914百万円 | 101,254百万円 | 255,660百万円 |
| Ｈ５６ | 489,014百万円 | 42,759百万円 | 352,185百万円 | 99,913百万円 | 252,272百万円 |
| Ｈ５７ | 483,169百万円 | 42,244百万円 | 347,945百万円 | 98,710百万円 | 249,235百万円 |
| Ｈ５８ | 479,265百万円 | 41,868百万円 | 344,848百万円 | 97,831百万円 | 247,017百万円 |
| Ｈ５９ | 476,115百万円 | 41,569百万円 | 342,383百万円 | 97,132百万円 | 245,251百万円 |
| Ｈ６０ | 469,698百万円 | 40,929百万円 | 337,109百万円 | 95,636百万円 | 241,473百万円 |
| Ｈ６１ | 465,876百万円 | 40,562百万円 | 334,088百万円 | 94,779百万円 | 239,309百万円 |
| Ｈ６２ | 144,062百万円 | 11,904百万円 | 98,052百万円 | 27,817百万円 | 70,235百万円 |

（注1）平成１８年度から平成２２年度の上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２３年度の上段（　）内は計画値
下段は実績見込値を記載している。

## 中日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

| 年度 | 貸付料 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | うち土地・家屋分 | 構築物等分 | | |
| | | | | うち盛土・切土・のり面構造物等分 | うち橋梁・トンネル等分 |
| Ｈ１８ | (472,195百万円)<br>484,094百万円 | (86,431百万円)<br>74,294百万円 | (307,137百万円)<br>316,083百万円 | (81,338百万円)<br>69,250百万円 | (225,799百万円)<br>246,833百万円 |
| Ｈ１９ | (482,966百万円)<br>484,615百万円 | (96,496百万円)<br>80,890百万円 | (342,904百万円)<br>344,144百万円 | (90,810百万円)<br>75,398百万円 | (252,094百万円)<br>268,746百万円 |
| Ｈ２０ | (466,881百万円)<br>456,343百万円 | (94,180百万円)<br>76,802百万円 | (334,674百万円)<br>326,751百万円 | (88,630百万円)<br>71,587百万円 | (246,044百万円)<br>255,164百万円 |
| Ｈ２１ | (355,494百万円)<br>329,680百万円 | (70,563百万円)<br>54,376百万円 | (250,751百万円)<br>231,341百万円 | (66,405百万円)<br>50,684百万円 | (184,346百万円)<br>180,657百万円 |
| Ｈ２２ | (350,323百万円)<br>340,782百万円 | (69,626百万円)<br>52,677百万円 | (247,421百万円)<br>224,113百万円 | (65,524百万円)<br>49,100百万円 | (181,897百万円)<br>175,012百万円 |
| Ｈ２３ | (352,605百万円)<br>354,854百万円 | (57,106百万円)<br>57,467百万円 | (242,956百万円)<br>244,491百万円 | (53,229百万円)<br>53,565百万円 | (189,727百万円)<br>190,926百万円 |
| Ｈ２４ | 346,816百万円 | 55,233百万円 | 234,987百万円 | 51,483百万円 | 183,504百万円 |
| Ｈ２５ | 348,386百万円 | 55,458百万円 | 235,946百万円 | 51,693百万円 | 184,253百万円 |
| Ｈ２６ | 464,901百万円 | 76,060百万円 | 323,597百万円 | 70,896百万円 | 252,701百万円 |
| Ｈ２７ | 479,687百万円 | 78,851百万円 | 335,471百万円 | 73,498百万円 | 261,973百万円 |
| Ｈ２８ | 482,368百万円 | 79,247百万円 | 337,156百万円 | 73,867百万円 | 263,289百万円 |
| Ｈ２９ | 481,708百万円 | 78,845百万円 | 335,449百万円 | 73,493百万円 | 261,956百万円 |
| Ｈ３０ | 483,904百万円 | 78,881百万円 | 335,598百万円 | 73,526百万円 | 262,072百万円 |
| Ｈ３１ | 484,740百万円 | 78,728百万円 | 334,946百万円 | 73,383百万円 | 261,563百万円 |
| Ｈ３２ | 484,589百万円 | 78,423百万円 | 333,650百万円 | 73,099百万円 | 260,551百万円 |
| Ｈ３３ | 488,875百万円 | 78,457百万円 | 333,791百万円 | 73,130百万円 | 260,661百万円 |
| Ｈ３４ | 498,835百万円 | 80,164百万円 | 341,056百万円 | 74,722百万円 | 266,334百万円 |
| Ｈ３５ | 500,326百万円 | 80,357百万円 | 341,879百万円 | 74,902百万円 | 266,977百万円 |
| Ｈ３６ | 497,604百万円 | 79,735百万円 | 339,233百万円 | 74,322百万円 | 264,911百万円 |
| Ｈ３７ | 496,033百万円 | 79,410百万円 | 337,851百万円 | 74,019百万円 | 263,832百万円 |
| Ｈ３８ | 495,017百万円 | 79,054百万円 | 336,334百万円 | 73,687百万円 | 262,647百万円 |
| Ｈ３９ | 495,570百万円 | 79,118百万円 | 336,606百万円 | 73,747百万円 | 262,859百万円 |
| Ｈ４０ | 493,056百万円 | 78,645百万円 | 334,597百万円 | 73,306百万円 | 261,291百万円 |
| Ｈ４１ | 491,958百万円 | 78,392百万円 | 333,518百万円 | 73,070百万円 | 260,448百万円 |
| Ｈ４２ | 491,083百万円 | 78,049百万円 | 332,059百万円 | 72,750百万円 | 259,309百万円 |
| Ｈ４３ | 488,302百万円 | 77,718百万円 | 330,648百万円 | 72,441百万円 | 258,207百万円 |
| Ｈ４４ | 482,099百万円 | 76,397百万円 | 325,030百万円 | 71,210百万円 | 253,820百万円 |
| Ｈ４５ | 477,353百万円 | 75,833百万円 | 322,631百万円 | 70,685百万円 | 251,946百万円 |
| Ｈ４６ | 473,215百万円 | 75,085百万円 | 319,446百万円 | 69,987百万円 | 249,459百万円 |
| Ｈ４７ | 470,590百万円 | 74,632百万円 | 317,521百万円 | 69,565百万円 | 247,956百万円 |
| Ｈ４８ | 464,959百万円 | 73,625百万円 | 313,239百万円 | 68,627百万円 | 244,612百万円 |
| Ｈ４９ | 461,057百万円 | 72,885百万円 | 310,089百万円 | 67,937百万円 | 242,152百万円 |
| Ｈ５０ | 457,093百万円 | 72,271百万円 | 307,476百万円 | 67,364百万円 | 240,112百万円 |
| Ｈ５１ | 454,198百万円 | 71,748百万円 | 305,252百万円 | 66,877百万円 | 238,375百万円 |
| Ｈ５２ | 448,098百万円 | 70,664百万円 | 300,639百万円 | 65,866百万円 | 234,773百万円 |
| Ｈ５３ | 443,971百万円 | 69,937百万円 | 297,546百万円 | 65,189百万円 | 232,357百万円 |
| Ｈ５４ | 440,334百万円 | 69,288百万円 | 294,784百万円 | 64,584百万円 | 230,200百万円 |
| Ｈ５５ | 437,850百万円 | 68,782百万円 | 292,632百万円 | 64,112百万円 | 228,520百万円 |
| Ｈ５６ | 432,323百万円 | 67,908百万円 | 288,913百万円 | 63,297百万円 | 225,616百万円 |
| Ｈ５７ | 427,736百万円 | 67,114百万円 | 285,538百万円 | 62,558百万円 | 222,980百万円 |
| Ｈ５８ | 423,717百万円 | 66,406百万円 | 282,524百万円 | 61,898百万円 | 220,626百万円 |
| Ｈ５９ | 421,200百万円 | 65,965百万円 | 280,649百万円 | 61,487百万円 | 219,162百万円 |
| Ｈ６０ | 415,903百万円 | 65,014百万円 | 276,603百万円 | 60,600百万円 | 216,003百万円 |
| Ｈ６１ | 412,256百万円 | 64,405百万円 | 274,009百万円 | 60,032百万円 | 213,977百万円 |
| Ｈ６２ | 129,564百万円 | 19,352百万円 | 82,336百万円 | 18,039百万円 | 64,297百万円 |

（注1）平成１８年度から平成２２年度までの上段（　　）内は、計画値、下段は実績値を、平成２３年度の上段（　　）内は計画値、下段は実績見込み値を記載している。

別紙５－３

## 西日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

| 年度 | 貸付料 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | うち土地・家屋分 | うち構築物等分 | | |
| | | | | うち盛土・切土・のり面構造物等分 | うち橋梁・トンネル等分 |
| Ｈ１８ | （499,925百万円）<br>510,013百万円 | （69,628百万円）<br>74,784百万円 | （332,649百万円）<br>357,283百万円 | （107,706百万円）<br>115,682百万円 | （224,943百万円）<br>241,601百万円 |
| Ｈ１９ | （509,334百万円）<br>509,334百万円 | （76,047百万円）<br>79,849百万円 | （363,317百万円）<br>381,483百万円 | （117,636百万円）<br>123,517百万円 | （245,681百万円）<br>257,966百万円 |
| Ｈ２０ | （502,022百万円）<br>485,996百万円 | （75,381百万円）<br>76,489百万円 | （360,133百万円）<br>365,426百万円 | （116,605百万円）<br>118,318百万円 | （243,528百万円）<br>247,108百万円 |
| Ｈ２１ | （399,934百万円）<br>381,671百万円 | （58,960百万円）<br>61,193百万円 | （281,681百万円）<br>292,353百万円 | （91,203百万円）<br>94,659百万円 | （190,478百万円）<br>197,694百万円 |
| Ｈ２２ | （410,838百万円）<br>403,375百万円 | （61,473百万円）<br>60,260百万円 | （293,688百万円）<br>287,895百万円 | （95,091百万円）<br>93,215百万円 | （198,597百万円）<br>194,680百万円 |
| Ｈ２３ | （395,853百万円）<br>406,429百万円 | （58,087百万円）<br>60,624百万円 | （277,511百万円）<br>289,632百万円 | （89,853百万円）<br>93,778百万円 | （187,658百万円）<br>195,854百万円 |
| Ｈ２４ | 395,037百万円 | 58,201百万円 | 278,058百万円 | 90,030百万円 | 188,028百万円 |
| Ｈ２５ | 397,607百万円 | 57,111百万円 | 272,849百万円 | 88,344百万円 | 184,505百万円 |
| Ｈ２６ | 520,791百万円 | 78,829百万円 | 376,609百万円 | 121,939百万円 | 254,670百万円 |
| Ｈ２７ | 526,420百万円 | 79,985百万円 | 382,131百万円 | 123,727百万円 | 258,404百万円 |
| Ｈ２８ | 528,709百万円 | 80,114百万円 | 382,747百万円 | 123,927百万円 | 258,820百万円 |
| Ｈ２９ | 528,978百万円 | 80,071百万円 | 382,544百万円 | 123,861百万円 | 258,683百万円 |
| Ｈ３０ | 528,721百万円 | 79,374百万円 | 379,211百万円 | 122,782百万円 | 256,429百万円 |
| Ｈ３１ | 529,591百万円 | 79,907百万円 | 381,757百万円 | 123,606百万円 | 258,151百万円 |
| Ｈ３２ | 528,521百万円 | 79,804百万円 | 381,267百万円 | 123,447百万円 | 257,820百万円 |
| Ｈ３３ | 523,663百万円 | 78,827百万円 | 376,597百万円 | 121,935百万円 | 254,662百万円 |
| Ｈ３４ | 527,890百万円 | 79,339百万円 | 379,045百万円 | 122,728百万円 | 256,317百万円 |
| Ｈ３５ | 530,523百万円 | 79,633百万円 | 380,447百万円 | 123,182百万円 | 257,265百万円 |
| Ｈ３６ | 525,680百万円 | 78,642百万円 | 375,716百万円 | 121,650百万円 | 254,066百万円 |
| Ｈ３７ | 520,298百万円 | 77,537百万円 | 370,435百万円 | 119,940百万円 | 250,495百万円 |
| Ｈ３８ | 517,699百万円 | 76,990百万円 | 367,822百万円 | 119,094百万円 | 248,728百万円 |
| Ｈ３９ | 517,051百万円 | 76,703百万円 | 366,453百万円 | 118,651百万円 | 247,802百万円 |
| Ｈ４０ | 514,518百万円 | 76,276百万円 | 364,409百万円 | 117,989百万円 | 246,420百万円 |
| Ｈ４１ | 513,688百万円 | 75,951百万円 | 362,857百万円 | 117,487百万円 | 245,370百万円 |
| Ｈ４２ | 512,334百万円 | 75,606百万円 | 361,208百万円 | 116,953百万円 | 244,255百万円 |
| Ｈ４３ | 510,571百万円 | 75,194百万円 | 359,241百万円 | 116,316百万円 | 242,925百万円 |
| Ｈ４４ | 504,474百万円 | 74,048百万円 | 353,766百万円 | 114,543百万円 | 239,223百万円 |
| Ｈ４５ | 500,567百万円 | 73,458百万円 | 350,946百万円 | 113,630百万円 | 237,316百万円 |
| Ｈ４６ | 497,733百万円 | 72,881百万円 | 348,191百万円 | 112,738百万円 | 235,453百万円 |
| Ｈ４７ | 495,982百万円 | 72,574百万円 | 346,724百万円 | 112,263百万円 | 234,461百万円 |
| Ｈ４８ | 490,938百万円 | 71,679百万円 | 342,447百万円 | 110,878百万円 | 231,569百万円 |
| Ｈ４９ | 484,203百万円 | 70,518百万円 | 336,900百万円 | 109,082百万円 | 227,818百万円 |
| Ｈ５０ | 477,466百万円 | 69,493百万円 | 332,004百万円 | 107,497百万円 | 224,507百万円 |
| Ｈ５１ | 473,224百万円 | 68,737百万円 | 328,392百万円 | 106,327百万円 | 222,065百万円 |
| Ｈ５２ | 466,871百万円 | 67,644百万円 | 323,170百万円 | 104,637百万円 | 218,533百万円 |
| Ｈ５３ | 463,513百万円 | 67,074百万円 | 320,448百万円 | 103,755百万円 | 216,693百万円 |
| Ｈ５４ | 459,718百万円 | 66,494百万円 | 317,677百万円 | 102,858百万円 | 214,819百万円 |
| Ｈ５５ | 457,556百万円 | 66,108百万円 | 315,834百万円 | 102,261百万円 | 213,573百万円 |
| Ｈ５６ | 452,107百万円 | 65,282百万円 | 311,886百万円 | 100,983百万円 | 210,903百万円 |
| Ｈ５７ | 446,919百万円 | 64,576百万円 | 308,516百万円 | 99,892百万円 | 208,624百万円 |
| Ｈ５８ | 444,803百万円 | 64,249百万円 | 306,953百万円 | 99,386百万円 | 207,567百万円 |
| Ｈ５９ | 443,689百万円 | 63,957百万円 | 305,555百万円 | 98,933百万円 | 206,622百万円 |
| Ｈ６０ | 438,436百万円 | 63,210百万円 | 301,987百万円 | 97,778百万円 | 204,209百万円 |
| Ｈ６１ | 432,279百万円 | 62,076百万円 | 296,573百万円 | 96,025百万円 | 200,548百万円 |
| Ｈ６２ | 105,237百万円 | 13,440百万円 | 64,210百万円 | 20,790百万円 | 43,420百万円 |

（注1）平成１８年度から平成２２年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２３年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙６－１から６－３までを次のとおり改める。

別紙６－１

# 東日本高速道路株式会社における計画料金収入

（消費税込み）

| 年度 | 計画料金収入 |
|---|---|
| Ｈ１８ | （ 709,612百万円 ）<br>711,810百万円 |
| Ｈ１９ | （ 722,190百万円 ）<br>713,956百万円 |
| Ｈ２０ | （ 719,683百万円 ）<br>679,582百万円 |
| Ｈ２１ | （ 613,220百万円 ）<br>578,132百万円 |
| Ｈ２２ | （ 621,266百万円 ）<br>582,686百万円 |
| Ｈ２３ | （ 607,061百万円 ）<br>566,419百万円 |
| Ｈ２４ | 604,468百万円 |
| Ｈ２５ | 606,150百万円 |
| Ｈ２６ | 711,616百万円 |
| Ｈ２７ | 729,894百万円 |
| Ｈ２８ | 743,359百万円 |
| Ｈ２９ | 746,671百万円 |
| Ｈ３０ | 745,457百万円 |
| Ｈ３１ | 746,778百万円 |
| Ｈ３２ | 744,813百万円 |
| Ｈ３３ | 753,499百万円 |
| Ｈ３４ | 761,328百万円 |
| Ｈ３５ | 761,864百万円 |
| Ｈ３６ | 758,361百万円 |
| Ｈ３７ | 756,933百万円 |
| Ｈ３８ | 755,509百万円 |
| Ｈ３９ | 756,137百万円 |
| Ｈ４０ | 752,653百万円 |
| Ｈ４１ | 751,229百万円 |
| Ｈ４２ | 749,799百万円 |
| Ｈ４３ | 746,701百万円 |
| Ｈ４４ | 739,538百万円 |
| Ｈ４５ | 734,405百万円 |
| Ｈ４６ | 729,271百万円 |
| Ｈ４７ | 726,113百万円 |
| Ｈ４８ | 719,003百万円 |
| Ｈ４９ | 713,870百万円 |
| Ｈ５０ | 708,738百万円 |
| Ｈ５１ | 705,527百万円 |
| Ｈ５２ | 698,473百万円 |
| Ｈ５３ | 693,341百万円 |
| Ｈ５４ | 688,212百万円 |
| Ｈ５５ | 684,944百万円 |
| Ｈ５６ | 677,946百万円 |
| Ｈ５７ | 672,817百万円 |
| Ｈ５８ | 667,687百万円 |
| Ｈ５９ | 664,363百万円 |
| Ｈ６０ | 657,426百万円 |
| Ｈ６１ | 652,296百万円 |
| Ｈ６２ | 267,089百万円 |

（注1）平成１８年度から平成２２年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を
平成２３年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

## 中日本高速道路株式会社における計画料金収入

（消費税込み）

| 年度 | 計画料金収入 |
|---|---|
| Ｈ１８ | (589,562百万円)<br>607,357百万円 |
| Ｈ１９ | (599,122百万円)<br>606,762百万円 |
| Ｈ２０ | (585,472百万円)<br>569,080百万円 |
| Ｈ２１ | (477,225百万円)<br>446,639百万円 |
| Ｈ２２ | (475,906百万円)<br>461,606百万円 |
| Ｈ２３ | (474,594百万円)<br>481,589百万円 |
| Ｈ２４ | 476,380百万円 |
| Ｈ２５ | 480,109百万円 |
| Ｈ２６ | 599,776百万円 |
| Ｈ２７ | 614,461百万円 |
| Ｈ２８ | 618,067百万円 |
| Ｈ２９ | 617,992百万円 |
| Ｈ３０ | 621,054百万円 |
| Ｈ３１ | 624,086百万円 |
| Ｈ３２ | 624,271百万円 |
| Ｈ３３ | 634,522百万円 |
| Ｈ３４ | 643,332百万円 |
| Ｈ３５ | 644,205百万円 |
| Ｈ３６ | 641,244百万円 |
| Ｈ３７ | 640,038百万円 |
| Ｈ３８ | 638,834百万円 |
| Ｈ３９ | 639,365百万円 |
| Ｈ４０ | 636,422百万円 |
| Ｈ４１ | 635,217百万円 |
| Ｈ４２ | 634,010百万円 |
| Ｈ４３ | 631,392百万円 |
| Ｈ４４ | 625,340百万円 |
| Ｈ４５ | 621,001百万円 |
| Ｈ４６ | 616,665百万円 |
| Ｈ４７ | 613,995百万円 |
| Ｈ４８ | 607,988百万円 |
| Ｈ４９ | 603,650百万円 |
| Ｈ５０ | 599,313百万円 |
| Ｈ５１ | 596,600百万円 |
| Ｈ５２ | 590,640百万円 |
| Ｈ５３ | 586,303百万円 |
| Ｈ５４ | 581,970百万円 |
| Ｈ５５ | 579,208百万円 |
| Ｈ５６ | 573,296百万円 |
| Ｈ５７ | 568,962百万円 |
| Ｈ５８ | 564,627百万円 |
| Ｈ５９ | 561,818百万円 |
| Ｈ６０ | 555,957百万円 |
| Ｈ６１ | 551,621百万円 |
| Ｈ６２ | 226,162百万円 |

(注1) 平成１８年度から平成２２年度までの上段（　　）内は、計画値、下段は実績値を、平成２３年度の上段（　　）内は計画値、下段は実績見込み値を記載している。

## 西日本高速道路株式会社における計画料金収入

（消費税込み）

| 年度 | 計画料金収入 |
|---|---|
| Ｈ１８ | (643,757百万円)<br>660,282百万円 |
| Ｈ１９ | (652,624百万円)<br>655,944百万円 |
| Ｈ２０ | (644,959百万円)<br>622,483百万円 |
| Ｈ２１ | (547,669百万円)<br>523,929百万円 |
| Ｈ２２ | (566,717百万円)<br>553,587百万円 |
| Ｈ２３ | (546,542百万円)<br>566,548百万円 |
| Ｈ２４ | 549,281百万円 |
| Ｈ２５ | 552,462百万円 |
| Ｈ２６ | 675,394百万円 |
| Ｈ２７ | 683,240百万円 |
| Ｈ２８ | 686,186百万円 |
| Ｈ２９ | 687,442百万円 |
| Ｈ３０ | 688,388百万円 |
| Ｈ３１ | 690,950百万円 |
| Ｈ３２ | 691,171百万円 |
| Ｈ３３ | 686,875百万円 |
| Ｈ３４ | 689,273百万円 |
| Ｈ３５ | 689,895百万円 |
| Ｈ３６ | 685,555百万円 |
| Ｈ３７ | 683,494百万円 |
| Ｈ３８ | 682,252百万円 |
| Ｈ３９ | 682,852百万円 |
| Ｈ４０ | 679,722百万円 |
| Ｈ４１ | 678,440百万円 |
| Ｈ４２ | 677,154百万円 |
| Ｈ４３ | 674,369百万円 |
| Ｈ４４ | 667,933百万円 |
| Ｈ４５ | 663,320百万円 |
| Ｈ４６ | 658,706百万円 |
| Ｈ４７ | 655,867百万円 |
| Ｈ４８ | 649,479百万円 |
| Ｈ４９ | 644,865百万円 |
| Ｈ５０ | 640,253百万円 |
| Ｈ５１ | 637,365百万円 |
| Ｈ５２ | 631,026百万円 |
| Ｈ５３ | 626,413百万円 |
| Ｈ５４ | 621,804百万円 |
| Ｈ５５ | 618,863百万円 |
| Ｈ５６ | 612,575百万円 |
| Ｈ５７ | 607,965百万円 |
| Ｈ５８ | 603,354百万円 |
| Ｈ５９ | 600,365百万円 |
| Ｈ６０ | 594,130百万円 |
| Ｈ６１ | 589,520百万円 |
| Ｈ６２ | 241,623百万円 |

（注1）平成１８年度から平成２２年度までの上段（　　）内は計画値、下段は実績値を、平成２３年度の上段（　　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙７を次のとおり改める。

# 【機構の収支予算の明細】

## 全国路線網

[ 百万円（消費税込み） ]

| | | 未償還残高（期首） | | | 会社からの引受け債務 | | | 収入 | | | 支出 | | | 収支差 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 債務残高（期首）（注1） | | 出資金 | 有利子借入金 | 社会資本借入金 | 無利子借入金 | 貸付料 | 占用料等 | 出資金等 | 管理費等 | 支払利息 | 無利子貸付金 | |
| | | 有利子借入金 | 社会資本借入金 | | | | | | | | | | | |
| 2006年度 | 平成18年度 | 26,307,763 | 0 | 1,954,865 | 111,873 | 0 | 19,557 | 1,545,982 | 9,004 | 0 | 69,847 | 440,832 | 0 | 1,044,307 |
| 2007年度 | 平成19年度 | 25,375,330 | 0 | 1,954,865 | 423,074 | 0 | 0 | 1,552,129 | 7,406 | 2,850 | 56,286 | 399,810 | 2,850 | 1,103,439 |
| 2008年度 | 平成20年度 | 24,694,964 | 0 | 1,954,865 | 403,431 | 0 | 8,523 | 1,464,808 | 10,885 | 5,673 | 59,620 | 386,547 | 5,673 | 1,029,526 |
| 2009年度 | 平成21年度 | 21,929,913 | 0 | 1,954,865 | 545,409 | 0 | 0 | 1,131,773 | 9,803 | 0 | 31,095 | 366,102 | 0 | 744,378 |
| 2010年度 | 平成22年度 | 21,730,944 | 0 | 1,954,865 | 475,545 | 0 | 0 | 1,158,893 | 8,317 | 0 | 35,637 | 341,998 | 0 | 789,575 |
| 2011年度 | 平成23年度 | 21,574,866 | 0 | 1,954,865 | 421,753 | 0 | 0 | 1,163,532 | 3,488 | 11,572 | 281,838 | 323,571 | 11,572 | 561,610 |
| 2012年度 | 平成24年度 | 21,479,520 | 0 | 1,954,865 | 1,857,816 | 0 | 49,021 | 1,170,860 | 3,170 | 37,449 | -26,622 | 326,052 | 37,449 | 874,599 |
| 2013年度 | 平成25年度 | 22,462,737 | 0 | 1,954,865 | 454,070 | 0 | 0 | 1,175,977 | 3,191 | 0 | 38,979 | 347,552 | 0 | 792,636 |
| 2014年度 | 平成26年度 | 22,124,171 | 0 | 1,954,865 | 1,585,690 | 0 | 0 | 1,518,786 | 3,230 | 0 | 8,374 | 358,280 | 0 | 1,155,362 |
| 2015年度 | 平成27年度 | 22,554,499 | 0 | 1,954,865 | 1,116,186 | 0 | 0 | 1,555,210 | 3,237 | 0 | 29,383 | 365,334 | 0 | 1,163,729 |
| 2016年度 | 平成28年度 | 22,506,956 | 0 | 1,954,865 | 572,586 | 0 | 0 | 1,566,688 | 3,315 | 0 | 55,073 | 375,567 | 0 | 1,139,363 |
| 2017年度 | 平成29年度 | 21,940,179 | 0 | 1,954,865 | 322,572 | 0 | 0 | 1,566,922 | 3,245 | 0 | 62,656 | 375,531 | 0 | 1,131,980 |
| 2018年度 | 平成30年度 | 21,130,771 | 0 | 1,954,865 | 2,216,897 | 0 | 0 | 1,566,462 | 3,256 | 0 | -14,758 | 373,353 | 0 | 1,211,123 |
| 2019年度 | 平成31年度 | 22,136,545 | 0 | 1,954,865 | 210,593 | 0 | 0 | 1,566,165 | 3,258 | 0 | 68,275 | 416,068 | 0 | 1,085,080 |
| 2020年度 | 平成32年度 | 21,262,057 | 0 | 1,954,865 | 2,044,788 | 0 | 0 | 1,562,425 | 3,267 | 0 | -6,176 | 411,275 | 0 | 1,160,594 |
| 2021年度 | 平成33年度 | 22,146,251 | 0 | 1,954,865 | 151,764 | 0 | 0 | 1,569,612 | 3,267 | 0 | 70,688 | 473,443 | 0 | 1,028,748 |
| 2022年度 | 平成34年度 | 21,269,267 | 0 | 1,954,865 | 153,317 | 0 | 0 | 1,592,742 | 3,267 | 0 | 70,809 | 525,924 | 0 | 999,276 |
| 2023年度 | 平成35年度 | 20,423,308 | 0 | 1,954,865 | 976,155 | 0 | 0 | 1,598,587 | 3,267 | 0 | 41,886 | 584,105 | 0 | 975,863 |
| 2024年度 | 平成36年度 | 20,423,599 | 0 | 1,954,865 | 157,597 | 0 | 0 | 1,588,149 | 3,267 | 0 | 70,381 | 651,208 | 0 | 869,828 |
| 2025年度 | 平成37年度 | 19,711,368 | 0 | 1,954,865 | 159,766 | 0 | 0 | 1,579,196 | 3,267 | 0 | 69,954 | 669,291 | 0 | 843,218 |
| 2026年度 | 平成38年度 | 19,027,916 | 0 | 1,954,865 | 161,724 | 0 | 0 | 1,575,733 | 3,341 | 0 | 69,602 | 667,672 | 0 | 841,800 |
| 2027年度 | 平成39年度 | 18,347,840 | 0 | 1,954,865 | 163,192 | 0 | 0 | 1,576,265 | 3,267 | 0 | 69,561 | 659,683 | 0 | 850,288 |
| 2028年度 | 平成40年度 | 17,660,743 | 0 | 1,954,865 | 163,552 | 0 | 0 | 1,568,119 | 3,267 | 0 | 69,142 | 650,643 | 0 | 851,602 |
| 2029年度 | 平成41年度 | 16,972,694 | 0 | 1,954,865 | 165,740 | 0 | 0 | 1,565,059 | 3,269 | 0 | 68,905 | 636,171 | 0 | 863,253 |
| 2030年度 | 平成42年度 | 16,275,181 | 0 | 1,954,865 | 168,384 | 0 | 0 | 1,560,394 | 3,267 | 0 | 68,555 | 615,480 | 0 | 879,627 |
| 2031年度 | 平成43年度 | 15,563,938 | 0 | 1,954,865 | 167,654 | 0 | 0 | 1,553,677 | 3,267 | 0 | 68,273 | 588,018 | 0 | 900,653 |
| 2032年度 | 平成44年度 | 14,830,938 | 0 | 1,954,865 | 169,959 | 0 | 0 | 1,534,476 | 3,267 | 0 | 67,239 | 559,058 | 0 | 911,446 |
| 2033年度 | 平成45年度 | 14,089,451 | 0 | 1,954,865 | 166,843 | 0 | 0 | 1,520,847 | 3,267 | 0 | 66,749 | 529,040 | 0 | 928,326 |
| 2034年度 | 平成46年度 | 13,327,969 | 0 | 1,954,865 | 167,514 | 0 | 0 | 1,508,794 | 3,267 | 0 | 66,129 | 498,796 | 0 | 947,136 |
| 2035年度 | 平成47年度 | 12,548,346 | 0 | 1,954,865 | 167,314 | 0 | 0 | 1,500,442 | 3,267 | 0 | 65,839 | 467,927 | 0 | 969,944 |
| 2036年度 | 平成48年度 | 11,745,717 | 0 | 1,954,865 | 168,416 | 0 | 0 | 1,483,875 | 3,341 | 0 | 64,908 | 436,040 | 0 | 986,269 |
| 2037年度 | 平成49年度 | 10,927,864 | 0 | 1,954,865 | 169,237 | 0 | 0 | 1,468,330 | 3,267 | 0 | 64,139 | 403,536 | 0 | 1,003,922 |
| 2038年度 | 平成50年度 | 10,093,179 | 0 | 1,954,865 | 167,191 | 0 | 0 | 1,452,753 | 3,267 | 0 | 63,476 | 371,744 | 0 | 1,020,801 |
| 2039年度 | 平成51年度 | 9,239,569 | 0 | 1,954,865 | 167,405 | 0 | 0 | 1,442,530 | 3,269 | 0 | 62,987 | 341,718 | 0 | 1,041,095 |
| 2040年度 | 平成52年度 | 8,365,879 | 0 | 1,954,865 | 167,664 | 0 | 0 | 1,422,439 | 3,267 | 0 | 62,021 | 308,468 | 0 | 1,055,217 |
| 2041年度 | 平成53年度 | 7,478,326 | 0 | 1,954,865 | 167,718 | 0 | 0 | 1,411,043 | 3,267 | 0 | 61,484 | 273,079 | 0 | 1,079,748 |
| 2042年度 | 平成54年度 | 6,566,296 | 0 | 1,954,865 | 167,882 | 0 | 0 | 1,398,778 | 3,267 | 0 | 60,876 | 236,108 | 0 | 1,105,061 |
| 2043年度 | 平成55年度 | 5,629,117 | 0 | 1,954,865 | 168,353 | 0 | 0 | 1,391,043 | 3,267 | 0 | 60,490 | 197,569 | 0 | 1,136,252 |
| 2044年度 | 平成56年度 | 4,661,219 | 0 | 1,954,865 | 166,419 | 0 | 0 | 1,373,444 | 3,267 | 0 | 59,733 | 158,525 | 0 | 1,158,453 |
| 2045年度 | 平成57年度 | 3,669,184 | 0 | 1,954,865 | 164,581 | 0 | 0 | 1,357,824 | 3,267 | 0 | 59,182 | 119,274 | 0 | 1,182,636 |
| 2046年度 | 平成58年度 | 2,651,130 | 0 | 1,954,865 | 164,373 | 0 | 0 | 1,347,785 | 3,341 | 0 | 58,620 | 81,554 | 0 | 1,210,952 |
| 2047年度 | 平成59年度 | 1,604,551 | 0 | 1,954,865 | 164,835 | 0 | 0 | 1,341,004 | 3,267 | 0 | 58,279 | 41,178 | 0 | 1,244,814 |
| 2048年度 | 平成60年度 | 524,571 | 0 | 1,954,865 | 164,156 | 0 | 0 | 1,324,037 | 3,267 | 0 | 57,490 | 9,039 | 0 | 1,260,776 |
| 2049年度 | 平成61年度 | 132,362 | 0 | 1,250,455 | 164,465 | 0 | 0 | 1,310,411 | 3,269 | 0 | 56,841 | 1,561 | 0 | 1,255,278 |
| 2050年度 | 平成62年度 | 0 | 0 | 292,004 | 67,893 | 0 | 0 | 378,863 | 1,350 | 0 | 20,318 | 0 | 0 | 359,895 |
| 2051年度 | 平成63年度 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | 18,423,344 | 0 | 77,101 | 64,562,862 | 174,403 | 57,544 | 2,624,063 | 17,363,726 | 57,544 | 44,749,477 |

（注1）上表の債務残高は「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律（昭和33年法律第34号）」に基づく高速道路利便増進事業のため、平成20年度において一般会計に承継する機構債務を反映し、平成22年度及び平成23年度において高速道路利便増進事業の計画変更に伴い見直しを行っている。
（注2）平成18年度から平成22年度までは実績値を、平成23年度は実績見込値を記載している。

添付書類

別添１　高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線等に関する協定（機構及び東日本高速道路株式会社）

別添２　高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等に関する協定（機構及び中日本高速道路株式会社）

別添３　高速自動車国道中央自動車道西宮線等に関する協定（機構及び西日本高速道路株式会社）

別添４　貸付料及び貸付期間算出の基礎を記載した書類

別添５　推定交通量及びその算出の基礎を記載した書類

別添６　高速自動車国道及び高速自動車国道と交通上密接な関連を有する高速自動車国道以外の高速道路ごとの収支予算の明細を記載した書類